

北海道議会時報

令和2年第1回定例会

令和2年第1回臨時会

北海道議会議務局

も く じ

議会日誌	1
令和元年度北海道補正予算の概要	2
令和2年度北海道一般会計予算の概要	4
令和2年度北海道補正予算の概要	6
第1回定例会	
概要	7
本会議	9
提出案件	19
会議案	24
決議案	25
意見案	26
請願	30
第1回臨時会	
概要	31
本会議	32
提出案件	35
意見案	36
委員会の動き	
議会運営委員会	38
常任委員会	42
総務委員会	
総合政策委員会	
環境生活委員会	
保健福祉委員会	
経済委員会	
農政委員会	
水産林務委員会	
建設委員会	
文教委員会	
特別委員会	57
産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
新幹線・総合交通体系対策特別委員会	
人口減少問題・地方分権改革等調査特別委員会	
少子・高齢社会対策特別委員会	
食と観光対策特別委員会	
北海道地方路線問題調査特別委員会	
予算特別委員会	64
資料	
第1回定例会において議決を経た条例の公布調	93
第1回臨時会において議決を経た条例の公布調	96
1月・2月・3月・4月の出来事	97

本書においては、便宜上、会派の名称を次のとおり表記した。

自民党・道民会議	-----	自民
民主・道民連合	-----	民主
北海道結志会	-----	結志
公明党	-----	公明
日本共産党	-----	共産

議 会 日 誌

▶ 1 月

- 7日(火) 各常任委員会
- 8日(水) 各特別委員会

▶ 2 月

- 4日(火) 各常任委員会
- 5日(水) 各特別委員会
- 20日(木) 議会運営委員会
- 26日(水) 議会運営委員会
各常任委員会
各特別委員会
- 27日(木) 議会運営委員会

【第1回定例会開会】

本会議（会期決定〈28日間〉、道政執行方針並びに提出議案説明、教育行政執行方針説明、質疑〈3人〉、議案可決）

▶ 3 月

- 11日(水) 議会運営委員会
本会議（代表質問・一般質問〈2人〉）
- 12日(木) 議会運営委員会
本会議（代表質問・一般質問〈3人〉、予算特別委員会設置）
予算特別委員会（正・副委員長の互選、2分科会を設置）
- 13日(金) 予算特別委員会（補正予算先議）
議会運営委員会
本会議（各委員長報告、議案等可決）
- 17日(火) 予算特別委員会第1・第2分科会
（各部所管審査）
- 18日(水) 予算特別委員会第1・第2分科会
（各部所管審査）
- 19日(木) 予算特別委員会第1・第2分科会
（各部所管審査）
- 23日(月) 予算特別委員会（各分科委員長報告、総括質疑、議案等可決）
- 24日(火) 各常任委員会
各特別委員会
- 25日(水) 議会運営委員会
本会議（各委員長報告、動議1件否決、

議案等可決、追加提案説明、質疑〈5人〉、議案可決、人事案件2件追加提案説明・同意議決、会議案1件可決、決議案1件可決、意見案3件可決、関係委員会の閉会申請願継続審査及び事務継続調査の決定）

【第1回定例会閉会】

▶ 4 月

- 7日(火) 議会運営委員会
各常任委員会
- 8日(水) 各特別委員会
- 23日(木) 議会運営委員会
- 28日(火) 議会運営委員会

【第1回臨時会開会】

本会議（会期決定〈1日間〉、提出議案説明、質疑〈5人〉、総務委員長報告、議案可決、追加提案説明・同意議決、意見案1件可決）
総務委員会

【第1回臨時会閉会】

令和元年度北海道補正予算の概要

第1回定例会において、次のとおり補正予算について審議し、可決しました。

○令和元年度北海道一般会計補正予算（第4号） （単位 千円）

歳 入		歳 出	
分担金及び負担金	8, 428, 638	総務費	442, 377
国庫支出金	90, 470, 154	総合政策費	70, 000
道債	57, 126, 900	保健福祉費	5, 224
繰越金	38, 109	農政費	83, 787, 714
		水産林務費	16, 038, 224
		建設費	51, 429, 604
		教育費	4, 004, 001
		災害復旧費	286, 657
計	156, 063, 801	計	156, 063, 801

令和2年第1回定例会で可決した一般会計補正予算は、総額約1,560億6,300万円。

歳出予算の主なものは、農業農村整備などの公共事業費について1,065億9,200万円、水田や畑作、野菜産地の競争力強化を図るため、農業者団体等が行う施設の整備等に対して支援することとして54億9,900万円、本道の酪農・畜産業の競争力強化に向けて、畜産経営体等が行う施設の整備等に対して支援することとして110億9,700万円、国の「GIGAスクール構想」の実現のため、道内の高等学校及び特別支援学校に大容量の通信ネットワーク環境等を整備することとして27億7,000万円。

これらに見合う歳入予算の主なものは、国庫支出金904億7,000万円、道債571億2,600万円。

○令和元年度北海道一般会計最終補正予算（第5号） （単位 千円）

歳 入		歳 出	
道税	△ 9, 531, 000	議会費	△ 207, 069
地方消費税清算金	△ 23, 026, 736	総務費	△ 1, 354, 546
地方譲与税	△ 4, 927, 000	総合政策費	△ 5, 282, 489
地方特例交付金	12, 632	環境生活費	10, 827, 323
分担金及び負担金	△ 631, 724	保健福祉費	△ 7, 521, 672
使用料及び手数料	△ 288, 166	経済費	△ 20, 748, 601
国庫支出金	△ 38, 206, 134	農政費	△ 18, 651, 822
財産収入	361, 849	水産林務費	9, 831, 929
寄附金	39, 470	建設費	△ 13, 664, 674
繰入金	44, 721, 918	警察費	137, 026
諸収入	△ 21, 362, 276	教育費	△ 3, 880, 586
道債	△ 6, 174, 750	災害復旧費	△ 7, 755, 348
繰越金	4, 675, 117	公債費	4, 368, 561
		諸支出金	△ 434, 832
計	△ 54, 336, 800	計	△ 54, 336, 800

○令和元年度北海道特別会計最終補正予算

(単位 千円)

会 計 名	金 額
公 債 管 理 特 別 会 計	△ 1, 4 7 8, 3 6 7
国 民 健 康 保 険 事 業 特 別 会 計	2, 7 7 7, 9 0 1
中 小 企 業 近 代 化 資 金 貸 付 事 業 特 別 会 計	△ 5, 8 9 6
苫 小 牧 東 部 地 域 開 発 出 資 特 別 会 計	3 7 8, 5 3 4
石 狩 湾 新 港 地 域 開 発 出 資 特 別 会 計	6, 1 6 4
就 農 支 援 資 金 貸 付 事 業 等 特 別 会 計	△ 3 5, 8 4 0
公 共 下 水 道 事 業 特 別 会 計	△ 2, 0 4 1
流 域 下 水 道 事 業 特 別 会 計	△ 6, 6 7 5
道 営 住 宅 事 業 特 別 会 計	△ 1 8 7, 0 4 9
住 宅 供 給 公 社 経 営 健 全 化 資 金 貸 付 事 業 特 別 会 計	1, 0 0 0, 0 0 0
地 方 競 馬 特 別 会 計	6 0 4, 4 8 4
電 気 事 業 会 計	△ 3 1 8, 5 9 6
工 業 用 水 道 事 業 会 計	△ 4, 6 9 0
病 院 事 業 会 計	△ 3 2 5, 1 2 1
計	2, 4 0 2, 8 0 8

令和元年第1回定例会で可決した最終補正予算の総額は、一般会計約543億3,600万円の減額、特別会計約24億200万円の増額。

一般会計に係る歳出予算のうち増額補正の主なものは、国立・国定公園内の防災・減災機能の向上を図ることとして3億3,600万円、公債費について、道債の発行条件の確定等に伴い利子を減額するとともに、公債費負担の軽減等のため、繰上償還を行うこととして43億6,800万円を計上。

また、減額補正の主なものは、事業の確定等に伴い、中小企業総合振興資金貸付金182億円、税関係交付金及び地方消費税清算金104億5,000万円、保健福祉関係義務的経費91億8,200万円。

これらに見合う歳入予算の主なものは、繰入金447億2,100万円、繰越金46億7,500万円を計上し、地方消費税清算金230億2,600万円、国庫支出金382億600万円、諸収入213億6,200万円を減額。

○令和元年度北海道一般会計最終補正予算(第6号)

(単位 千円)

歳 入	歳 出
国 庫 支 出 金 1, 6 1 9, 0 0 4	保 健 福 祉 費 1, 6 1 9, 0 0 4
計 1, 6 1 9, 0 0 4	計 1, 6 1 9, 0 0 4

令和元年第1回定例会で可決した一般会計最終補正予算は、総額約16億1,900万円。

歳出予算の主なものは、感染症の影響により収入の減少等があった世帯に対する生活福祉資金の特例措置を創設することとして12億7,500万円、学校の臨時休業に対応した放課後等デイサービスの運営に対して支援することとして1億3,500万円を計上。

これらに見合う歳入予算の主なものは、国庫支出金16億1,900万円。

令和2年度北海道一般会計予算の概要

第1回定例会において、次のとおり一般会計予算について審議し、可決しました。

○令和2年度北海道一般会計予算

(単位 千円)

歳 入		歳 出	
道 税	6 1 1, 5 5 5, 5 9 2	議 会 費	3, 4 6 1, 1 2 7
地方消費税清算金	2 6 2, 4 4 7, 8 3 0	総 務 費	2 9 0, 8 2 2, 4 6 1
地方譲与税	1 0 6, 1 4 6, 0 0 0	総合政策費	7 7, 3 4 9, 7 4 1
地方特例交付金	2, 2 5 8, 0 0 0	環境生活費	1 2, 0 7 9, 6 5 3
地方交付税	6 0 9, 0 0 0, 0 0 0	保健福祉費	4 1 8, 3 4 0, 5 5 8
交通安全対策特別交付金	1, 1 4 7, 0 0 0	経 済 費	1 2 6, 6 0 8, 8 1 5
分担金及び負担金	1 7, 9 7 2, 8 4 3	農 政 費	1 3 1, 8 6 7, 8 4 2
使用料及び手数料	2 4, 0 9 5, 3 3 6	水産林務費	6 8, 9 7 8, 7 5 5
国庫支出金	3 4 0, 8 2 9, 7 7 1	建 設 費	2 5 1, 4 5 7, 3 4 8
財 産 収 入	6, 5 2 9, 2 1 0	警 察 費	1 3 4, 9 8 3, 9 7 9
寄 附 金	2 2 3, 3 1 2	教 育 費	3 9 2, 6 5 3, 4 8 7
繰 入 金	2 0, 3 3 0, 5 0 6	災 害 復 旧 費	8, 6 7 9, 7 8 6
諸 収 入	1 5 1, 8 8 1, 3 8 5	公 債 費	7 1 8, 6 1 9, 4 8 1
道 債	6 6 5, 6 7 6, 4 0 0	諸 支 出 金	1 8 3, 9 9 0, 1 5 2
計	2, 8 2 0, 0 9 3, 1 8 5	予 備 費	2 0 0, 0 0 0
		計	2, 8 2 0, 0 9 3, 1 8 5

○令和2年度北海道特別会計予算

(単位 千円)

会 計 名	金 額
公 債 管 理 特 別 会 計	4 7 9, 6 3 0, 0 1 1
国 民 健 康 保 険 事 業 特 別 会 計	4 8 9, 6 1 3, 3 0 5
母 子 父 子 寡 婦 福 祉 資 金 貸 付 事 業 特 別 会 計	9 6 6, 0 6 8
中 小 企 業 近 代 化 資 金 貸 付 事 業 特 別 会 計	1, 3 1 3, 3 8 5
苫 小 牧 東 部 地 域 開 発 出 資 特 別 会 計	1 6 0, 3 6 0
石 狩 湾 新 港 地 域 開 発 出 資 特 別 会 計	1 8 3, 6 5 8
就 農 支 援 資 金 貸 付 事 業 等 特 別 会 計	6 4 3, 3 8 9
沿 岸 漁 業 改 善 資 金 貸 付 事 業 特 別 会 計	2 5 4, 0 6 8
林 業 ・ 木 材 産 業 改 善 資 金 貸 付 事 業 特 別 会 計	3 0 8, 2 6 6
道 営 住 宅 事 業 特 別 会 計	1 4, 9 0 4, 2 4 0
住 宅 供 給 公 社 経 営 健 全 化 資 金 貸 付 事 業 特 別 会 計	4 3, 8 9 1, 5 3 9
地 方 競 馬 特 別 会 計	3 6, 7 6 5, 3 9 7
公 共 下 水 道 事 業 会 計	1, 9 7 2, 5 0 5
流 域 下 水 道 事 業 会 計	8, 3 9 9, 9 5 7
電 気 事 業 会 計	8, 9 9 4, 8 0 7
工 業 用 水 道 事 業 会 計	4, 6 2 9, 5 1 7
病 院 事 業 会 計	1 9, 4 1 7, 6 8 0
計	1, 1 1 2, 0 4 8, 1 5 2

令和2年度予算は、「行財政運営方針」に沿った取組を着実に進めるとともに、限りある行財政資源の効果的・効率的な配分や国の施策の積極的な活用などにより、その中の施策を積極的に展開していくことを基本に編成することとし、前年度比で1.4%、額にして408億円減の約2兆8,201億円。

歳出予算の主なものは、本道の社会資本整備を計画的に推進するため、公共事業、特別対策事業、施設等建設事業などを合わせた、投資的経費全体で3,813億4,600万円、総務部関係の施策について、私立学校の経営健全化等を図るため168億400万円、総合政策部関係の施策について、地域づくりの拠点である振興局と市町村等との協働による事業の推進や、地域の創意あふれる取組を支援するため49億5,300万円、経済部関係の施策について、国内外からの観光客の受入体制の強化や広域分散化を図るため、国際大会を契機としたプロモーションなどに取り組む経費として21億9,400万円。

これらに見合う一般会計の歳入予算の主なものは、道税6,115億5,500万円、地方交付税6,090億円、国庫支出金3,408億2,900万円、道債6,656億7,600万円。

令和2年度北海道補正予算の概要

第1回定例会において、次のとおり補正予算について審議し、可決しました。

○令和2年度北海道一般会計補正予算（第1号） （単位 千円）

歳 入		歳 出	
国庫支出金	377,541	保健福祉費	817,854
繰入金	993,462	経済費	25,297,435
諸収入	24,741,286		
道債	3,000		
計	26,115,289	計	26,115,289

令和2年第1回定例会で可決した一般会計補正予算は、総額約261億1,500万円。

歳出予算の主なものは、道内医療機関における診察室や病床の整備・確保に対して支援することとし、感染症医療提供体制整備事業費1億1,800万円、感染症病床確保促進事業費2億7,600万円、中小企業者等の経営資金の確保を支援することとした中小企業総合振興資金貸付金247億4,000万円、信用保証料補助金3億2,300万円。

これらに見合う歳入予算の主なものは、繰入金9億9,300万円、諸収入247億4,100万円。

第1回臨時会において、次のとおり補正予算について審議し、可決しました。

○令和2年度北海道一般会計補正予算（第2号） （単位 千円）

歳 入		歳 出	
国庫支出金	26,271,563	総務費	150,842
繰入金	1,232,182	総合政策費	67,888
諸収入	50,940,420	保健福祉費	9,955,764
		経済費	66,321,309
		農政費	1,211,200
		水産林務費	382,500
		教育費	354,662
計	78,444,165	計	78,444,165

令和2年第1回臨時会で可決した一般会計補正予算は、総額約784億4,400万円。

歳出予算の主なものは、道内の指定医療機関等における診察室や病床の整備・確保に対して支援することとし、感染症医療提供体制整備事業費に4億8,100万円、感染症病床確保促進事業費に9億5,800万円、軽症者が療養する宿泊施設を借り上げる費用23億1,200万円、休業要請等に協力した事業者に対し事業再開後の感染リスクを低減する取り組みを支援することとし、その経費として75億8,000万円、感染症の影響により収入の減少等があった世帯に対する特例貸付の原資を追加するため生活福祉資金貸付事業費補助金25億8,400万円、道産牛肉の生産への影響を回避するため、食肉事業者が学校給食の食材として道産牛肉を無償提供する取り組みを支援することとし、その経費として12億1,100万円。

これらに見合う歳入予算の主なものは、国庫支出金262億7,100万円、諸収入509億4,000万円。

第 1 回 定 例 会

▶総額 3 兆9, 321億4, 100万円余の令和 2 年度当初予算を可決◀

概 要

- ① 令和 2 年度当初予算案等を審議する**第 1 回定例会**は、**2 月27日に招集**され、会議録署名議員の指定等を行い、**会期を 3 月25日までの28日間**と決定。

次に、**総額 3 兆9, 321億4, 100万円余の令和 2 年度当初予算案及びこれに関連する議案等104件**が上程され、知事から道政執行方針並びに提出議案に関する説明、教育長から教育行政執行方針に関する説明。

次に、**議案第97号「令和元年度北海道一般会計補正予算（第 4 号）」**について先議することを決定した後、**質疑**に入り、委員会付託を省略し、採決の結果、異議なく**原案可決**。

その後、議案等調査のため、2月28日、3月2日から3月6日まで及び3月9日から3月10日までの本会議を休会することを決定して散会。

- ② 休会明けの3月11日、東日本大震災による犠牲者に対する黙禱。

次に、**議案第98号「令和元年度北海道一般会計補正予算（第 5 号）」等16件**が追加提案され、知事から提案説明の後、代表質問・一般質問に入った。

- ③ 3月12日、代表質問・一般質問を終結。直ちに**予算特別委員会**を設置し、**議案第32号を北方領土対策特別委員会**に、**議案第52号及び第53号を少子・高齢社会対策特別委員会**に、それぞれ付託することを決定し、残余の議案を各委員会に付託。

- ④ 3月13日、**議案第98号等16件**の先議案件に関する委員長報告の後、討論、採決の結果、いずれも委員長報告のとおり**原案可決**。

その後、各委員会付託議案等審査のため、3月16日から3月19日まで及び3月23日から3月24日までの本会議を休会することを決定して散会。

- ⑤ **予算特別委員会**は3月12日に正・副委員長の互選を行い、2分科会を設置。3月13日、「令和元年度北海道一般会計補正予算（第 5 号）」等について先議を行い、質疑、採決の結果、いずれも原案可決と決定。

3月17日から各分科会において各部所管の審査に入り、3月19日にこれを終了。3月23日に各分科委員長報告の後、総括質疑を行い、同日、付託議案に対する質疑を終結。討論、採決の結果、いずれも原案可決と決定。

- ⑥ 会期最終日の3月25日は、各付託議案に対する委員長報告の後、予算の組み替えを求める動議1件が提出され、説明、討論を行い、採決の結果、否決。次に、各付託議案について採決を行い、いずれも委員長報告のとおり**原案可決**。

次に、**令和元年度北海道一般会計補正予算（第 6 号）**及び**令和 2 年度北海道一般会計補正予算**が追加提案され、知事から提案説明があり、質疑を行った後、委員会付託を省略し、採決の結果、いずれも**原案可決**。

次に、**北海道監査委員の選任につき同意を求める件等の人事案件 2 件**が追加提案され、知事から提案説明の後、委員会付託を省略し、討論、採決の結果、いずれも**同意議決**。

次に、**会議案第1号「北海道議会委員会条例の一部を改正する条例案」**が提案され、説明を省略し、採決の結果、異議なく**原案可決**。

次に、**決議案第1号「ウポポイ開設を契機とする共生社会の実現に関する決議」**が提案され、説明及び委員会付託を省略し、採決の結果、異議なく**原案可決**。

次に、**意見案第1号「新型コロナウイルス感染症対策の充実を求める意見書」等3件**が提案され、説明及び委員会付託を省略し、採決の結果、いずれも異議なく**原案可決**。

最後に、閉会申請願継続審査及び事務継続調査の件について異議なく決定の後、**閉会**。

⑦ 提出案件の議決状況は次のとおりである。

提案者	提出件数	議 決 状 況					報告のみ
		原案可決	同意議決	承認議決	意見を付し 認定議決	否 決	
知 事	124	115	2				7
議員・委員会	6	5				1	
計	130	120	2			1	7

本 会 議

○2月27日(木) 午前10時14分開会、村田憲俊議長、令和2年第1回定例会の開会を宣し、

日程第1 会議録署名議員の指定を行い、諸般の報告、元議員の逝去報告。

日程第2 会期決定の件を議題とし、今期定例会の会期を本日から3月25日までの28日間と決定。

日程第3 議案第1号ないし第97号を議題とし、知事から道政執行方針並びに提出議案に関する説明、教育長から教育行政執行方針に関する説明。

日程第3のうち、議案第97号を先議することについて異議なく決定。

議事進行の都合により午前11時20分休憩。午後1時24分再開。

議案第97号に関する質疑に入り、



太田 憲之議員(自民) から、

1 国の補正予算に対する道の評価などについて

- ・本道に対する国予算措置の全体像に対する評価
- ・経済対策予算を活用した取り組み

2 防災・減災・国土強靱化の取り組みについて

- ・具体的な取り組みと公共インフラの強化に係る見解

3 総合的なT P P等関連政策大綱に関連する取り組みについて

- ・国際環境の変化に対応するため本道農業の競争力強化に向けた取り組みに係る見解
- ・担い手不足解消に向けて環境整備を含めた研修施設の活用に係る見解
- ・輸出額の目標達成に向けた輸出対応施設等の緊急整備事業活用に係る見解
- ・道産木材の輸出拡大に向けた課題認識と今後の取り組みに係る見解

4 Society 5. 0時代を担う人材への投資について

- ・G I G Aスクール構想の重要性に関する認識と今後の対応

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。



池端 英昭議員(民主) から、

1 国の補正予算に対する知事の評価について

- ・国の補正予算の内容や財政規律との関係に関する評価

2 防災・減災・国土強靱化について

- ・補正予算に盛り込まれた公共事業の喫緊に取り組む必要性及び3カ年緊急対策との関係に係る見解

- ・道管理河川における氾濫発生危険箇所への対策に関する進捗及びなお残る氾濫発生危険箇所への対応

- ・社会資本整備総合交付金事業の債務負担行為を前年度と同規模で設定した考え方及び今後の公共土木工事早期発注に向けた取り組み

3 農林水産業の成長産業化と輸出力強化の加速について

- ・畜産クラスター事業の今年度の交付状況と新年度の取り組み支援

- ・輸出対応施設等整備緊急対策事業費について輸出関連分野と食品輸出額達成への寄与に係る見解

- ・小規模・家族経営の農家への対策及び今後の対応に係る所見

4 就職氷河期世代への支援について

- ・新規就農支援緊急対策事業と一般的な就農支援対策との違い及び実効性あるものとするための取り組み

- ・総合的な就職氷河期対策の早期実施に係る見解

5 G I G Aスクール構想について

- ・継続的支援に向けた国への要望の必要性に係る見解

- ・高速大容量の通信ネットワークの活用に係る見解

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。



宮川 潤議員(共産) から、

1 国の補正予算に伴う道財政への影響等について

- ・道債発行額の増加に伴う道財政への影響と今後の対応に係る見解

2 高等学校設備整備費(特別支援学校振興奨励費)について

- ・GIGAスクール構想で見込んでいる教育効果及び健康被害のリスクと健康への影響に関する客観的な検証に係る見解
- ・GIGAスクール構想導入による教職員の業務量に関する見解と業務削減に向けた取り組み
- ・導入にあたり個人負担を行わないよう国へ働きかける必要性に係る見解
- ・デジタル端末機器の維持に必要な費用を国に全額求めることに係る見解

等について質問があり、知事及び教育長から答弁し、質疑終結。

委員会付託を省略し、採決に入り、異議なく原案可決。

次に、議案等調査のため、2月28日、3月2日から3月6日まで及び3月9日から3月10日までの本会議を休会することに決定し、午後2時27分散会。

○3月11日（水） 午前10時1分開議、諸般の報告の後、議長から、議場において東日本大震災による犠牲者に対し黙禱する旨の発言があり、全員起立の上黙禱。

日程第1 議案第98号ないし第113号を議題とし、知事から追加提出議案に関する説明。

日程第1の議案第98号ないし第113号にあわせ、

日程第2 議案第1号ないし第96号を一括議題とし、**代表質問・一般質問**に入り、



田中 芳憲議員（自民） から、

- 1 知事の政治姿勢などについて
 - ・政策理念や政策検討の方向性の新年度予算への反映及び目指す北海道の姿並びに現状を踏まえた新年度に臨む考え方
 - ・新年度に向けて思い描く道庁像と実現に向けた取り組み
 - ・新型コロナウイルス感染症対策に関し、感染症防止などに向けた取り組み
 - ・感染症に対する経済的な影響の緩和に向けた対応
 - ・緊急事態宣言発出にあたっての判断及び今後の対応に係る見解
 - ・分散登校の狙い及び新学期以降も含めた子どもたちの学習や生活支援に係る見解
 - ・第2期創生総合戦略に関し、道外転出抑制に向けた今後の取り組み

- ・一人当たりの道民所得を引き上げていく取り組みの成果指標を設計する必要性に係る見解
- ・道職員の子育て支援について、男性職員の子育て参加の女性活躍実現や少子化対策への効果及び今後の取り組みへの反映
- ・今後の行財政改革に向けた取り組み
- ・今回の不適切な事務処理に対する認識及び内部統制制度整備に係る見解
- ・観光振興税導入に向けた今後の対応
- ・J R 北海道の経営再生に関し、国への提言内容の実現に向けた取り組みに係る所見
- ・道内空港の一括民間委託に関し、「大北海道空港」の実現に向けた条件整備の考え方及びその実現に係る見解
- ・就職氷河期世代への支援に係る今後の取り組み
- ・原子力防災訓練について、実施済の訓練の成果や課題の評価及びそれらに基づいた今後の訓練への対応
- ・コンパクトなまちづくりに関し、基本的な考え方を早急に市町村に示す必要性に係る見解
- ・クルーズ船の誘致に関し感染症の発生を想定した受入体制整備の在り方の早急な検討及び検討結果を誘致方針に反映する必要性に係る見解
- ・東京オリンピックに関し、準備状況と今後の取り組みの加速に係る見解
- ・サイバーセキュリティ対策への取り組みに係る見解
- ・来道者へのおもてなしや本道の魅力発信などに関する具体的な取り組み及びオリンピック効果の全道への波及
- ・ウポポイの認知度向上や開設効果の全道への波及・拡大に向けた今後の取り組みに係る見解
- ・本道初の世界文化遺産の登録実現に向けた今後の取り組みに係る見解
- ・温室効果ガス排出削減に向けた取り組みの必要性に係る見解
- ・医師確保対策に関し、医師の地域偏在是正への今後の見解
- ・児相機能の強化に向けた指針を示し計画的に取り組みを進めることに係る見解
- ・家畜伝染病対策に関し、豚熱・アフリカ豚熱の発生防止に向けた取り組み

- ・アキサケ漁業の振興に向けた資源回復への取り組み
- ・今後の北の森づくり専門学院の円滑な運営に向けた取り組み

2 教育問題について

- ・新学習指導要領の定着と小学校教育の一層の充実に向けた取り組み
- ・学校における教員の働き方改革への取り組み

等について質問があり、議事進行の都合により、午前10時51分休憩。午前11時3分再開し、知事、副知事、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から発言があつて、議事進行の都合により午前11時59分休憩。午後1時21分再開し、



笹田 浩議員（民主）から、

1 知事の政治姿勢について

- ・新型コロナウイルス感染症対策に関し、道民の不安や不満を解消する説明と情報発信に係る見解及び今後の情報発信に係る見解
- ・休校期間の根拠及び子どもの居場所確保などへの対応並びに4月に行われる小中学校の入学・始業等に向けた見解
- ・経済的損失に対する認識及び今後の対策並びに「減収補填制度」の創設に係る所見
- ・行政手続きにおける許認可等の期限延長に係る所見
- ・高齢者や障がい者の生活、健康、命を守る観点からの人員確保及び経済的損失への対応に係る所見
- ・危機管理意識の希薄に関する反省を踏まえた今後の感染症拡大防止及び道民の不安解消への取り組み
- ・北海道の「ロードマップ」について、具体的な期間や施策展開等の明示に係る見解
- ・新年度予算編成に関し、北海道の将来像に係る所見
- ・予算配分の重点化及び特徴に係る所見
- ・知事公約に関し、今後、政策の取り組み状況を分かりやすく道民に示すことに係る所見
- ・一連の公金不適切処理問題を通じて得た組織運営に向けた教訓及び道民からの信頼回復に係る所見
- ・「キタデミー賞」問題の検証に係る所見
- ・用地取得業務における不適切な事務処理に関し、信頼回復に向けた取り組みに係る所見

2 行財政運営について

- ・行財政運営に関し組織活性化に向けた適材適所への職員の配置及び振興局活性化による市町村との連携強化に係る所見
- ・道政治上の課題への対応と規律ある財政運営の両立に係る所見

3 北海道総合計画について

- ・「輝きつつける北海道」の具現化の時期及び他の都府県との差別化に係る所見
- ・リスクシナリオに係る所見
- ・179市町村との協働を進めるにあたり、市町村との連携再構築に係る所見

4 医療・福祉政策について

- ・地域医療に関する医師偏在解消、医師確保に向けた取り組み及び病院統合の提起に係る見解
- ・「北海道受動喫煙防止条例」の推進に向けた取り組みに係る所見

5 経済・雇用対策について

- ・I R誘致に向けた専任参事の位置づけ及び配置の見直しに係る所見
- ・次期区域認定を見据えた所要の準備に係る具体的な取り組み
- ・法定外目的税導入に向けた今後の市町村との調整及び今後の取り組みに係る所見
- ・「オール北海道」として、就職氷河期世代の生活を取り戻すための取り組みに係る見解
- ・カスタマーハラスメントに対する認識及び抑止・是正に向けた今後の対策に係る所見

6 エネルギー政策について

- ・幌延深地層研究計画の研究期間を9年間で終了し、埋め戻すと明確に書面で確約を得ることに係る所見
- ・洋上風力発電に関する今後の推進・導入に向けた取り組み及び風力発電施設の重量物を扱う拠点港指定を含めた対応に係る所見

7 原子力防災訓練について

- ・訓練の参加者減少、臨場感の欠落についての認識及び次回以降の訓練に向けた解決策に係る所見

8 防災・減災対策について

- ・警戒区域側にある生活道路の把握及び安全対策の実施に係る所見
- ・防災・減災の目標値の設定及び新年度予算への反映に係る所見

9 交通政策について

- ・ J R北海道路線問題に関し、道内自治体と J R北海道の連携に対する認識
 - ・ これまでの国との協議経過と内容及び今後協議に臨む姿勢
 - ・ 気運の醸成に向けた手法及びオール北海道で行う国への提言に係る所見
 - ・ 地域の協力・支援の仕組みや制度について、検討の場を早急につくることに係る所見
 - ・ 空港の民間委託に関し、新千歳空港以外の6空港を底上げする戦略及び空港と地域をつなぐ二次交通や観光地間の交通ネットワークに関する基盤整備に係る所見
- 10 第1次産業振興について
- ・ 国際貿易協定に関して、国内農業の崩壊につながりかねない今後の追加交渉に係る所見
 - ・ 現協定の範囲内で懸念される課題の把握と検証及び必要な対策に係る所見
 - ・ 本道の酒米生産と道産日本酒のブランド確立に向けた取り組みに係る所見
 - ・ 持続可能な林業・木材産業の基盤整備の推進に係る所見
 - ・ 低迷するアキサケ資源対策への取り組みに係る所見
 - ・ 海獣の駆除や強化網など、従来の取り組みに加え、漁業補償制度の創設を求める漁業者への対応に係る所見
- 11 人権政策について
- ・ ヘイトスピーチに対する認識及び全ての人に対する差別等を禁止する条例の必要性に係る所見
 - ・ 人権施策推進基本方針の見直しにスピード感をもって取り組むことに係る所見
- 12 アイヌ政策について
- ・ 国政報告会での単一民族発言について、強く抗議することに係る見解
 - ・ ウポポイ来場者数100万人達成に向けた課題と対応に係る所見
- 13 東京2020オリンピック・パラリンピックについて
- ・ 「スポーツ王国北海道」の実現に向けた今後の施策に係る所見
 - ・ 交通運輸業者に対する規制に係る情報提供及び混乱を招かないための取り組みに係る所見
- 14 教育課題について
- ・ 給付法改正に関する今後の具体的なスケジュー

ール

- ・ 学校職員の業務見直しに係る所見
- ・ 教育現場に活かすための人権教育の取り組み
- ・ G I G Aスクール構想に向けた教職員の研修等の時間確保に係る所見
- ・ G I G Aスクール構想で使用する通信環境に関し、小中学校すべてのネット環境の状況及び今後の通信環境の整備に係る所見
- ・ 少人数学級編制の対象学年について、直ちに小学校3年生、4年生で実施することに係る所見

15 公安課題について

- ・ やじ排除問題の道警本部による報告に係る公安委員長の所見
- ・ 道警本部が調査にあたり、公安委員会から受けた指導・監督内容、報告に係る道警本部長の所見
- ・ 職務を遂行する姿勢が問われた報告について、報告内容と現状に係る知事の所見

等について質問があり、議事進行の都合により午後2時8分休憩。午後2時24分再開し、知事、副知事、教育長、公安委員会委員長及び警察本部長から答弁があり、議事進行の都合により午後3時36分休憩。午後4時27分再開し、同議員から再質問があつて知事、教育長から答弁。同議員から再々質問があつて知事、教育長から答弁。議事進行の都合により午後5時24分散会。

○3月12日(木) 午前10時開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第96号及び第98号ないし第113号を議題とし、代表質問・一般質問を継続。



赤根 広介議員(結志) から、

1 知事の基本姿勢について

- ・ 「北海道行政基本条例」に対する認識
- ・ 活力に満ちた北海道の具体的な姿及びその実現過程における「ほっかいどう応援団会議」の具体的な活用
- ・ 公約推進方針とその進捗状況の「可視化」への取り組み
- ・ 第2期北海道創生総合戦略策定に当たり設置された検証ワーキンググループによる検証結果の次期計画への反映状況
- ・ 「先進的なモデル」、「フロントランナーとな

る取組」に関する新年度予算

- ・男性の家事・育児への参画に係る見解及び第2期総合戦略への明記
 - ・2023年に転出・転入を均衡させる方策
 - ・北海道創生総合戦略と北海道総合計画との整合性に係る見解
 - ・財政健全化に関し、歳出削減を行うことに係る見解
 - ・早期健全化団体への指定回避に必要な対策に係る所見
 - ・令和2年度組織機構改正に当たり、グループ制導入が目指した効果、成果の検証結果
 - ・ピラミッド型組織における庁内外の連携に係る見解
 - ・「S m a r t 道庁」の実現に向けた取り組み
- 2 道政の諸課題について
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止と道民生活・道内経済への影響最小化の両立に向けた取り組み
 - ・道独自の「緊急事態宣言」を今後取り扱う判断基準に係る所見
 - ・キタデミー賞問題に関し、検討チームの報告書に係る見解及び信頼回復に向けた取り組みに係る所見
 - ・鉄道網維持に向けて責任を果たすための取り組みに係る所見
 - ・「交通ネットワーク形成圏」の構築に向けた認識
 - ・就職氷河期世代の道職員採用試験の実施を決めた理由
 - ・就職氷河期世代の職業訓練への道立高等技術専門学院の積極的な活用に係る所見
 - ・改定により就職氷河期世代の活躍促進が北海道総合教育大綱にうたわれることに関して、教育施策としての取り組みに係る見解
 - ・エネルギー政策に関し、従来の取り組みの新年度施策での磨き上げ及び次期行動計画へつなぐことに係る所見
 - ・I R 誘致に関する課題の検証、解消に向けた取り組みの進め方
 - ・I R に関する国の議論の状況と道の誘致に向けた準備作業への影響
 - ・宿泊税に関し、道民の賛否の把握に係る所見
 - ・「北海道地域医療構想」について、各地域における構想実現に向けた進捗状況及び国の取り

組みへの対応

- ・受動喫煙防止条例の基本理念や目的である受動喫煙ゼロを目指し道民の健康を増進していくことに係る所見
 - ・地球温暖化対策に関する「温室効果ガス排出実質ゼロ宣言」の表明に係る実現に向けた今後の取り組み
 - ・温暖化対策推進に関する北海道の姿勢の表明に係る所見
 - ・条例に基づく希少野生動植物保護に関し、保護区指定の根拠及び指定状況
 - ・保護区における施策への取り組みに係る所見
 - ・外国人が北海道で安心して働き、暮らすことのできる環境づくりに向けた取り組みに係る所見
 - ・「民族共生象徴空間・ウポポイ」の来場数目標達成のための新年度の取り組み
 - ・実効性のあるヘイトスピーチ防止に向けた取り組みに係る所見
 - ・持続可能な農業・農村振興の推進に向けた取り組みに係る所見
 - ・サケやサンマ、スルメイカなどの不漁対策に係る所見
 - ・北の森づくり専門学院のこれまでの募集活動及び定員充足の見通し
 - ・北の森づくり専門学院における教育内容の準備状況及び地域の協力体制
 - ・北方型住宅の累積登録保管戸数の現状及び北方型住宅基準の見直し並びに普及への取り組みに係る所見
- 3 教育行政について
- ・「1人1台パソコン」時代における学校教育への取り組みに係る所見
- 4 警察行政について
- ・特殊詐欺の被害防止に向けた取り組みと、昨年の特種詐欺犯の検挙状況

等について質問があり、議事進行の都合により午前10時50分休憩。午前11時4分再開し、知事、副知事、教育長及び警察本部長から答弁があり、議事進行の都合により午前11時48分休憩。午後1時1分再開し、同議員から再質問があつて知事から答弁。同議員から再々質問があつて知事から答弁。議事進行の都合により午後1時35分休憩。午後1時53分再開し、



安藤 邦夫議員（公明）から、

- 1 知事の政治姿勢について
 - ・ 新年度の重点的な取り組み
 - ・ 「北海道の新交流時代の幕開け」が目指すこと及び「羅針盤」や「設計図」となる戦略
- ・ ほっかいどう応援団会議を通じた官民連携の強化に向けた今後の取り組み
- ・ 外国人材の現状や課題に関する把握及び JICA などと連携した本道で働く外国人材の課題解決に向けた取り組み
- ・ 外国籍の子どもの就学について、道内の現状の把握と今後の取り組み
- ・ JICA との交流など、国際的な交流ネットワーク構築に向けた取り組み
- ・ 健康・医療分野をはじめとするロシアとの交流に対する受け止め及び新年度の取り組み
- ・ JR 問題について、新千歳空港アクセス鉄道の抜本改良に向けた新千歳空港駅のスルー化実現に向けた取り組みに係る所見
- ・ 札幌医科大学に関し、脳梗塞や糖尿病、認知症などの治療法の早期実用化に向けた道の積極的支援に係る所見
- ・ 民族共生象徴空間に関する、国が掲げた目標来場者の達成に向けた具体的な取り組み
- 2 経済活性化について
 - ・ 現下の経済状況に鑑みた国の施策も活用した対策に取り組むことへの所見
 - ・ 観光振興税導入に向けた見通し及び地域の意向の把握と対応並びに今後の対応を含む制度設計に係る見解
- 3 地方空港の活性化について
 - ・ 地方空港の活性化に向けた重点的な取り組みに係る所見
- 4 北海道新幹線について
 - ・ 北海道新幹線札幌駅の整備への道の関与に係る所見
 - ・ 北海道新幹線札幌駅開業を見据え、アンビシャス道路の早期実現に向けた取り組みに係る所見
- 5 保健福祉問題
 - ・ PCR 検査体制の整備に向けた取り組みに係る所見
 - ・ 感染症対策として、診療体制に関し国が先に示した基本方針への道としての取り組み
- ・ 子どもたちや高齢者の感染予防に向けた取り組み
- ・ 道庁や企業における感染予防対策
- ・ 感染拡大に伴う道内中小企業に対する影響の把握と支援に係る所見
- ・ ドクターヘリの基地病院がない圏域へのドクターヘリ導入など救急医療体制の強化に係る所見
- ・ 児童相談所の体制強化に向けた取り組み
- ・ 支援の強化に向けた室蘭児童相談所苫小牧分室の早期設置に係る所見
- 6 農業の担い手の確保について
 - ・ 本道農業の将来を担う担い手の確保に向けた今後の取り組み
- 7 昆布の生産回復対策
 - ・ 重要水産物である昆布の生産回復に向けた取り組み
- 8 本道周辺のプラスチックによる海洋汚染について
 - ・ 不法投棄されたペットボトル等の海洋汚染の実態調査への早急な取り組み及び汚染防止条例の制定など環境保全に向けた必要な対策に係る所見
- 9 縄文世界遺産登録について
 - ・ 調査研究や普及事業などの取り組み及び情報発信や人材育成等の拠点となる「世界遺産センター」の整備の検討に係る所見
- 10 水防災対策について
 - ・ 防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策における道管理河川の整備及び対策期間終了後の対応
 - ・ 今後の水防災対策への取り組み
- 11 職員の服務規律の確保について
 - ・ 道職員による不祥事、不適切な事務処理の再発防止に向けた取り組み及び道民の信頼回復を図るための改善策に係る所見
- 12 教育問題について
 - ・ 子どもたちがいじめなどにより苦しい思いをしないための取り組み
 - ・ 私立高校生への修学支援に関し、道独自で世帯の年収要件を拡充して無償化の対象を拡大することに係る所見
- 13 公安問題について
 - ・ 道民の安全・安心の確保に向けた新年度の重点的な取り組み

- ・特殊詐欺の根絶に向けた道や道民、企業が丸となった取り組みに係る所見

等について質問があり、知事、副知事、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から発言があり、議事進行の都合により午後3時3分休憩。午後3時31分再開し、



菊地 葉子議員（共産） から、

1 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・感染症対策及び道民と道内産業への支援に向けた予算強化に係る見解

- ・足腰の強い地域循環型経済中心へと政治姿勢の大転換を迫られたことに係る見解
- ・PCR検査体制の抜本的強化に向けた対応
- ・道立校の休校要請や分散登校の実施に係る認識
- ・休校決定までの意思決定過程及び合理的根拠
- ・早期再開や分散登校等に関する市町村の考え方と対応
- ・医療機関をはじめ介護施設などでの消毒薬やマスクなどの物品の状況把握と供給確保に係る見解
- ・保育所、学童保育等に対する支援強化に向けた取り組み
- ・「緊急事態宣言」により経済影響を受けている中小企業への財政支援に係る方針
- ・休業する労働者への補償や個人事業主への支援に係る見解
- ・国への診療報酬改定の延期要請に係る見解

2 知事の政治姿勢について

- ・IRを巡る汚職事件における政治家の逮捕・起訴に対する認識
- ・IRが汚職を生む温床となる構造的問題に関する認識
- ・カジノ誘致断念に係る所見
- ・キタデミー賞問題の報告書に対する発言の念頭にあった考え
- ・キタデミー賞実行委員会参加企業に対する欠損発生時の特例的な規定の設定理由や決定者及び前知事の了解の有無
- ・問題発生時及びその後の組織としての情報共有に関する認識と見解
- ・徹底的な真相解明の上再発防止に向けた策を講じることに係る決意
- ・日米共同訓練について、市街地におけるオス

プレイの強行飛行に係る受け止め及び自治体への情報提供に係る認識

- ・軍事訓練の規模拡大を許さない姿勢を示すことに係る見解

3 道民生活について

- ・公的病院の再編統合問題に対する認識及び再編統合リストの公表撤回に係る所見
- ・感染症医療において重要な役割を果たす公立
 - ・公的病院が再編統合リストに公表されたことに関し、役割の再評価及び維持拡充に係る見解
- ・国からのベット削減や再編統合の要請に対する今後の対応
- ・国民健康保険の保険者努力支援制度に係る認識
- ・保険者努力支援制度が国保の構造的問題解決に資さず、新たな問題発生の可能性あることに係る見解

4 公安問題について

- ・選挙演説中のやじへの対応に係る道警察の報告内容に対する認識
- ・道警察への指導責任に係る公安委員会の認識
- ・警職法第4条適応の判断根拠
- ・現場での法的根拠の説明
- ・過去の警職法第4条に基づく事案の件数及び概要並びに選挙時における事例
- ・6月28日付の通達の意図及び今回の対応が不偏不党の原則から逸脱している恐れがあることに係る見解

等について質問があり、知事、副知事、総務部危機管理監、総合政策部長兼交通企画監、経済部長、教育長、公安委員会委員長及び警察本部長から答弁。議事進行の都合により午後4時20分休憩。午後4時42分再開し、同議員から再質問があつて知事、教育長、公安委員会委員長及び警察本部長から答弁。同議員から再々質問があつて、知事及び教育長から答弁。質疑並びに質問を終結。

議長から、予算に関する案件について、本会議に27人の委員をもって構成する予算特別委員会を設置し、関係案件を付託の上審査することを諮り、異議なく決定。次の委員を議長指名により選任。

○予算特別委員（27人）

寺島 信寿（公明）	木葉 淳（民主）
瀧上 綾子（民主）	佐々木 大介（自民）
滝口 直人（自民）	星 克明（自民）

大越 農子 (自民)	壬生 勝則 (民主)
小岩 均 (民主)	阿知良 寛美 (公明)
赤根 広介 (結志)	菅原 和忠 (民主)
中川 浩利 (民主)	沖田 清志 (民主)
桐木 茂雄 (自民)	佐藤 禎洋 (自民)
清水 拓也 (自民)	笠井 龍司 (自民)
中野 秀敏 (自民)	佐々木 俊雄 (自民)
佐藤 伸弥 (結志)	真下 紀子 (共産)
滝口 信喜 (結志)	千葉 英守 (自民)
藤沢 澄雄 (自民)	喜多 龍一 (自民)
和田 敬友 (自民)	

議案第32号を北方領土対策特別委員会に、議案第52号及び第53号を少子・高齢社会対策特別委員会に、それぞれ付託することについて異議なく決定し、残余の議案については、議案付託一覧表のとおりそれぞれ所管の常任委員会に付託し、午後5時16分散会。

○3月13日(金) 午後3時開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第98号ないし第113号を議題とし、予算特別委員長、総務委員長から、それぞれ各委員会における付託議案審査の経過と結果について報告。

討論に入り、宮川潤議員(共産)から、議案第98号、第102号及び第103号に関する反対討論があつて、討論終結。

採決に入り、議案第98号、第102号及び第103号を問題とし、委員長報告(すべて可決)のとおり決することについて、起立採決の結果、起立多数により原案可決。

次に、議案第99号ないし第101号及び第104号ないし第113号を問題とし、委員長報告(すべて可決)のとおり決することについて、いずれも異議なく原案可決。

各委員会付託議案等審査のため、3月16日から3月19日まで及び3月23日から3月24日までの本会議を休会することに決定し、午後3時19分散会。

○3月25日(水) 午後1時23分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第96号を議題とし、予算特別委員長、総務委員長、保健福祉委員長、経済委員長、建設委員長、北方領土対策特別副委

員長、環境生活委員長、少子・高齢社会対策特別委員長、農政委員長、水産林務委員長、文教委員長、総合政策委員長から、それぞれ各委員会における付託議案審査の経過と結果について報告。

畠山みのり議員(民主)から、議案第1号については撤回し、組み替えの上、再提出を求める動議に関する説明。

討論に入り、宮川潤議員(共産)から、議案第1号、第3号、第6号、第7号、第11号、第12号、第14号、第17号、第19号、第20号、第24号、第25号、第29号、第31号、第32号、第41号、第47号、第52号、第54号、第55号、第57号、第58号、第62号、第63号、第66号、第69号ないし第72号、第75号、第78号ないし第81号、第85号、第90号、第94号及び第95号に関する反対討論があつて、討論終結。

採決に入り、稲村久男議員(民主)ほか5人提出の動議を問題とし、起立採決の結果、起立少数により否決。

次に、議案第1号を問題とし、委員長報告(可決)のとおり決することについて、起立採決の結果、起立多数により原案可決。

次に、議案第3号、第6号、第7号、第11号、第12号、第14号、第17号、第19号、第20号、第24号、第25号、第29号、第31号、第32号、第41号、第47号、第52号、第54号、第55号、第57号、第58号、第62号、第63号、第66号、第69号ないし第72号、第75号、第78号ないし第81号、第85号、第90号、第94号及び第95号を問題とし、委員長報告(すべて可決)のとおり決することについて、起立採決の結果、起立多数により原案可決。

次に、議案第2号、第4号、第5号、第8号ないし第10号、第13号、第15号、第16号、第18号、第21号ないし第23号、第26号ないし第28号、第30号、第33号ないし第40号、第42号ないし第46号、第48号ないし第51号、第53号、第56号、第59号ないし第61号、第64号、第65号、第67号、第68号、第73号、第74号、第76号、第77号、第82号ないし第84号、第86号ないし第89号、第91号ないし第93号及び第96号を問題とし、委員長報告(すべて可決)のとおり決することについていずれも異議なく原案可決。

日程第2 議案第114号及び第115号を議題とし、知事から追加提出議案に関する説明。

議事進行の都合により午後2時40分休憩。午後

3 時再開。

議案第114号及び第115号に関する質疑に入り、



大越 農子議員（自民） から、

- 1 新型コロナウイルス感染拡大防止対策について
 - ・円滑な衛生用品の調達対策を含めた感染拡大防止に向けた取り組み

2 検査・医療提供体制の充実について

- ・検査・医療体制の整備、市町村との連携、国からの要請である患者数大幅増加に備えた重点医療機関の設定や医療従事者確保などの諸課題への対応及び取り組みの推進

3 生活困窮者の自立支援について

- ・新型コロナウイルス感染症の影響による離職者の支援に向けた取り組み

4 中小企業の支援について

- ・各種支援策の活用における不慣れな申請事務のサポート等きめ細やかな支援に向けた対応

5 観光分野の支援について

- ・需要の大幅な落ち込みで困難な状況にある観光分野に対する支援策

6 今後の対応について

- ・新型コロナウイルス感染症対策に関する今後の取り組みに係る所見

等について質問があり、知事から答弁。



木葉 淳議員（民主） から、

- 1 国への要望について
 - ・緊急要望の内容及び今後の国への働きかけ
- 2 検査体制について
 - ・PCR装置の整備により想定

される検査の能力向上及び必要水準への達成に係る見解

- ・検査に関する保健所設置市と道の役割分担

3 医療提供体制の整備について

- ・医療機関支援策により想定される入院病床の確保数
- ・爆発的な患者の急増に備えた対策

4 相談窓口の一元化について

- ・相談窓口の一元化など利便性向上につながる相談対応に係る見解

5 生活福祉資金貸付金について

- ・生活困窮世帯への対応に十分な水準の確保に係る見解

6 学校の臨時休業に伴う対応について

- ・学習の遅れ防止に向けた取り組み

7 中小企業の資金繰り対策について

- ・「新型コロナウイルス感染症緊急貸付」が想定する資金ニーズ
- ・既存資金の借り換え、元本返済の据え置き等の延長等、他県で行っている対策検討の必要性

8 小規模事業者の事業継続に向けた支援について

- ・緊急貸付創設に当たって想定したニーズ
- ・毎月の返済額の軽減につながる対策の検討に係る認識
- ・計上された小規模事業者の事業継続に向けた支援策で見込んだ事業効果
- ・事業活動維持に向けた専門家派遣による支援の具体的な内容

9 道産品の消費回復について

- ・道産品消費回復緊急対策事業で見込んだ効果及び北海道ブランドの回復に向けた今後の取り組み

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。



赤根 広介議員（結志） から、

- 1 予備費充当事業について
 - ・感染拡大防止に向けて早期対策を打たなかった理由
- 2 令和元年度補正予算案の提案時期について

- ・令和元年度補正予算案を定例会最終日に提案したことに係る所見

3 令和2年度補正予算案について

- ・国の対策を待たず補正予算を提案した理由及び今後の国の経済対策への対処

4 中小企業総合振興資金貸付金について

- ・補正予算計上と3月13日の集中審議における答弁との整合性及び資金需要に係る見解

5 中小企業総合振興資金利用企業に対する信用保証料補助金について

- ・企業決算期を踏まえた創設時期に係る見解
- ・補助率3分の1に対する認識

6 小規模事業者緊急支援事業・道産品消費回復緊急対策事業について

- ・事業設計に当たっての小売事業者等が受けている影響額の把握に係る見解

7 中小・小規模企業緊急総合支援事業について

- ・既存事業とのすみ分けに係る所見

- 8 観光産業対策等について
- ・業態に応じた対策に係る見解
- 9 「新しいステージ」における組織体制の強化について
- ・新型コロナウイルスとの長期戦への対応に向けた組織体制の強化に係る見解

等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問があつて知事から答弁。議事進行の都合により午後4時21分休憩。午後4時40分再開し、



田中 英樹議員（公明） から、

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
- ・過去に例を見ない経済危機の受け止め
 - ・中小企業事業者に対する道独自の支援方策及び道税の納付期限延長等の検討に係る所見

- ・観光振興対策に係る今後の取り組み
- ・補正予算による医療体制の充実度及び道民の安全、安心の確保に十分な体制の整備に係る所見
- ・庁内への対策専門組織の設置及び専任職員配置など庁内体制整備に係る所見

等について質問があり、知事から答弁。



真下 紀子議員（共産） から、

- 1 緊急対策に関する知事の姿勢について
- ・補正予算提案前後にできることはすべてやるとトーンダウンした理由について

- 2 感染予防対策について
- ・全ての学校に対する非接触体温計の配備及び給食費等の軽減策実施に係る見解
 - ・医療従事者への支援強化及び安定的な医療提供体制に向けた取り組み
- 3 PCR検査について
- ・現状の検査の実態
 - ・補正予算における検査体制の拡充による実施件数の見込み及び万全な検査体制に係る見解
- 4 労働者対策について
- ・雇用調整助成金の交付を受けた事業者に乗せ助成することに係る見解
- 5 中小企業総合振興資金貸付金について
- ・新たに創設した緊急貸付の融資枠に係る見解
 - ・小規模事業者への融資の実行及び迅速な審査

に係る対応

- 6 小規模企業等への支援について
- ・利子補給や返済猶予の要件緩和などの必要性に係る見解
 - ・税や保険料などの支払猶予及び家賃等の固定費支援などの踏み込んだ新たな支援に係る所見
- 7 生活福祉資金貸付について
- ・利用しやすい制度とするための今後の取り組み
 - ・償還免除の対象条件を広げるなど弾力的に運用することに係る所見
- 8 国への更なる要請について
- ・リーマンショック時と同様の臨時交付金の創設に向けた国への早急な要請に係る所見

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。質疑を終結。

委員会付託を省略し、採決に入り、いずれも異議なく原案可決。

日程第3 議案第116号及び第117号を議題とし、知事から追加提出議案に関する説明。

討論に入り、菊地葉子議員（共産）から、議案第116号に関する反対討論があつて、討論終結。

採決に入り、議案第116号を問題とし、起立採決の結果、起立多数により同意議決。

次に、議案第117号を問題とし異議なく同意議決。

日程第4 会議案第1号を議題とし、説明を省略し、採決に入り、異議なく原案可決。

日程第5 決議案第1号を議題とし、説明及び委員会付託を省略し、採決に入り、異議なく原案可決。

日程第6 意見案第1号ないし第3号を議題とし、説明及び委員会を省略し、採決に入り、いずれも異議なく原案可決。

閉会中請願継続審査及び事務継続調査の件について、各常任委員長並びに議会運営委員長から申し出のとおり、閉会中の継続調査または調査に付することを決定。

今期定例会に付議された案件は、すべて議了し、午後5時21分閉会。

提出案件

第1回定例会において知事から提出のあった案件

議案

提出年月日	番号	件名	付託委員会	議決年月日	議決結果
2. 2. 27	1	令和2年度北海道一般会計予算	予算	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	2	令和2年度北海道公債管理特別会計予算	予算	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	3	令和2年度北海道国民健康保険事業特別会計予算	予算	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	4	令和2年度北海道母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算	予算	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	5	令和2年度北海道中小企業近代化資金貸付事業特別会計予算	予算	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	6	令和2年度北海道苫小牧東部地域開発出資特別会計予算	予算	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	7	令和2年度北海道石狩湾新港地域開発出資特別会計予算	予算	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	8	令和2年度北海道就農支援資金貸付事業等特別会計予算	予算	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	9	令和2年度北海道沿岸漁業改善資金貸付事業特別会計予算	予算	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	10	令和2年度北海道林業・木材産業改善資金貸付事業特別会計予算	予算	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	11	令和2年度北海道営住宅事業特別会計予算	予算	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	12	令和2年度北海道住宅供給公社経営健全化資金貸付事業特別会計予算	予算	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	13	令和2年度北海道地方競馬特別会計予算	予算	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	14	令和2年度北海道公共下水道事業会計予算	予算	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	15	令和2年度北海道流域下水道事業会計予算	予算	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	16	令和2年度北海道電気事業会計予算	予算	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	17	令和2年度北海道工業用水道事業会計予算	予算	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	18	令和2年度北海道病院事業会計予算	予算	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	19	北海道知事等の損害賠償責任の一部免責に関する条例案	総務	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	20	北海道地方独立行政法人の役員等の損害賠償責任の免除に関する基準を定める条例案	総務	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	21	北海道受動喫煙防止条例案	保健福祉	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	22	北海道中小企業者等に対する融資に係る損失補償金の返納の免除に関する条例案	経済	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	23	北海道下水道事業条例案	建設	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	24	北海道行政財産使用料条例の一部を改正する条例案	総務	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	25	北海道立道民活動センター条例の一部を改正する条例案	総務	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	26	北海道職員等の分限に関する条例の一部を改正する条例案	総務	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	27	北海道職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案	予算	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	28	北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	総務	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	29	北海道職員等の定数に関する条例の一部を改正する条例案	予算	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	30	北海道恩給条例の一部を改正する条例案	総務	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	31	北海道核燃料税条例の一部を改正する条例案	総務	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	32	北海道立北方四島交流センター条例の一部を改正する条例案	北方領土対策	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	33	北海道環境生活部手数料条例の一部を改正する条例案	環境生活	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	34	北海道環境生活部の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例案	環境生活	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	35	北海道浄化槽保守点検業者の登録に関する条例の一部を改正する条例案	環境生活	2. 3. 25	原案可決

提 年 月 日	番 号	件 名	付 委 員 会	議 年 月 日	議 決 結 果
2. 2. 27	36	北海道自然環境等保全条例の一部を改正する条例案	環境生活	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	37	北海道動物の愛護及び管理に関する条例の一部を改正する条例案	環境生活	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	38	特定非営利活動促進法施行条例の一部を改正する条例案	環境生活	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	39	北海道控除対象特定非営利活動法人等を定める条例の一部を改正する条例案	環境生活	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	40	北海道立総合博物館条例の一部を改正する条例案	環境生活	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	41	北海道立体育センター条例の一部を改正する条例案	環境生活	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	42	北海道アイヌ子弟大学等修学資金等貸付条例の一部を改正する条例案	環境生活	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	43	毒物及び劇物取締法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例案	保健福祉	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	44	北海道保健福祉部手数料条例の一部を改正する条例案	保健福祉	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	45	覚せい剤取締法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例案	保健福祉	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	46	北海道立看護学院等看護職員課程修学資金貸付条例の一部を改正する条例案	保健福祉	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	47	北海道立看護学院条例の一部を改正する条例案	保健福祉	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	48	北海道後期高齢者医療財政安定化基金条例の一部を改正する条例案	保健福祉	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	49	食品衛生法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例案	保健福祉	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	50	食品の製造販売行商等衛生条例の一部を改正する条例案	保健福祉	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	51	かきの処理等に関する衛生条例の一部を改正する条例案	保健福祉	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	52	北海道認定こども園の認定の要件並びに設備及び運営の基準を定める条例の一部を改正する条例案	少子・高齢 社会対策	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	53	北海道安心こども基金条例の一部を改正する条例案	少子・高齢 社会対策	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	54	北海道計量検定所条例の一部を改正する条例案	経 済	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	55	北海道立地域食品加工技術センター条例の一部を改正する条例案	経 済	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	56	北海道経済部手数料条例の一部を改正する条例案	経 済	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	57	北海道立工業技術センター条例の一部を改正する条例案	経 済	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	58	北海道立高等技術専門学院条例の一部を改正する条例案	経 済	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	59	北海道立職業能力開発支援センター条例の一部を改正する条例案	経 済	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	60	北海道農政部手数料条例の一部を改正する条例案	農 政	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	61	北海道遺伝子組換え作物の栽培等による交雑等の防止に関する条例の一部を改正する条例案	農 政	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	62	北海道家畜保健衛生所条例の一部を改正する条例案	農 政	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	63	北海道立農業大学校条例の一部を改正する条例案	農 政	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	64	漁業法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例案	水産林務	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	65	北海道水産林務部手数料条例の一部を改正する条例案	水産林務	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	66	北海道立漁業研修所条例の一部を改正する条例案	水産林務	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	67	北海道漁港管理条例の一部を改正する条例案	水産林務	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	68	北海道漁港土砂採取料等徴収条例の一部を改正する条例案	水産林務	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	69	北海道立道民の森条例の一部を改正する条例案	水産林務	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	70	北海道建設部手数料条例の一部を改正する条例案	建 設	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	71	北海道道路占用料徴収条例の一部を改正する条例案	建 設	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	72	河川法施行条例の一部を改正する条例案	建 設	2. 3. 25	原案可決

提 出 年 月 日	番 号	件 名	付 託 委 員 会	議 決 年 月 日	議 事 結 果
2. 2. 27	73	砂防法施行条例の一部を改正する条例案	建 設	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	74	北海道海岸占用料等徴収条例の一部を改正する条例案	建 設	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	75	北海道立都市公園条例の一部を改正する条例案	建 設	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	76	北海道営住宅条例の一部を改正する条例案	建 設	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	77	北海道病院事業条例の一部を改正する条例案	保健福祉	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	78	公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置条例の一部を改正する条例案	文 教	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	79	北海道立青少年体験活動支援施設条例の一部を改正する条例案	文 教	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	80	北海道立博物館条例の一部を改正する条例案	文 教	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	81	北海道立学校条例の一部を改正する条例案	文 教	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	82	北海道公安委員会手数料条例の一部を改正する条例案	総 務	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	83	国営土地改良事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	農 政	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	84	訴えの提起に関する件	建 設	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	85	業務委託料請求調停事件における調停の件	総合政策	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	86	公の施設の指定管理者の指定に関する件	総 務	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	87	公の施設の指定管理者の指定に関する件	環境生活	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	88	公の施設の指定管理者の指定に関する件	環境生活	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	89	包括外部監査契約の締結に関する件	総 務	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	90	北海道道の路線の認定に関する件	建 設	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	91	北海道工業用水道事業会計資本金の額の減少に関する件	経 済	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	92	北海道公立大学法人札幌医科大学の定款の変更に関する件	総 務	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	93	地方独立行政法人北海道立総合研究機構の定款の変更に関する件	総合政策	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	94	北海道公立大学法人札幌医科大学が業務に関して徴収する料金の上限の定めの変更の認可に関する件	総 務	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	95	地方独立行政法人北海道立総合研究機構が業務に関して徴収する料金の上限の定めの変更の認可に関する件	総合政策	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	96	財産の処分に関する件	文 教	2. 3. 25	原案可決
2. 2. 27	97	令和元年度北海道一般会計補正予算（第4号）	付託省略	2. 2. 27	原案可決
2. 3. 11	98	令和元年度北海道一般会計補正予算（第5号）	予 算	2. 3. 13	原案可決
2. 3. 11	99	令和元年度北海道公債管理特別会計補正予算（第1号）	予 算	2. 3. 13	原案可決
2. 3. 11	100	令和元年度北海道国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	予 算	2. 3. 13	原案可決
2. 3. 11	101	令和元年度北海道中小企業近代化資金貸付事業特別会計補正予算（第3号）	予 算	2. 3. 13	原案可決
2. 3. 11	102	令和元年度北海道苫小牧東部地域開発出資特別会計補正予算（第1号）	予 算	2. 3. 13	原案可決
2. 3. 11	103	令和元年度北海道石狩湾新港地域開発出資特別会計補正予算（第2号）	予 算	2. 3. 13	原案可決
2. 3. 11	104	令和元年度北海道就農支援資金貸付事業等特別会計補正予算（第2号）	予 算	2. 3. 13	原案可決
2. 3. 11	105	令和元年度北海道公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	予 算	2. 3. 13	原案可決
2. 3. 11	106	令和元年度北海道流域下水道事業特別会計補正予算（第1号）	予 算	2. 3. 13	原案可決
2. 3. 11	107	令和元年度北海道営住宅事業特別会計補正予算（第1号）	予 算	2. 3. 13	原案可決
2. 3. 11	108	令和元年度北海道住宅供給公社経営健全化資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）	予 算	2. 3. 13	原案可決
2. 3. 11	109	令和元年度北海道地方競馬特別会計補正予算（第3号）	予 算	2. 3. 13	原案可決

提 年 月 日	番 号	件 名	付 委 員 託 会	議 年 月 日	議 結 事 果
2. 3. 11	110	令和元年度北海道電気事業会計補正予算（第2号）	予 算	2. 3. 13	原案可決
2. 3. 11	111	令和元年度北海道工業用水道事業会計補正予算（第1号）	予 算	2. 3. 13	原案可決
2. 3. 11	112	令和元年度北海道病院事業会計補正予算（第1号）	予 算	2. 3. 13	原案可決
2. 3. 11	113	基金の整理のための関係条例の整備に関する条例案	総 務	2. 3. 13	原案可決
2. 3. 25	114	令和元年度北海道一般会計補正予算（第6号）	付託省略	2. 3. 25	原案可決
2. 3. 25	115	令和2年度北海道一般会計補正予算（第1号）	付託省略	2. 3. 25	原案可決
2. 3. 25	116	北海道監査委員の選任につき同意を求める件	付託省略	2. 3. 25	同意議決
2. 3. 25	117	北海道収用委員会予備委員の選任につき同意を求める件	付託省略	2. 3. 25	同意議決

報 告

提 年 月 日	番 号	件 名	付 委 員 託 会	議 年 月 日	議 結 事 果
2. 2. 27	1	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
2. 2. 27	2	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
2. 2. 27	3	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
2. 2. 27	4	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
2. 2. 27	5	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
2. 2. 27	6	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
2. 2. 27	7	専決処分報告の件	報告のみ	—	—

第 1 回定例会において議員又は委員会から提出のあった案件

会 議 案

提 年 月 日	出 日	番 号	件 名	提 出 者	議 年 月 日	決 日	議 結	事 果	
2.	3.	25	1	北海道議会委員会条例の一部を改正する条例案	議会運営委員長 吉田 祐樹	2.	3.	25	原案可決

決 議 案

提 年 月 日	出 日	番 号	件 名	提 出 者	議 年 月 日	決 日	議 結	事 果	
2.	3.	24	1	ウポバイ開設を契機とする共生社会の実現に関する決議	笠井 龍司議員外 4 人	2.	3.	25	原案可決

意 見 案

提 年 月 日	出 日	番 号	件 名	提 出 者	議 年 月 日	決 日	議 結	事 果	
2.	3.	24	1	新型コロナウイルス感染症対策の充実を求める意見書	笠井 龍司議員外 4 人	2.	3.	25	原案可決
2.	3.	24	2	中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書	笠井 龍司議員外 4 人	2.	3.	25	原案可決
2.	3.	24	3	地球温暖化対策の推進を求める意見書	笠井 龍司議員外 4 人	2.	3.	25	原案可決

動 議

提 年 月 日	出 日	件 名	提 出 者	議 年 月 日	決 日	議 結	事 果	
2.	3.	24	議案第 1 号令和 2 年度北海道一般会計予算については撤回し、組み替えの上再提出を求める動議	稲村 久男議員外 5 名 (賛成者 5 人)	2.	3.	25	否 決

会 議 案

会議案第1号

北海道議会委員会条例の一部を改正する条例案

〔 2年1定
議会運営委員長 吉田 祐樹提出
令和2年3月25日 原案可決 〕

北海道議会委員会条例の一部を改正する条例

北海道議会委員会条例（昭和31年北海道条例第61号）の一部を次のように改正する。

第17条の見出し中「取扱」を「取扱い」に改め、同条第1項中「委員会」の次に「の会議」を加え、「議員のほか、委員長の許可を得た者が傍聴することができる」を「原則としてこれを公開する」に改め、同条第2項中「委員長は、」の次に「委員会の会議の秩序を保持するため」を加え、同条に次の1項を加える。

3 前2項に定めるもののほか、委員会の会議の傍聴に関し必要な事項は、議長が定める。

第20条第1項中「会議中」を「委員会の会議中」に改め、同条第2項中「会議中」を「委員会の会議中は」に改める。

第21条第2項中「終る」を「終わる」に改める。

第24条第2項中「かたよらないように」を「偏らないように」に改める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して3月を超えない範囲内において議長が定める日から施行する。

説 明

一層道民に開かれた委員会運営に資するよう、委員会の会議の傍聴に関する規定を整備するため、この条例を制定しようとするものである。

決 議 案

決議案第1号

ウポポイ開設を契機とする共生社会の実現に関する決議

〔 2年1定
笠井 龍司議員外4人提出
令和2年3月25日 原案可決 〕

昨年4月、「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律」が成立し、アイヌの人たちが我が国の先住民族であることが明記されたほか、国民理解の促進やアイヌの人々への差別の禁止、地域のアイヌ施策を支援する交付金、文化振興や生活向上に加え地域振興や観光振興などを含む総合的なアイヌ政策の扇のかなめとなる民族共生象徴空間「ウポポイ」に関する規定などが定められた。

本年4月に開設されるウポポイは、我が国の貴重な文化であるアイヌ文化を復興・発展させる拠点であり、先住民族の尊厳を尊重し差別のない多様で豊かな文化を持つ活力ある共生社会を築いていくための象徴として、重要な意義を有するものである。

天災や病気などさまざまな脅威にさらされている現代社会において、ウポポイは、自然の恵みに感謝し、人間を深く愛し、人間にとって有益ではないものも含む人間の力の及ばない事象を神として敬ってきたアイヌの人たちの歴史や文化などを学ぶことのできるものであり、国内外からウポポイに多くの方々が来場することにより、アイヌの人たちに関する正しい理解の促進が図られるだけでなく、観光振興や地域振興など本道経済の発展に重要な役割を担うことから、ウポポイの管理運営を担う指定法人の体制を強化し、認知度向上や魅力を高める取り組み、さらには誘客促進に向けた取り組みを積極的に進めるべきである。

よって、北海道議会は、全ての道民が相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に資するため、道民はもとより、道外や海外からも多くの方々にウポポイにお越しいただき、アイヌの歴史や文化に対する理解を深めるとともに、道内のアイヌ文化が盛んな地域などへも足を運んでいただくよう、ウポポイ開設を契機とした共生社会の実現に、道民と一体となって取り組む決意を表明するものである。

以上、決議する。

令和 年 月 日

北海道議会

意 見 案

意見案第1号

新型コロナウイルス感染症対策の充実を求める意見書

〔 2年1定
笠井 龍司議員外4人提出
令和2年3月25日 原案可決 〕

新型コロナウイルス感染症は、本年1月28日に道内でも初めての患者が発見されて以降、多くの患者が発生している状況にある。

これまで、北海道においては、国との連携のもと、患者の発生と感染拡大を防止するため、できる限りの対策を講じてきたところであり、PCR検査や医療提供体制の整備はもとより、国に先行した小・中学校の一斉休業や緊急事態を宣言し、週末の外出自粛要請や、人が大勢集まる場所や換気の悪い場所を避けるなど、道民への呼びかけを実施してきているが、感染拡大の不安はいまだ払拭されているとは言えない状況にある。

また、このたびの感染拡大により、国内外の旅行需要が大きく落ち込んだことに加え、外出の手控えなどに伴い、飲食サービスや小売業の売上げが大幅に減少しているほか、休業期間中の雇用の維持や従業員の生活安定など、さまざまな分野に影響が広がっており、北海道観光や物産に対する風評被害も懸念されている。

加えて、休業期間の長期化に伴い仕事を休まざるを得ない方々への所得保障や、子どもたちへのサポートなど、早急に手だてを講じなければならない課題が次々に生じており、新型コロナウイルス感染症は、社会全体で克服すべき問題となっている。

よって、国においては、国家的な感染症危機管理の視点に立ち、国民の生命と健康及び財産を守り、不安を解消するため、次の事項について十分な予算措置を行い、早急に対策を講ずるよう強く要請する。

記

- 1 新型コロナウイルスや基本的な感染症予防策に係る正しい知識を広く国民に周知し、冷静な対応を呼びかけるとともに、重症化しやすいとの指摘がある高齢者や基礎疾患を有する方々に対する情報提供や必要な支援を行える体制を整備し、その不安の解消を図ること。
- 2 地方自治体、医療機関が行う検査体制の強化や医療体制整備に係る人的支援や財政措置の充実を図るとともに、検査試薬やマスク、ゴーグル、消毒薬等の医療資材を早期に確保すること。また、福祉関係職場への資材についても同様に確保すること。
- 3 簡易で迅速な診断キットの早期開発や感染の拡大防止に有効であるワクチンを早急に開発すること。
- 4 地域経済への影響を最小限にするため、緊急かつ万全な中小・小規模企業への金融支援対策を実施するとともに、業種職種を問わず、個人事業主を初め、あらゆる事業者・労働者への支援策の充実や採用内定取り消しの防止、また、消費喚起、観光需要の回復に向けた総合的な対策を講ずること。
- 5 観光や食の「北海道ブランド」の回復に向け、これ以上の風評被害が生じないようエビデンスに基づく正確な情報発信を行うとともに、地域における取り組みを支援すること。
- 6 新学期から円滑に学校が再開し、安全・安心の中で児童生徒がもとの学校生活を送ることができるよう、児童生徒の心身のケアや学習活動等に必要な支援や情報提供を

行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
文部科学大臣
厚生労働大臣
経済産業大臣

} 各通

北海道議会議長 村田 憲 俊

意見案第2号

中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書

〔 2年1定
笠井 龍司議員外4人提出
令和2年3月25日 原案可決 〕

従来、ひきこもりは主として若年・青年層の課題としてイメージされてきた。しかし最近では、就職氷河期世代も含め中高年層に及ぶ大きな社会問題としてクローズアップされてきている。

国が中高年層を対象に初めて実施した全国規模の調査が、昨年3月公表されたが、40歳から64歳までのひきこもりが全国で約61万人に上るという推計は社会に大きな衝撃を与えた。ひきこもり期間の長期化や高齢化により、高齢者の親とともに社会的に孤立するケースも少なくない。

国としては、これまで都道府県・政令市への「ひきこもり地域支援センター」の設置や「ひきこもりサポーター養成研修・派遣事業」を行ってきたが、今後は、より身近な場所での相談支援の実施や社会参加の場の充実など、就職氷河期世代も含めた中高年のひきこもりに対して、これまで以上に実効性ある支援と対策を講ずるべきである。

よって、国においては、中高年のひきこもりは、個人やその家族だけの問題ではなく、社会全体で受けとめるべき大変重要な課題と捉え、次の事項について早急に取り組むよう強く求める。

記

- 1 より身近な場所での相談支援を行うため、自立相談支援機関の窓口アウトリーチ支援員を配置し、同行相談や信頼関係の構築といった対本人型のアウトリーチ支援を行う事業が創設されたが、時限となっていることから、恒久的な財政措置とすること。
- 2 中高年のひきこもりにある者に適した支援の充実を図るため、中高年が参加しやすくなるような居場所づくりやボランティア活動など就労に限らない多様な社会参加の場を確保するなど、市区町村による「ひきこもりサポート事業」のさらなる強化を図ること。さらには、家族に対する相談や講習会などの取り組みを促進すること。
- 3 「8050問題」など世帯の複合的なニーズやライフステージの変化に柔軟に対応できるよう、「断らない相談支援」や「伴走型支援」など、市区町村がこれまでの制度の枠を超えて包括的に支援することができる新たな仕組みを構築すること。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長 }
参議院議長 } 各通
内閣総理大臣 }
厚生労働大臣 }

北海道議会議長 村田 憲 俊

意見案第3号

地球温暖化対策の推進を求める意見書

〔 2年1定
笠井 龍司議員外4人提出
令和2年3月25日 原案可決 〕

近年、世界各地で豪雨や猛暑などの異常気象による災害が頻発している。本道においても、2016年に台風が相次いで上陸・接近したほか、2019年には北海道の観測史上、初めて最高気温が39度台を記録するなど、気候変動による影響が道民生活や基幹産業である農林水産業、自然生態系など幅広い分野に影響が及ぶことが懸念されている。

こうした気候変動は、地球温暖化が一因ともされており、2015年に採択された新たな国際的枠組みである「パリ協定」では、世界の平均気温の上昇を産業革命以前に比べて2度より十分低く保つことを世界共通の目標としたほか、2018年に公表された、国連の気候変動に関する政府間パネル、いわゆるIPCCの特別報告書では、気温上昇を2度よりリスクの低い1.5度に抑えるためには、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることが必要とされた。

こうした中、国は、2019年に策定した「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略」において、最終到達地点としての「脱炭素社会」を掲げ、今世紀後半のできるだけ早期に実現することとし、地方自治体に対し2050年に温室効果ガス排出量を実質ゼロとすることを目指す旨の表明を呼びかけている。

呼びかけに応じた地方自治体はその目標を達成するためには、地域の特性に応じて、省エネルギーや再生可能エネルギー導入の促進など従来行ってきた取り組みの一層の推進及び二酸化炭素の分離・回収・再利用といった国の成長戦略に掲げる革新的な環境イノベーションなどを地域において積極的に展開することが必要であり、国は、その取り組みを全面的に支援し、排出量実質ゼロを実現させるべきである。

よって、国においては、長期戦略を着実に進めるために、地域における積極的な取り組みを財政面及び技術面から力強く支援するよう要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
経済産業大臣
環境大臣 } 各通

北海道議会議長 村田 憲 俊

請 願

① 第1回定例会において各常任・特別委員会に付託されたもの

文書表 番 号	件 名	付 託 委 員 会	審 査 の 結 果
7	北海道の子どもたちにゆきとどいた教育を求める件	文 教	継続審査
8	精神障がい者の運賃割引を求める件	保健福祉	継続審査

第 1 回 臨 時 会

▶784億4400万円余の令和2年度補正予算を可決◀

概 要

- ① 令和年度一般会計補正予算等を審議するため招集された第1回臨時会は、4月28日招集され、会議録署名議員の指定等の後、会期を4月28日の1日間と決定。

次に、**総額784億4400万円余の令和2年度補正予算案及びこれに関連する議案等2件**が上程され、知事から提出議案に関する説明の後、質疑を行った後、議案第1号は委員会付託を省略、議案第2号、報告第1号は総務委員会に付託することを決定。総務委員長報告の後、討論を行い、採決の結果、報告第1号は委員長報告のとおり**承認議決**、議案第1号は異議なく**原案可決**、議案第2号は異議なく委員長報告のとおり**原案可決**。

次に、北海道教育委員会教育長の選任につき同意を求める件が追加提案され、知事から提案説明の後、委員会付託を省略し、採決の結果、異議なく同意議決。

最後に、**意見案第1号「新型コロナウイルス感染症対策の強化等を求める意見書」**が提案され、説明及び委員会付託を省略し、採決の結果、異議なく原案可決し、閉会した。

- ② 提出案件の議決状況は次のとおりである。

提 案 者	提出件数	議 決 状 況			報告のみ
		原案可決	同意議決	承認議決	
知 事	5	2	1	1	1
議 員	1	1			
計	6	3	1	1	1

本 会 議

○4月28日(火) 午前10時7分開会、村田憲俊議長、令和2年第1回臨時会の開会を宣し、

日程第1 会議録署名議員の指定を行い、諸般の報告。

日程第2 会期決定の件を議題とし、今臨時会の会期を4月28日の1日間と決定。

日程第3 議案第1号、第2号及び報告第1号を議題とし、知事から提出議案に関する説明。

提出議案に関する質疑に入り、



桐木 茂雄議員(自民) から、

1 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・必要なPCR検査が速やかに受けられるよう検査体制の充実に向けた道の対応

- ・患者の病状に応じた受け入れ施設の確保に係る考え方とその手立て
- ・最悪の事態の回避に向けた道内各地域の医療体制整備に係る所見及び連休中の対応
- ・休業要請等の対象設定の考え方及び今後の対象施設見直しに係る見解
- ・支援金の早期支給に向けた取り組み
- ・休業要請の実効性確保に向けた今後の取り組み
- ・全道的な感染拡大防止に向けた市町村との連携
- ・内定取り消しや離職などを余儀なくされた方々の道への採用に係る見解
- ・GIGAスクール構想の推進に向けた取り組み
- ・諸対策の有効活用に向けた情報発信などの取り組みに係る見解

等について質問があり、知事及び教育部長兼教育職員監から答弁。同議員から発言。



藤川 雅司議員(民主) から、

1 令和2年度予算の見直しについて

- ・既存予算の執行を見直し、新たな対策に振り向けるなど、令和2年度予算の見直しに向けた取り組みに係る所見

2 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について

- ・使途の自由度や増額などの国への要望に係る見解
- 3 医療環境の整備について
- ・医療従事者の特殊勤務手当見直しに係る所見
 - ・医療機関でのクラスター発生に係る受け止め及び今後の対策
 - ・PCR検査の試薬措置による現状改善効果に対する見解
 - ・今後の情報公開のあり方に係る所見
- 4 水際対策について
- ・実施主体や必要な対策の水準を整理した上で、総合的な水際対策を講ずることへの所見
- 5 衛生用品等の整備について
- ・社会福祉施設等の職員に配布する衛生用品の必要数の確保及び利用者への措置に係る所見
 - ・流通部門への強化に係る所見
- 6 生活福祉資金貸付金について
- ・今回の追加対策がセーフティーネットとしての役割を果たす十分な規模かどうかに係る所見
- 7 障がい児等への放課後デイサービスについて
- ・障がいのある子どもたちの居場所の確保に係る所見
- 8 労働者の安全と安心確保について
- ・労働者の安全と安心の確保に向けた所見
- 9 支援金の給付について
- ・支援金給付の公平性、公正性の確保に向けた対応に係る所見
 - ・個人事業者の定義及び制度対象から外れてしまう個人事業者の支援に係る所見
- 10 大学生への支援について
- ・国の支援制度では救い切れない学生のために、道独自の支援制度を創設して救済していくことへの所見
- 11 GIGAスクール構想について
- ・学校現場での円滑な導入に向けた、機器整備やそのサポート、国の財政支援の拡大に向けた取り組み

等について質問があり、知事及び教育部長兼教育職員監から答弁。同議員から再質問。知事から答弁。



赤根 広介議員（結志） から、

- 1 北海道における新型コロナウイルス対策の展開方向について
 - ・新型コロナウイルスと闘う体制が整ったとする認識の根拠
 - ・緊急支援フェーズを緊急対応

期と感染拡大防止・社会経済活動両立期に分けた意味

- ・不急の事業を洗い出し、財源を捻出することに係る見解
- 2 医療対策について
 - ・PCR検査拒否などの実態を踏まえた現状認識及び札幌市との連携を含む検査態勢の充実に向けた取り組み
 - ・道内医療機関の医療用具の整備状況に係る認識と今後の対応
 - ・患者の急増や重症者への対応を念頭に置いた医療提供体制整備に向けた取り組み
 - ・無給医や研修医の関わりの把握及びセーフティネットに対する認識
 - ・医療従事者や保健所職員への特殊勤務手当支給に対する所見
 - ・感染者や医療従事者等への誹謗中傷といった差別的行為を許さない態度の表明及び道民一体となった取り組みの推進に向けたメッセージの発信に係る所見
 - 3 水際対策について
 - ・サーモグラフィーを使った空港での監視の体制
 - ・監視活動の費用や労力を医療機器整備に振り替えることへの見解
 - 4 軽症者等用宿泊施設借上事業等について
 - ・軽症者等用宿泊施設の札幌圏以外での確保に係る見解
 - ・ネットカフェに長期間居住している人たちへの対処
 - 5 休業協力・感染リスク低減支援事業について
 - ・法人、個人事業主、飲食店で支援金の交付額に差をつけた合理的理由
 - ・他都府県と異なり、休業だけでなく感染リスク低減の取り組みを交付条件とする理由
 - 6 中小企業総合振興資金貸付金について
 - ・このたび創設される実質無利子の感染症対応資金に借り換えることが予想されるが、その場合の既に支払っている保証料の取り扱い

- ・他の資金からの借換え
 - ・道が利子補給し感染症対応資金を全期間実質無利子とすることへの見解
- 7 観光関連について
 - ・宿泊施設へのサーモグラフィー設置に限らずPCR検査を容易に受けられる体制構築に係る所見
 - ・宿泊税検討の棚上げに係る所見
 - ・ゴールデンウィーク中の宿泊事業者への休業要請及び不要不急の来道をやめるアラートの発信に係る所見
 - 8 外出自粛について
 - ・8割削減に向けた具体的な取り組み
 - ・テレワーク普及に係る取り組みが含まれていない理由
 - ・道庁におけるテレワーク環境の整備に係る見解
 - 9 学校休業について
 - ・5月7日以降の対応方針に係る所見

等について質問があり、知事及び教育部長兼教育職員監から答弁。同議員から再質問。知事から答弁。



安藤 邦夫議員（公明） から、

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
 - ・本道における感染拡大の見通し
 - ・PCR検査体制の一層の拡充

に係る所見

- ・陽性者を入院、宿泊施設、自宅待機と分ける際の基準及び軽症者に対する宿泊施設における医療体制
- ・各種施設及び道立学校における感染予防対策の実施に向けた今後の取り組み
- ・修学支援の対象拡大に係る所見
- ・生活福祉資金の貸付けの対象者及び支援制度の周知に向けた取り組みに係る所見
- ・失業者の就労に向けた支援に係る所見
- ・無利子融資を活用できる企業の要件及び実際に融資が受けられるまでのスケジュール
- ・休業要請に協力した事業者に対する支援金の申請から交付までのスケジュール
- ・休業補償の実施に係る所見
- ・観光業の反転攻勢に向けた土台づくりの取り組みに係る所見

等について質問があり、知事及び教育部長兼教育職員監から答

弁。



菊地 葉子議員（共産） から、

1 現状に対する知事の認識について

- ・現在の本道が該当するフェーズに係る認識

2 緊急対策に対する知事の認識について

- ・休業補償や医療提供体制の充実に向けた第3段の緊急対策を早急に講じることへの認識

3 雇用対策について

- ・解雇や賃金カットされた労働者の救済に係る所見及び失業者を道が雇用する独自の雇用対策に係る所見

4 休業協力・感染リスク低減支援事業費について

- ・事業者の今後に対する悲観的な見方に対応した更なる支援の実施に係る認識

5 医療提供体制の確保について

- ・マスク、消毒液等の配備の優先順位に係る認識及び不足解消に向けた積算の根拠
- ・医療従事者増員の必要性の認識及び具体的な手立て

6 患者発生対策費について

- ・予算計上による1日当たりのPCR検査数の見込み
- ・必要な検査を迅速に実施するための判断基準の見直しに係る所見

7 感染症病床確保促進事業費について

- ・減収となった医療機関への補償に係る見解

8 家庭におけるICT環境について

- ・支援が必要な家庭の実態に対する認識及び現状改善に向けた見解

等について質問があり、知事及び教育部長兼教育職員監から答弁。同議員から再質問。知事及び教育部長兼教育職員監から答弁があつて質疑を終結。

議案第1号の委員会付託を省略、議案第2号、報告第1号を総務委員会に付託し、議事進行の都合により午後4時50分休憩。午後5時23分再開。

日程第3 議案第1号を議題とし、日程第3の議事を中止

追加日程 議案第2号及び報告第1号を議題とし、日程第3にあわせ追加日程を一括議題とし、総務委員長から総務委員会における付託議案審査の経過と結果について報告。

討論に入り、宮川潤議員（共産）から、報告第1号に関する反対討論があつて、討論終結。

採決に入り、報告第1号を問題とし、委員長報告（承認議決）のとおり決することについて、起立多数により承認議決。

議案第1号及び報告第2号を問題とし、議案第1号は原案のとおり、議案第2号は委員長報告（可決）のとおり決することについて、いずれも異議なく原案可決。

日程第4 議案第3号を議題とし、知事から追加提出議案に関する説明の後、委員会付託を省略。採決に入り、異議なく同意議決。

日程第5 意見案第1号を議題とし、説明及び委員会付託を省略し、採決に入り、異議なく原案可決。

今臨時会に付議された案件は、すべて議了。

午後5時34分閉会。

提出案件

第1回臨時会において知事から提出のあった案件

議案

提出年月日	番号	件名	付託委員会	議決年月日	議決結果
2. 4. 28	1	令和2年度北海道一般会計補正予算（第2号）	付託省略	2. 4. 28	原案可決
2. 4. 28	2	北海道知事等の給与等に関する条例等の一部を改正する条例案	総務	2. 4. 28	原案可決
2. 4. 28	3	北海道教育委員会教育長の選任につき同意を求める件	付託省略	2. 4. 28	同意議決

報告

提出年月日	番号	件名	付託委員会	議決年月日	議決結果
2. 4. 28	1	専決処分報告につき承認を求める件	総務	2. 4. 28	承認議決
2. 4. 28	2	専決処分報告の件	報告のみ	—	—

第1回臨時会において議員から提出のあった案件

意見案

提出年月日	番号	件名	提出者	議決年月日	議決結果
2. 4. 28	1	新型コロナウイルス感染症対策の強化等を求める意見書	笠井 龍司議員外4人	2. 4. 28	原案可決

意見案

意見案第1号

新型コロナウイルス感染症対策の強化等を求める意見書

2年1臨
笠井 龍司議員外4人提出
令和2年4月28日 原案可決

新型コロナウイルス感染症は、世界的な広がりを見せており、日本においても都市部を中心とした感染の急速な感染拡大を受け、4月6日に改正新型インフルエンザ対策特別措置法に基づく緊急事態宣言を7都府県に発令し、さらに、4月16日には対象を全都道府県に拡大して発令したところであり、いまだ事態の収束は見通せない状況にある。

北海道においては、国に先駆けた独自の小中学校の一斉休業や緊急事態を宣言し、不要不急の外出自粛など、官民を挙げて道民の行動変容を促す取組を講じ、一定の効果を上げてきているが、4月以降の新規発生患者の増加等を踏まえ、このたびの国の緊急事態宣言においては、重点的に対策を進める「特定警戒都道府県」に位置づけられるなど、より危機意識を高め感染拡大防止対策に取り組むべき状況にあり、特に医療の現場においては、医師・看護師などの人材不足や、院内感染によって危機的な状況にある。

また、外出の自粛や観光客の減少などにより、観光業、飲食業、小売業をはじめ幅広い業種で影響が拡大し、製造業などでも部品・原料調達ができないことによる受注・販売機会の損失の発生が見られるなど、道内の中小・小規模企業の経営環境は大変に厳しい状況にあり、さらに雇用の維持や従業員の生活安定など様々な方面に関しても影響が拡大しつつある。

よって、国においては、緊急事態宣言の全国への拡大という新しい局面を迎えた今、次の事項について早急に対策を講ずるよう強く要請する。

記

- 1 早期発見による感染拡大防止のため、簡易検査キットの早期開発及びPCR用検査試薬の十分な提供など、さらなる検査体制の充実を図ること。また、地域における医療提供体制確保に支障が生じないように、効果的な院内感染対策について周知を図るとともに、マスクやゴーグル、防護服等の医療用資機材を国の責任において確保し、供給の見込みを示すこと。同様に、福祉関係職場や一般住民用の資材についても確保すること。
- 2 国際社会と連携し、感染拡大防止に有効であるワクチンや治療薬を開発し、早期に供給すること。
- 3 住民からの相談対応や検体搬送、積極的疫学調査等、多岐にわたる感染症対策に対応し、過重となっている保健所の感染対策業務に対する専門的技術支援や活動経費に対する財政措置を充実すること。また、国の責任において、医療機関等の新型コロナウイルス感染症対策に従事する者への危険手当を支給すること。
- 4 学校の臨時休業や企業等の休業の長期化等に伴い、低所得世帯や自宅での養育を余儀なくされるひとり親世帯などに対する、さらなる経済的・生活支援を講じ、生活不安の解消を図ること。
- 5 不正確な情報に基づく感染者への偏見や医療従事者に対する差別的な扱いについて、政府広報の活用等、必要な対策を講ずること。
- 6 感染症の影響が長期化し、個人事業主や中小企業の経営悪化が深刻化する中、緊急

かつ万全な中小・小規模企業への金融支援対策や各種税の支払い等に関する柔軟な対応、また、業種職種を問わず、個人事業主をはじめ、あらゆる事業者・労働者への支援策の充実や新規学卒者等の採用に対する特段の配慮など、当面の事業継続・雇用維持に万全の対応を行うこと。

- 7 観光や食の「北海道ブランド」の回復に向け、これ以上の風評被害が生じないようエビデンスに基づく正確な情報発信を行うとともに、地域における取組を支援すること。
- 8 緊急事態宣言の発出に伴う外出の自粛により、観光業や飲食業をはじめ事業者に多大な影響が生じること、さらには休業要請に応じた事業者は大きな売上減少に直面することから、宣言の趣旨を徹底する観点からも、国の責任のもと事業者への損失補償を行うこと。
- 9 学校再開に向け、児童生徒の心身のケアや学習活動等に必要な支援や情報提供を行うこと。
- 10 企業の生産活動の縮小や、個人消費の低迷などにより、国税や地方税について、大幅な減収が見込まれることから、地方自治体の財政運営に支障が生じないよう補填措置を行うこと。また、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（仮称）について、各地域の実情に応じて実効性ある対策が講じられるよう、その総額を大幅に増額すること。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長	}	各通
参議院議長		
内閣総理大臣		
財務大臣		
総務大臣		
文部科学大臣		
厚生労働大臣		
経済産業大臣		

北海道議会議長 村 田 憲 俊

委員会の動き

議会運営委員会

○2月20日(木) 開議 午後1時4分
散会 午後1時8分
議会運営委員会室
委員長 吉田 祐樹(自民)

- ① 元議員の逝去について
- ・青木延男氏(旭川市選出、第20期～第25期、1月5日逝去)、藤沢一雄氏(留萌支庁選出、第23期～第24期、1月16日逝去)、井上真澄氏(紋別市選出、第26期～第27期、2月3日逝去)について報告。
- ② 令和2年第1回定例会について
- ・総務部長から招集日を2月27日(木)とする旨発言があり、これを了承。
 - ・総務部長から、提出予定の主要案件について説明。
 - ・会期について28日間とすることを決定。
 - ・日程について、次のとおり取り進めることを決定。
- 〔第1回定例会〕
- | | |
|-------------|---------------------|
| 2月27日 | 本会議(提案説明) |
| 2月28日 | 休会 |
| 3月2日～3月3日 | 休会 |
| 3月4日～3月5日 | 本会議(代表質問) |
| 3月6日 | 休会 |
| 3月9日～3月11日 | 本会議(一般質問) |
| 3月12日 | 本会議(一般質問、予算特別委員会設置) |
| 3月13日 | 本会議(補正予算議決) |
| 3月16日～3月19日 | 休会 |
| 3月23日～3月24日 | 休会 |
| 3月25日 | 本会議 |
- ③ 議場コンサートについて
- ・配付の実施要領案のとおり、定例会招集日の2月27日(木)に実施することを決定。
- ④ 議員研修会について
- ・配付の実施要領案のとおり、定例会招集日の2月27日(木)に実施することを決定。
- ⑤ 本委員会の道外調査について
- ・4月21日(火)から23日(木)までの3日間、

実施することとし、調査先は、広島県及び沖縄県の2カ所とすることを決定。

○2月26日(水) 開議 午後6時42分
散会 午後6時49分
議会運営委員会室
委員長 吉田 祐樹(自民)

- ① 第1回定例会の進め方について
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大が懸念される状況を踏まえ、理事者の感染症対策を最優先とすること、議会運営については、大人数で長時間にわたる閉鎖的な環境をできるだけ回避しつつ、予算や条例などの重要案件の審議を進めるため、日程について配付の日程案のとおり変更することを決定。
- 〔第1回定例会変更日程〕
- | | |
|-------------|--------------------------|
| 2月27日 | 本会議(提案説明) |
| 2月28日 | 休会 |
| 3月2日～3月6日 | 休会 |
| 3月9日～3月10日 | 休会 |
| 3月11日 | 本会議(代表質問・一般質問) |
| 3月12日 | 本会議(代表質問・一般質問、予算特別委員会設置) |
| 3月13日 | 本会議(補正予算議決) |
| 3月16日～3月19日 | 休会 |
| 3月23日～3月24日 | 休会 |
| 3月25日 | 本会議 |
- ・代表質問及び一般質問について、3月11日(水)及び12日(木)の2日間とする。
 - ・通告は3月9日(月)の正午までに提出する。
 - ・質問者は各派1名とする。
 - ・通告時間は大会派50分、小会派25分、諸派は20分の範囲内とする。
- ② 第1回定例会の提出議案の事前説明について
- ・総務部長から、提出予定の主要案件について説明。
 - ・先議要請があった議案第97号の補正予算について、明日の本会議において、先議することを決定。
 - ・本件に関する質疑について、3名の通告があり、質疑の順位については、配付の通告一覧のとおりとする。

- ・先議の方法について、明日の本会議において、提出議案に関する説明の後、先議することを議決した上、本会議を一たん休憩し、再開後、質疑を行い、委員会付託を省略し、議決する扱いとすることを決定。

③ 休会について

- ・議案等調査のため、2月28日、3月2日から6日まで、9日及び10日は、本会議を休会することとし、3月11日（水）に再開することを決定。

④ 議場コンサート及び議員研修会について

- ・新型コロナウイルス感染症を考慮し、中止することを決定。

⑤ 2月27日の本会議議事順序について

- ・明日の委員会において協議する。

○2月27日（木） 開議 午前9時17分

散会 午前9時18分

議会運営委員会室

委員長 吉田 祐樹（自民）

① 本日の本会議議事順序について

- ・事務局長説明のとおりとする。

② 本会議開議時刻について

- ・午前10時開会とする。

○3月11日（水） 開議 午後零時53分

散会 午後零時54分

議会運営委員会室

委員長 吉田 祐樹（自民）

① 追加提出議案の事前説明について

- ・総務部長から追加提出議案について説明。
- ・追加提出議案については、本日の本会議において提案説明を行った後、一括議題として代表質問・一般質問に入ることを決定。

② 先議要請があった最終補正予算及びこれに関連する議案について

- ・従前の例により、他の案件に先がけて取り扱うことにする。

③ 代表質問・一般質問について

- ・5名の通告があり、順位については、配付の通告一覧のとおりとする。
- ・本日は1番、2番の2名、3月12日（木）は3番から5番の3名を行

うことを決定。

④ 本日の本会議議事順序について

- ・事務局長説明のとおりとする。

⑤ 理事者の発言について

- ・総務部長から、保健福祉部長本会議欠席の発言があり、これを了承。

⑥ 今定例会における新型コロナウイルス感染症への対応について

- ・感染予防・拡大防止の観点から、これまでのマスクの着用や手洗い、咳エチケットの徹底、手指消毒などに加え、国の専門家会議から示された見解も踏まえ、屋内の閉鎖的な空間に一定時間以上いることによる感染拡大のリスクを低減させるために、本会議及び委員会の運営に当たっては、休憩を多くとり、こまめに換気を行うことにする。

⑦ 理事者への依頼

本会議及び委員会の対応に当たっては、必要最低限の説明員に絞って出席願う。

⑧ 本委員会の道外調査について

2月20日の委員会において4月21日（火）から23日（木）までの日程で、調査先を広島県及び沖縄県として実施することとしていたが、このたびの新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、延期することを決定。

⑨ 本会議開議時刻について

- ・午前10時開会とする。

○3月12日（木） 開議 午前9時15分

散会 午前9時18分

議会運営委員会室

委員長 吉田 祐樹（自民）

① 代表質問・一般質問について

- ・本日は3番から5番までの3名を行う。

② 予算特別委員会について

- ・本日、代表質問・一般質問終了後、設置する。
- ・分科会の委員数については、配付の協議事項に記載のとおりとする。
- ・委員会の構成について
自民党・道民会議14人、民主・道民連合7人、北海道結志会3人、公明党2名、日本共産党1人とする。
- ・各分科会の構成について
第1分科会は自民党・道民会議6人、民主・

道民連合 4 人、北海道結志会 2 人、公明党 1 名とする。

第 2 分科会は自民党・道民会議 7 人、民主・道民連合 3 人、北海道結志会 1 人、公明党 1 名、日本共産党 1 人とする。

・委員の選任については、配付の名簿のとおりとする。

③ 議案の各委員会付託について

・配付のとおり付託することを決定。
・付託議案のうち、先議要請があった議案 98 号ないし第 113 号の令和元年度補正予算案等については、関係委員会の審査終了後、3 月 13 日（金）の本会議において議決することを決定。

④ 本日の本会議議事順序について

・事務局長説明のとおりとする。

⑤ 理事者の発言について

・総務部長から、建設部長本会議欠席の発言があり、これを了承。

⑥ 本会議開議時刻について

・午前 10 時開会とする。

○ 3 月 13 日（金） 開議 午後 2 時 15 分

散会 午後 2 時 16 分

議会運営委員会室

委員長 吉田 祐樹（自民）

① 先議案件の審議状況について

・予算特別委員会及び総務委員会において、予算 15 件、総務 1 件の審査を終了したことを報告。

先議案件については本日の本会議において、議決する。

② 休会について

・各委員会付託議案等審査のため、3 月 16 日から 19 日まで及び 23 日から 24 日までは本会議を休会することとし、3 月 25 日（水）に再開することを決定。

③ 本日の本会議議事順序について

・事務局長説明のとおりとする。

④ 本会議開議時刻について

・午後 3 時開会とする。

○ 3 月 25 日（火） 開議 午後零時 45 分

散会 午後零時 53 分

議会運営委員会室

委員長 吉田 祐樹（自民）

① 各委員会付託議案の審議状況について

・すべて（予算 20 件、総務 13 件、保健福祉 11 件、経済 8 件、建設 10 件、北方領土 1 件、環境生活 12 件、少子・高齢 2 件、農政 5 件、水産林務 6 件、文教 5 件、総合政策 3 件）議了したことを報告。

② 動議の取り扱いについて

・稲村久男議員ほか 5 名から、動議の提出があり、本日の本会議において議決することを決定。

③ 追加提出議案の事前説明について

・総務部長から、追加提出議案について説明。
・追加提出議案については、本日の本会議において、委員会付託を省略し、議決することを決定。

④ 議案第 114 号及び第 115 号に関する質疑について

・5 名の通告があったことを報告。
・質疑の順位については配付の質疑通告一覧のとおりとするのを決定。

⑤ 委員会条例及び傍聴規則の一部改正について

・新議会庁舎への移転を契機として、一層道民に開かれた議会運営に資するため、委員会の運営や議会の傍聴に関し、委員会条例及び傍聴規則の一部改正について理事会において協議を行った結果、委員会条例については配付の会議案第 1 号のとおり、議会運営委員会の発議により、本日の本会議において議決することを決定。
傍聴規則については配付の改正案のとおり一部改正することを決定。

⑥ 決議案の取り扱いについて

・決議案第 1 号の提出があり、本日の本会議において議決することを決定。

⑦ 意見案の取り扱いについて

・意見案第 1 号ないし第 3 号の提出があり、本日の本会議において議決することを決定。

⑧ 継続調査の申し出について

・配付の申し出書のとおり、議長に閉会中継続調査を申し出ることを決定。

⑨ 本日の本会議議事順序について

- ・事務局長説明のとおりとする。

⑩ 理事者の発言について

- ・総務部長から発言のあった専決処分について、了承することを決定。
- ・総務部長から発言のあった年間の各定例会の招集予定日について、了承することを決定。

⑪ 新庁舎における議会食堂の出店予定候補者について

- ・事業者3者の参加表明があり、全ての業者から企画提案書の提出があった。議会事務局が行った公募審査会の採点を踏まえ、議事会協議の結果、(C者)とすることを議長に報告することを決定。

⑫ 本会議開議時刻について

- ・準備でき次第開会とする。

○4月7日(火) 開議 午前11時2分
散会 午前11時3分
議会運営委員会室
委員長 吉田 祐樹(自民)

開議に先立ち、4月1日付けの人事異動に伴う幹部職員の紹介。

① 道議会におけるクールビズの実施について

- ・本年も配付資料のとおり実施することを決定。

○4月23日(木) 開議 午後1時1分
散会 午後1時5分
議会運営委員会室
委員長 吉田 祐樹(自民)

① 臨時会の招集について

- ・総務部長から、招集日を4月28日(火)とすること及び招集告示案件について説明があり、これを了承することを決定。
- ・会期については1日間とすることを決定。
- ・運営方法については、補正予算案及び人事案件は委員会付託を省略、条例案及び専決処分報告につき承認を求める件は所管の総務委員会に付託し、委員会審査の後、それぞれ議決することを決定。
- ・各種委員会の説明員については、従来例により、付議事件と関係のない説明員は、本会議に出席を求めないことを了承。

○4月28日(火) 開議 午前9時15分
散会 午後17時10分
議会運営委員会室
委員長 吉田 祐樹(自民)

① 提出議案の事前説明について

- ・総務部長から、提出予定議案について説明。

② 質疑並びに質問の通告について

- ・5名の通告があったことを報告。
- ・質疑の順位については、配付の通告一覧のとおりとすることを決定。

③ 意見案の取扱いについて

- ・意見案第1号について、急施を要する案件として本日の本会議において議決することを決定。

④ 本日の本会議議事順序について

- ・事務局長説明のとおりとする。

⑤ 理事者の発言について

- ・総務部長から発言のあった佐藤教育長死去に伴う道教委の臨時会対応について了承することを決定。

⑥ 本会議開議時刻について

- ・午前10時開会とする。

⑦ 委員会付託議案の審議状況について

- ・総務委員会で審査を終了したことを報告。

⑧ 再開後の本会議について

- ・総務委員会に付託されていた議案第2号及び報告第1号を日程に追加し、日程第3とあわせ一括議題として委員長の報告を行い、議決することを了承。

⑨ 再開後の議事順序について

- ・事務局長説明のとおりとする。

⑩ 本会議再開時刻について

- ・準備でき次第とする。

常任委員会

総務委員会

○1月7日(火) 開議 午後1時16分
散会 午後1時34分
第10委員会室
委員長 花崎 勝(自民)

開議前

1. 新年の挨拶
[委員長、会計管理者兼出納局長、道警察本部総務部長]

議事

1. 令和2年度予算政府案の概要に関する報告聴取の件
[総務部次長兼行政改革局長、道警察本部総務部長報告]
1. 令和元年度北海道国民保護共同図上訓練の実施に関する報告聴取の件
[危機対策局長報告]
1. 令和元年度北海道防災総合訓練(厳冬期)の実施に関する報告聴取の件
[危機対策局長報告]
1. 令和元年度北海道原子力防災訓練の実施に関する報告聴取の件
[原子力安全対策担当局長報告]
1. 令和元年の交通死亡事故発生状況と本年の抑止対策に関する報告聴取の件
[道警察本部交通部長報告]

○2月4日(火) 開議 午後1時13分
散会 午後1時55分
第10委員会室
委員長 花崎 勝(自民)

開議前

1. 人事異動に伴う幹部職員の紹介

議事

1. 道外調査実施報告の件 [委員長報告]
1. 北海道立道民活動センターの指定管理者の候補者選定に関する報告聴取の件
[総務部次長兼行政改革局長報告]

1. 「北海道庁本庁舎に設置されている免震オイルダンパー」に関する報告聴取の件
[総務部次長兼行政改革局長報告]
1. 北海道行政基本条例の点検・検討結果に関する報告聴取の件
[総務部次長兼行政改革局長報告]
1. 令和元年度における主な防災訓練等の実施結果に関する報告聴取の件
[危機対策局長報告]
1. 北海道の犯罪情勢(令和元年)に関する報告聴取の件
[道警察本部刑事部長報告]

質問

1. 宮下 准一委員(自民)
～不適切事案について
1. 浅野 貴博委員(自民)
～原子力防災対策について

○2月26日(水) 開議 午前10時14分
散会 午前11時50分
第10委員会室
委員長 花崎 勝(自民)

議事

1. 令和2年第1回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件
[総務部長、道警察本部総務部長説明]
1. 次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画(案)に関する報告聴取の件 [人事局長報告]
1. 「市町村における防災対策に関する総点検」の実施結果に関する報告聴取の件
[危機対策局長報告]
1. 「北海道消防学校教育訓練等のあり方」(案)に関する報告聴取の件
[危機対策局長報告]
1. 令和元年度北海道原子力防災訓練の実施結果に関する報告聴取の件
[原子力安全対策担当局長報告]
1. 包括外部監査の結果に関する報告聴取の件
[総務部次長兼行政改革局長報告]
1. 適正な事務執行に向けた取組に関する方針(内部統制基本方針)に関する報告聴取の件
[総務部次長兼行政改革局長報告]

1. 北海道監査委員監査基準に関する報告聴取の件 [定期監査室長報告]
1. 警護現場における警察措置に関する報告聴取の件 [道警察本部長報告]

質 疑

1. 山根 理広委員（民主）
～警護現場における警察措置について

○3月13日（金） 開議 午後1時5分
散会 午後1時12分
第10委員会室
委員長 花崎 勝（自民）

付託案件の審査

議案第113号
基金の整理のための関係条例の整備に関する条例案 (原案可決)

議 事

1. 付託議案審査の件

○3月24日（火） 開議 午前10時18分
散会 午前10時37分
第10委員会室
委員長 花崎 勝（自民）

付託案件の審査

議案第19号
北海道知事等の損害賠償責任の一部免責に関する条例案 (原案可決)

議案第20号
北海道地方独立行政法人の役員等の損害賠償責任の免除に関する基準を定める条例案 (原案可決)

議案第24号
北海道行政財産使用料条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第25号
北海道立道民活動センター条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第26号
北海道職員等の分限に関する条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第28号

北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第30号
北海道恩給条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第31号
北海道核燃料税条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第82号
北海道公安委員会手数料条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第86号
公の施設の指定管理者の指定に関する件 (原案可決)

議案第89号
包括外部監査契約の締結に関する件 (原案可決)

議案第92号
北海道公立大学法人札幌医科大学の定款の変更に関する件 (原案可決)

議案第94号
北海道公立大学法人札幌医科大学が業務に関して徴収する料金の上限の定めの変更の認可に関する件 (原案可決)

請願の審査

請願第2号
北海道人権施策推進基本方針のさらなる推進に係る同性パートナーを持つ北海道職員の処遇の改善（平等化）を求める件 (継続審査)

議 事

1. 付託議案審査の件
1. 北海道職員に係る障がい者活躍推進計画（案）に関する報告聴取の件 [人事局長報告]
1. 地方税法の改正に伴う北海道税条例の一部改正の専決処分に関する報告聴取の件 [財政局長報告]
1. 閉会中における請願継続審査申し出の件 [決定]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

○4月7日（火） 開議 午後1時5分
散会 午後1時20分

第10委員会室
委員長 花崎 勝（自民）

散会 午後3時7分
第2委員会室
委員長 中山 智康（結志）

開 議 前

1. 人事異動に伴う幹部職員の紹介

議 事

1. 地方税法の改正に伴う北海道税条例の一部改正の専決処分に関する報告聴取の件
[財政局長報告]
1. 防災に関する主な取組に関する報告聴取の件
[危機管理監報告]

○4月28日（火） 開議 午後5時1分
散会 午後5時5分
第10委員会室
委員長 花崎 勝（自民）

付託案件の審査

議案第2号

北海道知事等の給与等に関する条例等の一部を
改正する条例案 (原案可決)

報告第1号

専決処分報告につき承認を求める件
(承認議決)

議 事

1. 付託議案審査の件

総合政策委員会

○1月7日（火） 開議 午後1時10分
散会 午後1時21分
第2委員会室
委員長 中山 智康（結志）

開 議 前

1. 新年の挨拶 [委員長、総合政策部長]
1. 人事異動に伴う幹部職員の紹介

議 事

1. 令和2年度予算政府案等の概要に関する報告
聴取の件 [計画推進担当局長報告]

○2月4日（火） 開議 午後1時20分

議 事

1. 道外調査実施報告の件 [委員長報告]
1. 北海道150年事業キックオフ特別イベント「キ
タデミー賞」に係る民事調停に関する報告聴
取の件 [総合政策部次長報告]

質 疑

1. 丸岩 浩二委員（自民）
～北海道150年事業キックオフ特別イベント「キ
タデミー賞」に係る民事調停について
1. 中川 浩利委員（民主）
～北海道150年事業キックオフ特別イベント「キ
タデミー賞」に係る民事調停について
1. 安藤 邦夫委員（公明）
～北海道150年事業キックオフ特別イベント「キ
タデミー賞」に係る民事調停について

○2月26日（水） 開議 午前10時9分
散会 午前12時26分
第2委員会室
委員長 中山 智康（結志）

議 事

1. 令和2年第1回定例会提出予定案件の事前説
明聴取の件 [総合政策部長説明]
1. 北海道総合計画推進状況報告書（案）に関す
る報告聴取の件
[計画推進担当局長報告]
1. 「北海道強靱化計画」の改定案及び「北海道強
靱化アクションプラン2020（案）」に関する報
告聴取の件 [計画推進担当局長報告]
1. 「北海道・ロシア地域間交流推進方針（仮称）」
の骨子案に関する報告聴取の件
[国際局国際課ロシア担当課長報告]
1. 「北海道 Society 5.0構想」の策定に関
する報告聴取の件 [情報統計局長報告]
1. 地域振興施策の実施状況（平成26年～令和元
年度）に関する報告聴取の件
[地域創生局長報告]
1. 「キタデミー賞問題を契機とした道の事務適正
化に向けた改善策」（案）の概要に関する報告

質 疑

1. 丸岩 浩二委員 (自民)
～「キタデミー賞問題を契機とした道の事務適正化に向けた改善策」(案)の概要について
1. 笠木 薫委員 (民主)
～「キタデミー賞問題を契機とした道の事務適正化に向けた改善策」(案)の概要について
1. 三津 丈夫委員 (民主)
～「キタデミー賞問題を契機とした道の事務適正化に向けた改善策」(案)の概要について

○3月24日(火) 開議 午前10時20分
散会 午前11時1分
第2委員会室
委員長 中山 智康 (結志)

付託案件の審査

議案第85号

業務委託料請求調停事件における調停の件
(原案可決)

議案第93号

地方独立行政法人北海道立総合研究機構の定款の変更に関する件
(原案可決)

議案第95号

地方独立行政法人北海道立総合研究機構が業務に関して徴収する料金の上限の定めの変更の認可に関する件
(原案可決)

議 事

1. 資料要求の件 [委員長報告]
1. 付託議案審査の件
1. 地方独立行政法人北海道立総合研究機構の第三期中期計画に関する報告聴取の件
[研究法人室長報告]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件
[決定]

質 疑

1. 笠木 薫委員 (民主)
～付託議案審査について

○4月7日(火) 開議 午後1時15分
散会 午後1時26分

開 議 前

1. 人事異動に伴う幹部職員の紹介
1. 委員会運営方法の件 [了承]

議 事

1. 北海道・ロシア地域間交流推進方針の策定に関する報告聴取の件
[ロシア担当局長報告]
1. 「北海道Society5.0構想」の提言に関する報告聴取の件 [情報統計局長報告]

環境生活委員会

○1月7日(火) 開議 午後1時18分
散会 午後2時45分
第3委員会室
委員長 荒当 聖吾 (公明)

開 議 前

1. 新年の挨拶 [委員長、環境生活部長]
1. 人事異動に伴う幹部職員の紹介
1. 委員会運営方法の件 [了承]

議 事

1. 令和元年度北海道地域文化選奨贈呈式への出席の件 [決定]
1. 令和2年度予算政府案等の概要に関する報告聴取の件 [環境生活部長報告]
1. 環境生活部環境局所管の各種計画の改定に関する報告聴取の件 [環境局長報告]
1. 北海道動物の愛護及び管理に関する条例の一部を改正する条例(素案)に対する道民意見の概要等に関する報告聴取の件
[生物多様性担当局長報告]
1. 令和元年交通事故発生概況及び令和2年における交通安全運動の推進方針に関する報告聴取の件 [くらし安全局長報告]

質 問

1. 広田 まゆみ委員 (民主)
～北海道環境保全基金について
1. 赤根 広介委員 (結志)

～オリンピック・パラリンピックとスポーツ政策について

散会 午前10時50分
第3委員会室
委員長 荒当 聖吾（公明）

○2月4日（火） 開議 午後1時12分
散会 午後3時15分
第3委員会室
委員長 荒当 聖吾（公明）

議事

1. 道外調査実施報告の件 [委員長報告]
1. 令和元年度北海道地域文化選奨贈呈式出席報告の件 [委員長報告]
1. 「北海道地球温暖化対策推進計画」に基づく平成30年度の施策の実施状況等に関する報告聴取の件 [気候変動対策担当局長報告]
1. 北海道気候変動適応計画（案）に関する報告聴取の件 [気候変動対策担当局長報告]
1. 「北海道水素社会実現戦略ビジョン」（改定版素案）に関する報告聴取の件 [気候変動対策担当局長報告]
1. 指定管理者の候補者選定に関する報告聴取の件 [くらし安全局長報告]
1. 北海道消費生活条例施行規則の一部を改正する規則（素案）に対する道民意見に関する報告聴取の件 [くらし安全局長報告]

質疑

1. 太田 憲之委員（自民）
～「北海道地球温暖化対策推進計画」に基づく平成30年度の施策の実施状況等について
1. 広田 まゆみ委員（民主）
～「北海道地球温暖化対策推進計画」に基づく平成30年度の施策の実施状況等について
1. 赤根 広介委員（結志）
～「北海道地球温暖化対策推進計画」に基づく平成30年度の施策の実施状況等について
1. 真下 紀子委員（共産）
～「北海道地球温暖化対策推進計画」に基づく平成30年度の施策の実施状況等について

質問

1. 真下 紀子委員（共産）
～水道施設の耐震化、老朽化対策について

○2月26日（水） 開議 午前10時12分

議事

1. 令和2年第1回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [環境生活部長報告]
1. 環境生活部所管の各種計画の改定に関する報告聴取の件 [環境生活部次長事務代理報告]
1. 北海道と三重県との交流連携に関する報告聴取の件 [文化局長報告]

質疑

1. 広田 まゆみ委員（民主）
～環境生活部所管の各種計画の改定について

○3月24日（火） 開議 午前10時21分
散会 午前11時55分
第3委員会室
委員長 荒当 聖吾（公明）

付託案件の審査

- 議案第33号
北海道環境生活部手数料条例の一部を改正する条例案（原案可決）
- 議案第34号
北海道環境生活部の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例案（原案可決）
- 議案第35号
北海道浄化槽保守点検業者の登録に関する条例の一部を改正する条例案（原案可決）
- 議案第36号
北海道自然環境等保全条例の一部を改正する条例案（原案可決）
- 議案第37号
北海道動物の愛護及び管理に関する条例の一部を改正する条例案（原案可決）
- 議案第38号
特定非営利活動促進法施行条例の一部を改正する条例案（原案可決）
- 議案第39号
北海道控除対象特定非営利活動法人等を定める条例の一部を改正する条例案（原案可決）
- 議案第40号

北海道立総合博物館条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第41号

北海道立体育センター条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第42号

北海道アイヌ子弟大学等修学資金等貸付条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第87号

公の施設の指定管理者の指定に関する件 (原案可決)

議案第88号

公の施設の指定管理者の指定に関する件 (原案可決)

請願の審査

請願第3号

北海道人権施策推進基本方針のさらなる推進に係るパートナーシップ宣誓制度の創設を求める件 (継続審査)

議事

- 付託議案審査の件
- 北海道水素社会実現戦略ビジョン (改定版案) に関する報告聴取の件 [気候変動対策担当局長報告]
- 閉会中における請願継続審査申し出の件 [決定]
- 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

質疑

- 赤根 広介委員 (結志) ~北海道水素社会実現戦略ビジョン (改定版案) について
- 広田 まゆみ委員 (民主) ~北海道水素社会実現戦略ビジョン (改定版案) について (意見)

質問

- 植村 真美委員 (自民) ~未就学児の交通安全対策について
- 広田 まゆみ委員 (民主) ~野幌森林公園エリアの再生について ~ウポポイ開設について

- 真下 紀子委員 (共産) ~高齢者等を対象としたごみ出し支援について

○4月7日(火) 開議 午後1時15分
散会 午後2時30分
第3委員会室
委員長 荒当 聖吾 (公明)

開議前

- 人事異動に伴う幹部職員の紹介

議事

- 「令和2年春の全国交通安全運動」の実施に関する報告聴取の件 [くらし安全局長報告]
- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催日程等に関する報告聴取の件 [東京オリンピック連携局長報告]
- ウポポイ (民族共生象徴空間) のオープン等に関する報告聴取の件 [象徴空間担当局長報告]

質疑

- 赤根 広介委員 (結志) ~「令和2年春の全国交通安全運動」の実施について
- 北口 雄幸委員 (民主) ~ウポポイ (民族共生象徴空間) のオープン等について
- 赤根 広介委員 (結志) ~ウポポイ (民族共生象徴空間) のオープン等について
- 真下 紀子委員 (共産) ~ウポポイ (民族共生象徴空間) のオープン等について

保健福祉委員会

○1月7日(火) 開議 午後1時12分
散会 午後1時21分
第7委員会室
委員長 沖田 清志 (民主)

開議前

- 新年の挨拶 [委員長、保健福祉部長、道立病院部長]

議 事

1. 令和2年度予算政府案の概要に関する報告聴取の件 [保健福祉部次長報告]
1. 食品衛生法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例（素案）に関する報告聴取の件 [健康安全局長報告]

○2月4日（火） 開議 午後1時11分
散会 午後2時31分
第7委員会室
委員長 沖田 清志（民主）

議 事

1. 道外調査実施報告の件 [委員長報告]
1. 新型コロナウイルスに関連した患者の発生に関する報告聴取の件 [健康安全局長報告]
1. 食中毒予防対策と食中毒発生状況に関する報告聴取の件 [健康安全局長報告]

質 疑

1. 村田 光成委員（自民）
～新型コロナウイルスに関連した患者の発生について
1. 武田 浩光委員（民主）
～新型コロナウイルスに関連した患者の発生について
1. 滝口 信喜委員（結志）
～新型コロナウイルスに関連した患者の発生について
1. 志賀谷 隆委員（公明）
～新型コロナウイルスに関連した患者の発生について
1. 宮川 潤委員（共産）
～新型コロナウイルスに関連した患者の発生について

○2月26日（水） 開議 午前10時25分
散会 午前12時46分
第7委員会室
委員長 沖田 清志（民主）

議 事

1. 令和2年第1回定例会提出予定案件の事前説

明聴取の件

[保健福祉部長・道立病院部長説明]

1. 北海道医師確保計画（案）に関する報告聴取の件 [保健福祉部次長報告]
1. 北海道外来医療計画（案）に関する報告聴取の件 [地域医療推進局長報告]
1. 「第56回献血運動推進全国大会」の開催に関する報告聴取の件 [地域医療推進局長報告]
1. 北海道立高等看護学院の方向性（案）に関する報告聴取の件 [保健福祉部次長報告]
1. 新型コロナウイルス感染症に関する報告聴取の件 [健康安全局長報告]
1. 北海道受動喫煙防止条例に規定する基本計画の基本的な考え方に関する報告聴取の件 [健康安全局長報告]
1. 「北海道HACCP」の再構築に関する報告聴取の件 [健康安全局長報告]
1. 北海道ギャンブル等依存症対策推進計画（案）に関する報告聴取の件 [障がい者支援担当局長報告]

質 疑

1. 村田 光成委員（自民）
～新型コロナウイルス感染症について
1. 武田 浩光委員（民主）
～新型コロナウイルス感染症について
1. 滝口 信喜委員（結志）
～新型コロナウイルス感染症について
1. 志賀谷 隆委員（公明）
～新型コロナウイルス感染症について
1. 宮川 潤委員（共産）
～新型コロナウイルス感染症について

質 問

1. 宮川 潤委員（共産）
～後期高齢者医療制度について

○3月24日（火） 開議 午前10時23分
散会 午前10時33分
第7委員会室
委員長 沖田 清志（民主）

付託案件の審査

議案第21号

- 北海道受動喫煙防止条例案 (原案可決)
 議案第43号
 毒物及び劇物取締法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例案 (原案可決)
 議案第44号
 北海道保健福祉部手数料条例の一部を改正する条例案 (原案可決)
 議案第45号
 覚せい剤取締法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例案 (原案可決)
 議案第46号
 北海道立看護学院等看護職員課程修学資金貸付条例の一部を改正する条例案 (原案可決)
 議案第47号
 北海道立看護学院条例の一部を改正する条例案 (原案可決)
 議案第48号
 北海道後期高齢者医療財政安定化基金条例の一部を改正する条例案 (原案可決)
 議案第49号
 食品衛生法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例案 (原案可決)
 議案第50号
 食品の製造販売行商等衛生条例の一部を改正する条例案 (原案可決)
 議案第51号
 かきの処理等に関する衛生条例の一部を改正する条例案 (原案可決)
 議案第77号
 北海道病院事業条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

請願の審査

- 請願第8号
 精神障がい者の運賃割引を求める件
 (継続審査)

議事

- 付託議案審査の件
- 閉会中における請願継続審査申し出の件
[決定]
- 閉会中における所管事務継続調査申し出の件
[決定]

○4月7日(火) 開議 午後1時19分
 散会 午後2時30分

第7委員会室
 委員長 沖田 清志(民主)

開議前

- 人事異動に伴う幹部職員紹介

議事

- 北海道新型コロナウイルス感染症対策本部の設置等に関する報告聴取の件
[健康安全局長報告]
- 令和2年度「北海道食品衛生監視指導計画」の概要に関する報告聴取の件
[健康安全局長報告]

質疑

- 村田 光成委員(自民)
 ～北海道新型コロナウイルス感染症対策本部の設置等について
- 武田 浩光委員(民主)
 ～北海道新型コロナウイルス感染症対策本部の設置等について
- 宮川 潤委員(共産)
 ～北海道新型コロナウイルス感染症対策本部の設置等について

経済委員会

○1月7日(火) 開議 午後1時13分
 散会 午後1時20分
 第8委員会室
 委員長 松山 丈史(民主)

開議前

- 新年の挨拶 [委員長、経済部長]

議事

- 令和2年度予算政府案の概要に関する報告聴取の件 [経済企画局長報告]

○2月4日(火) 開議 午後1時10分
 散会 午後1時23分
 第8委員会室
 委員長 松山 丈史(民主)

議 事

1. 道外調査実施報告の件 [委員長報告]
1. 北海道中小企業者等に対する融資に係る損失補償金の返納の免除に関する条例案（仮称）の考え方に関する報告聴取の件 [地域経済局長報告]
1. 北海道雇用・人材対策基本計画（素案）に関する報告聴取の件 [労働政策局長報告]

質 問

1. 吉田 正人委員（自民）
～新型コロナウイルスへの対応について（意見）

○2月26日（水） 開議 午前10時13分
散会 午前11時22分
第8委員会室
委員長 松山 丈史（民主）

議 事

1. 令和2年第1回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [経済部長、企業局長説明]
1. 新型コロナウイルスに関連した道内経済への影響に関する報告聴取の件 [経済企画局長報告]
1. 「北海道の卸売市場の活性化に向けて」（案）に関する報告聴取の件 [地域経済局長報告]
1. 季節労働者対策に関する取組方針（第6次）（素案）に関する報告聴取の件 [労働政策局長報告]
1. 「北海道企業局経営戦略（案）」に関する報告聴取の件 [企業局長報告]
1. 道営工業用水道事業における給水契約に係る規定の見直しに関する報告聴取の件 [企業局長報告]

質 疑

1. 渡邊 靖司委員（自民）
～新型コロナウイルスに関連した道内経済への影響について
～「北海道企業局経営戦略（案）」について
1. 菊地 葉子委員（共産）

～新型コロナウイルスに関連した道内経済への影響について

○3月24日（火） 開議 午前10時20分
散会 午前10時59分
第8委員会室
委員長 松山 丈史（民主）

付託案件の審査

- 議案第22号
北海道中小企業者等に対する融資に係る損失補償金の返納の免除に関する条例案（原案可決）
- 議案第54号
北海道計量検定所条例の一部を改正する条例案（原案可決）
- 議案第55号
北海道立地域食品加工技術センター条例の一部を改正する条例案（原案可決）
- 議案第56号
北海道経済部手数料条例の一部を改正する条例案（原案可決）
- 議案第57号
北海道立工業技術センター条例の一部を改正する条例案（原案可決）
- 議案第58号
北海道立高等技術専門学院条例の一部を改正する条例案（原案可決）
- 議案第59号
北海道立職業能力開発支援センター条例の一部を改正する条例案（原案可決）
- 議案第91号
北海道工業用水道事業会計資本金の額の減少に関する件（原案可決）

議 事

1. 付託議案審査の件
1. 新型コロナウイルスに関連した道内経済への影響に関する報告聴取の件 [経済企画局長報告]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

質 疑

1. 小泉 真志委員（民主）
～新型コロナウイルスに関連した道内経済への

影響について

1. 菊地 葉子委員（共産）
～新型コロナウイルスに関連した道内経済への影響について（意見）

○4月7日（火） 開議 午後1時16分
散会 午後2時18分
第8委員会室
委員長 松山 丈史（民主）

開 議 前

1. 人事異動に伴う幹部職員の紹介
1. 委員会運営方法の件 [了承]

議 事

1. 北海道食の輸出拡大戦略（第Ⅱ期）の推進状況に関する報告聴取の件
[食関連産業室長報告]
1. 「北海道雇用・人材対策基本計画」及び「令和2年度推進計画」に関する報告聴取の件
[労働政策局長報告]

質 問

1. 渡邊 靖司委員（自民）
～中小企業の資金繰り支援について
1. 小泉 真志委員（民主）
～新型コロナウイルス感染症に伴う道内経済への影響と対策について
1. 大河 昭彦委員（結志）
～新型コロナウイルス感染症に係る中小企業向け融資制度について

農 政 委 員 会

○1月7日（火） 開議 午後1時13分
散会 午後1時55分
第6委員会室
委員長 中野 秀敏（自民）

開 議 前

1. 新年の挨拶 [委員長、農政部長]

議 事

1. 中央要請実施報告の件 [委員長報告]

1. 令和元年度国費補正予算及び令和2年度国費予算概算決定に関する報告聴取の件
[農政部長報告]

1. 令和2年度畜産物価格等に関する報告聴取の件 [生産振興局長報告]

1. 令和2年産米の「生産の目安」の設定に関する報告聴取の件 [生産振興局長報告]

質 疑

1. 池端 英昭委員（民主）
～令和2年産米の「生産の目安」の設定について

○2月4日（火） 開議 午後1時8分
散会 午後1時57分
第6委員会室
委員長 中野 秀敏（自民）

議 事

1. 道外調査実施報告の件 [委員長報告]
1. 令和2年普及奨励等となった農業技術の概要に関する報告聴取の件
[首席普及指導員報告]
1. 北海道スマート農業推進方針（素案）に関する報告聴取の件
[技術支援担当局長報告]

質 疑

1. 中野渡 志穂委員（公明）
～令和2年普及奨励等となった農業技術の概要について
1. 滝口 直人委員（自民）
～北海道スマート農業推進方針（素案）について
1. 松本 将門委員（民主）
～北海道スマート農業推進方針（素案）について

質 問

1. 滝口 直人委員（自民）
～雪不足により懸念される農業への影響等について

○2月26日（木） 開議 午前10時7分
散会 午前10時23分

第6委員会室
委員長 中野 秀敏（自民）

議 事

1. 令和2年第1回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [農政部長報告]

○3月24日（火） 開議 午前10時17分
散会 午前10時41分
第6委員会室
委員長 中野 秀敏（自民）

付託案件の審査

議案第60号

北海道農政部手数料条例の一部を改正する条例案
(原案可決)

議案第61号

北海道遺伝子組換え作物の栽培等による交雑等の防止に関する条例の一部を改正する条例案
(原案可決)

議案第62号

北海道家畜保健衛生所条例の一部を改正する条例案
(原案可決)

議案第63号

北海道立農業大学校条例の一部を改正する条例案
(原案可決)

議案第83号

国営土地改良事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件
(原案可決)

請願の審査

請願第1号

「日米貿易交渉での食料輸入拡大の中止を求める意見書」の提出を求める件 (継続審査)

議 事

1. 付託議案審査の件
1. 北海道スマート農業推進方針（案）に関する報告聴取の件 [技術支援担当局長報告]
1. 閉会中における請願継続審査申し出の件 [決定]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

質 問

1. 中野渡 志穂委員（公明）
～コムギなまぐさ黒穂病について

○4月7日（火） 開議 午後1時13分
散会 午後1時53分
第6委員会室
委員長 中野 秀敏（自民）

開 議 前

1. 人事異動に伴う幹部職員の紹介
1. 委員会運営方法の件 [了承]

議 事

1. 令和2年度ホッカイドウ競馬の開催概要に関する報告聴取の件 [競馬事業室長報告]
1. 農畜産物等の輸出の現状に関する報告聴取の件 [食の安全推進局長報告]
1. 新たな食料・農業・農村基本計画に関する報告聴取の件 [農政部次長報告]

質 疑

1. 滝口 直人委員（自民）
～新たな食料・農業・農村基本計画について
1. 松本 将門委員（民主）
～新たな食料・農業・農村基本計画について

質 問

1. 中野渡 志穂委員（公明）
～新型コロナウイルス感染症による農業への影響について

水産林務委員会

○1月7日（火） 開議 午後1時16分
散会 午後1時22分
第5委員会室
委員長 三好 雅（自民）

開 議 前

1. 新年の挨拶 [委員長、水産林務部長]

議 事

1. 「第43回全国育樹祭」出席報告の件 [委員長報告]
1. 令和元年度国費補正予算案及び令和2年度国

費予算案の概要に関する報告聴取の件
〔水産林務部長報告〕

○2月4日(火) 開議 午後1時12分
散会 午後1時28分
第5委員会室
委員長 三好 雅(自民)

議事

1. 「秋サケ資源対策協議会」の結果に関する報告聴取の件 〔水産局長報告〕
1. 第42回全国豊かな海づくり大会の北海道開催決定に関する報告聴取の件 〔水産林務部長報告〕

質疑

1. 桐木 茂雄委員(自民)
～「秋サケ資源対策協議会」の結果について

○2月26日(水) 開議 午前10時10分
散会 午前10時33分
第5委員会室
委員長 三好 雅(自民)

議事

1. 令和2年第1回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 〔水産林務部長、水産局長、林務局長説明〕
1. 北海道立北の森づくり専門学院の開校式等に関する報告聴取の件 〔森林計画担当局長報告〕
1. 北海道コンテナ苗利用拡大推進方針(案)に関する報告聴取の件 〔林務局長報告〕

○3月24日(火) 開議 午前10時20分
散会 午前10時55分
第5委員会室
委員長 三好 雅(自民)

付託案件の審査

議案第64号
漁業法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例案 (原案可決)
議案第65号

北海道水産林務部手数料条例の一部を改正する条例案 (原案可決)
議案第66号

北海道立漁業研修所条例の一部を改正する条例案 (原案可決)
議案第67号

北海道漁港管理条例の一部を改正する条例案 (原案可決)
議案第68号

北海道漁港土砂採取料等徴収条例の一部を改正する条例案 (原案可決)
議案第69号

北海道立道民の森条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議事

1. 付託議案審査の件
1. 北海道立北の森づくり専門学院開校式出席の件 〔決定〕
1. 道産水産物の安全・安心の確保に関する報告聴取の件 〔水産局長報告〕
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 〔決定〕

質問

1. 佐々木 大介委員(自民)
～栽培漁業の推進について
～アイヌによるサケの採捕について
1. 富原 亮 委員(自民)
～本道の水産業について

○4月7日(火) 開議 午後1時15分
散会 午後1時50分
第5委員会室
委員長 三好 雅(自民)

開議前

1. 人事異動に伴う幹部職員の紹介

議事

1. 北海道立北の森づくり専門学院開校式出席の件 〔決定〕
1. 「北海道・木育フェスタ2020植樹祭(第71回北海道植樹祭)」参加の件 〔決定〕
1. 北海道食の輸出拡大戦略(第Ⅱ期)の推進状

況に関する報告聴取の件

[水産局長報告]

1. 北海道高性能林業機械化基本方針の改定(案)に関する報告聴取の件

[林務局長報告]

1. 北海道立北の森づくり専門学院の設立に関する報告聴取の件 [林務局長報告]

質 疑

1. 喜多 龍一委員(自民)
～北海道食の輸出拡大戦略(第Ⅱ期)の推進状況について

質 問

1. 桐木 茂雄委員(自民)
～漁業生産の減少対策について

建設委員会

- 1月7日(火) 開議 午後1時10分
散会 午後1時28分
第4委員会室
委員長 村木 中(自民)

開 議 前

1. 新年の挨拶 [委員長、建設部長]

議 事

1. 令和元年度国費補正予算案及び令和2年度国費予算案に関する報告聴取の件
[建設部長報告]

- 2月4日(火) 開議 午後1時12分
散会 午後2時00分
第4委員会室
委員長 村木 中(自民)

議 事

1. 道外調査実施報告の件 [委員長報告]
1. 随時調査実施の件 [決定]
1. 社会資本整備総合交付金の返還等に関する報告聴取の件 [まちづくり局長報告]
1. 「今後の道営住宅の整備、活用のあり方について」の答申に関する報告聴取の件
[住宅局長報告]

質 疑

1. 千葉 英也委員(自民)
～社会資本整備総合交付金の返還等について
1. 梶谷 大志委員(民主)
～社会資本整備総合交付金の返還等について

- 2月26日(水) 開議 午前10時10分
散会 午前10時38分
第4委員会室
委員長 村木 中(自民)

議 事

1. 随時調査実施報告の件 [委員長報告]
1. 令和2年第1回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [建設部長説明]
1. 「異常気象時等の道路管理に関する取り組み」に関する報告聴取の件
[施設保全防災担当局長報告]
1. 民間住宅施策の新たな展開に関する報告聴取の件 [住宅局長報告]

- 3月24日(火) 開議 午前10時19分
散会 午前10時28分
第4委員会室
委員長 村木 中(自民)

付託案件の審査

- 議案第23号
北海道下水道事業条例案 (原案可決)
- 議案第70号
北海道建設部手数料条例の一部を改正する条例案 (原案可決)
- 議案第71号
北海道道路占用料徴収条例の一部を改正する条例案 (原案可決)
- 議案第72号
河川法施行条例の一部を改正する条例案 (原案可決)
- 議案第73号
砂防法施行条例の一部を改正する条例案 (原案可決)
- 議案第74号
北海道海岸占用料等徴収条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第75号
北海道立都市公園条例の一部を改正する条例案
(原案可決)

議案第76号
北海道営住宅条例の一部を改正する条例案
(原案可決)

議案第84号
訴えの提起に関する件 (原案可決)

議案第90号
北海道道の路線の認定に関する件 (原案可決)

議 事

1. 付託議案審査の件
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件
[決定]

○4月7日(火) 開議 午後1時8分
散会 午後1時17分
第4委員会室
委員長 村木 中 (自民)

開 議 前

1. 人事異動に伴う幹部職員の紹介

議 事

1. 道営住宅整備活用方針の見直し素案に関する
報告聴取の件 [住宅局長報告]

文 教 委 員 会

○1月7日(火) 開議 午後1時12分
散会 午後1時33分
第9委員会室
委員長 笠井 龍司 (自民)

開 議 前

1. 新年の挨拶 [委員長、教育部長]
1. 人事異動に伴う幹部職員の紹介

議 事

1. 令和2年度文部科学関係予算(案)の概要に
関する報告聴取の件
[教育部長、学事課長報告]
1. 令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等
調査の結果のポイントに関する報告聴取の件

[指導担当局長報告]

1. 道立高等学校一般入学者選抜における学力検
査の追検査に関する報告聴取の件
[学校教育局長報告]

○2月4日(火) 開議 午後1時9分
散会 午後1時29分
第9委員会室
委員長 笠井 龍司 (自民)

議 事

1. 道外調査実施報告の件 [委員長報告]
1. 北海道教育委員会とハワイ州教育局との教育
分野の協力に関する覚書の締結に関する報告
聴取の件 [総務政策局長報告]
1. 新型コロナウイルス感染症に係る対応に関す
る報告聴取の件 [指導担当局長報告]

質 問

1. 木葉 淳委員 (民主)
～教員の欠員と退職について

○2月26日(水) 開議 午前10時10分
散会 午前11時25分
第9委員会室
委員長 笠井 龍司 (自民)

議 事

1. 令和2年第1回定例会提出予定案件の事前説
明聴取の件
[教育部長、学事課長、政策局総合教育推進室参事説明]
1. 「北海道総合教育大綱」原案に関する報告聴取
の件 [政策局総合教育推進室長報告]
1. 北海道における文化財保存活用大綱(素案)
に関する報告聴取の件
[生涯学習推進局長報告]
1. 学校における働き方改革北海道アクション・
プランの見直し案に関する報告聴取の件
[教職員局長報告]
1. 令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等
調査の報告書に関する報告聴取の件
[指導担当局長報告]
1. 新型コロナウイルス感染症への対応に関する
報告聴取の件
[教育部長、学事課長報告]

質 疑

1. 檜垣 尚子委員（自民）
～新型コロナウイルス感染症への対応について
1. 木葉 淳委員（民主）
～新型コロナウイルス感染症への対応について
1. 寺島 信寿委員（公明）
～新型コロナウイルス感染症への対応について

質 問

1. 木葉 淳委員（民主）
～働き方改革について

○3月24日（火） 開議 午前10時15分
散会 午前10時50分
第9委員会室
委員長 笠井 龍司（自民）

付託案件の審査

議案第78号

公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置条例の一部を改正する条例案
(原案可決)

議案第79号

北海道立青少年体験活動支援施設条例の一部を改正する条例案
(原案可決)

議案第80号

北海道立博物館条例の一部を改正する条例案
(原案可決)

議案第81号

北海道立学校条例の一部を改正する条例案
(原案可決)

議案第96号

財産の処分に関する件 (原案可決)

請願の審査

請願第4号

ゆたかな私学教育の実現を求める私学助成に関する件
(継続審査)

請願第5号

「私学の授業料無償化と経費補助の公私間格差是正」を求める件
(継続審査)

請願第6号

私立学校の保護者負担を軽減するとともに教育環境の改善のための私学助成を充実することを

求める件 (継続審査)
請願第7号
北海道の子どもたちにゆきとどいた教育を求める件
(継続審査)

議 事

1. 付託議案審査の件
1. 新型コロナウイルス感染症への対応等に関する報告聴取の件
[教育部長、学事課長報告]
1. 閉会中における請願継続審査申し出の件
[決定]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件
[決定]

質 疑

1. 木葉 淳委員（民主）
～新型コロナウイルス感染症への対応等について

○4月7日（火） 開議 午後1時18分
散会 午後2時10分
第9委員会室
委員長 笠井 龍司（自民）

開 議 前

1. 人事異動に伴う幹部職員の紹介
1. 委員会運営方法の件 [了承]

議 事

1. 新型コロナウイルス感染症への対応等に関する報告聴取の件 [教育部長報告]
1. 北海道の学校における働き方改革手引に関する報告聴取の件 [教職員局長報告]

質 疑

1. 檜垣 尚子委員（自民）
～新型コロナウイルス感染症への対応等について
1. 木葉 淳委員（民主）
～新型コロナウイルス感染症への対応等について
1. 内田 尊之委員（自民）
～北海道の学校における働き方改革手引について

特別委員会

産炭地域振興・エネルギー問題 調査特別委員会

○1月8日(水) 開議 午前10時14分
散会 午前10時19分
第8委員会室
委員長 東 国幹(自民)

開議前

1. 新年の挨拶 [委員長、経済部長]

議事

1. 令和2年度予算政府案等の概要に関する報告
聴取の件 [環境・エネルギー室長報告]

○2月5日(水) 開議 午前10時7分
散会 午前10時11分
第8委員会室
委員長 東 国幹(自民)

議事

1. 「令和2年度以降の幌延深地層研究計画(案)」
に関する報告聴取の件
[環境・エネルギー室長報告]

○2月26日(水) 開議 午後1時36分
散会 午後1時46分
第8委員会室
委員長 東 国幹(自民)

議事

1. 令和2年第1回定例会提出予定案件の事前説
明聴取の件
[経済部長、危機管理監説明]

○3月24日(火) 開議 午後1時8分
散会 午後1時26分
第8委員会室
委員長 東 国幹(自民)

議事

1. 「エネルギー施策懇話会」に関する報告聴取の
件 [環境・エネルギー室長報告]

質問

1. 笠井 龍司委員(自民)
～再生可能エネルギーの主力電源化等について

○4月8日(水) 開議 午前10時10分
散会 午前10時14分
第8委員会室
委員長 東 国幹(自民)

開議前

1. 人事異動に伴う幹部職員の紹介
1. 委員会運営方法の件 [了承]

議事

1. 令和2年度省エネルギー・新エネルギー関連
施策の展開方針に関する報告聴取の件
[環境・エネルギー局長報告]

北方領土対策特別委員会

○1月8日(水) 開議 午前10時17分
散会 午前10時30分
第5委員会室
委員長 松浦 宗信(自民)

開議前

1. 新年の挨拶
[委員長、北方領土対策局長]

議事

1. 「北方領土の日」特別啓発期間に関する説明聴
取の件 [北方領土対策局長説明]
1. 「北方領土早期返還祈念合唱コンサート」及び
「2020北方領土フェスティバル」出席の件
[決定]
1. 令和2年度予算政府案の概要に関する報告聴
取の件 [北方領土対策局長報告]
1. 令和元年度北方領土中学生作文コンテスト実
施結果に関する報告聴取の件
[北方領土対策局長報告]

○2月5日(水) 開議 午前10時8分

散会 午前10時24分
第5委員会室
委員長 松浦 宗信（自民）

議 事

1. 「北方領土早期返還祈念合唱コンサート」出席報告の件 [委員長報告]
1. 北方領土関係情報提供セミナーの実施に関する報告聴取の件 [北方領土対策局長報告]

質 問

1. 小泉 真志委員（民主）
～北方領土問題の啓発について

○2月26日（水） 開議 午後1時40分
散会 午後1時50分
第5委員会室
委員長 松浦 宗信（自民）

議 事

1. 「2020北方領土フェスティバル」出席報告の件 [委員長報告]
1. 令和2年第1回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [北方領土対策本部長説明]
1. 北方領土関係情報提供セミナーの実施に関する報告聴取の件 [北方領土対策局長報告]

○3月24日（火） 開議 午後1時7分
散会 午後1時23分
第5委員会室
委員長 松浦 宗信（自民）

付託案件の審査

議案第32号

北海道立北方四島交流センター条例の一部を改正する条例案
(原案可決)

議 事

1. 付託議案審査の件
1. 「北方領土の日」特別啓発期間の取り組みに関する報告聴取の件 [北方領土対策局長報告]

質 疑

1. 広田 まゆみ委員（民主）
～「北方領土の日」特別啓発期間の取り組みについて

○4月8日（水） 開議 午前10時9分
散会 午前10時13分
第5委員会室
委員長 松浦 宗信（自民）

開 議 前

1. 人事異動に伴う幹部職員の紹介

議 事

1. 2020年北方四島交流代表者間協議状況に関する報告聴取の件 [北方領土対策局長報告]

新幹線・総合交通体系対策特別委員会

○1月8日（水） 開議 午前10時16分
散会 午前10時32分
第1委員会室
委員長 中司 哲雄（自民）

開 議 前

1. 新年の挨拶 [委員長、交通企画監]

議 事

1. 「北海道内7空港民間運営開始 記念式典及びレセプション」出席の件 [決定]
1. 令和2年度予算政府案等の概要に関する報告聴取の件 [交通政策局長報告]

質 問

1. 赤根 広介委員（結志）
～フェリー航路について

○2月5日（水） 開議 午前10時9分
散会 午前10時23分
第1委員会室
委員長 中司 哲雄（自民）

議 事

1. 「北海道内7空港民間運営開始 記念式典及びレセプション」出席報告の件

[委員長報告]

委員長 中司 哲雄（自民）

1. 令和元年度北海道運輸交通審議会に関する報告聴取の件

[交通・物流連携担当局長報告]

1. 航空路線の動きに関する報告聴取の件
[航空局長報告]

質 問

1. 渡邊 靖司委員（自民）
～新型コロナウイルスに関連した肺炎への対応について

○2月26日（水） 開議 午後1時37分
散会 午後2時20分
第1委員会室
委員長 中司 哲雄（自民）

議 事

1. 令和2年第1回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [交通企画監説明]
1. 新型コロナウイルスに関連した感染症拡大防止対策等（交通関連）に関する報告聴取の件 [交通政策局長報告]
1. 新型コロナウイルス感染症に伴う中国本土との国際定期航空路線の状況に関する報告聴取の件 [航空局長報告]
1. 道内航空ネットワークの充実に向けたアクションプランの策定に関する報告聴取の件 [航空局長報告]
1. 新千歳空港における24時間運用に関する報告聴取の件 [新千歳空港周辺対策担当局長報告]

質 疑

1. 赤根 広介委員（結志）
～道内航空ネットワークの充実に向けたアクションプランの策定について

質 問

1. 渡邊 靖司委員（自民）
～丘珠空港の利活用について

○4月8日（水） 開議 午前10時11分
散会 午前10時45分
第1委員会室

開 議 前

1. 人事異動に伴う幹部職員の紹介
1. 委員会運営方法の件 [了承]

議 事

1. 平成30年度道管理空港の空港別収支の試算結果に関する報告聴取の件 [空港戦略担当局長報告]

質 問

1. 松山 丈史委員（民主）
～新型コロナウイルスについて
1. 赤根 広介委員（結志）
～交通政策について
1. 菊地 葉子委員（共産）
～新型コロナウイルスによる鉄道輸送等への影響について

人口減少問題・地方分権 改革等調査特別委員会

○1月8日（水） 開議 午前10時11分
散会 午前10時18分
第2委員会室
委員長 佐藤 伸弥（結志）

開 議 前

1. 新年の挨拶 [委員長、地域振興監]

議 事

1. 令和2年度地方創生関連予算政府案等の概要に関する報告聴取の件 [地域創生局長報告]

○2月5日（水） 開議 午前10時6分
散会 午前10時11分
第2委員会室
委員長 佐藤 伸弥（結志）

議 事

1. 第2期総合戦略（原案）策定に向けた検討状況に関する報告聴取の件 [地域創生局長報告]

○2月26日(水) 開議 午後1時18分
散会 午後1時46分
第2委員会室
委員長 佐藤 伸弥(結志)

議 事

1. 道内調査実施報告の件 [委員長報告]
1. 令和2年第1回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [地域振興監説明]
1. 「北海道人口ビジョン(改訂版)」及び「第2期北海道創生総合戦略」(原案)に関する報告聴取の件 [地域創生局長報告]

質 疑

1. 鈴木 一磨委員(民主)
～「北海道人口ビジョン(改訂版)」及び「第2期北海道創生総合戦略」(原案)について

○4月8日(水) 開議 午前10時9分
散会 午前10時20分
第2委員会室
委員長 佐藤 伸弥(結志)

開 議 前

1. 人事異動に伴う幹部職員を紹介
1. 委員会運営方法の件 [了承]

議 事

1. 「北海道人口ビジョン(改訂版)」及び「第2期北海道創生総合戦略」に関する報告聴取の件 [地域創生局長報告]
1. 令和2年度「地方創生推進交付金」の交付決定に関する報告聴取の件 [地域創生局長報告]

少 子 ・ 高 齢 社 会 対 策 特 別 委 員 会

○1月8日(水) 開議 午前10時10分
散会 午前10時16分
第7委員会室
委員長 笹田 浩(民主)

開 議 前

1. 新年の挨拶
[委員長、少子高齢化対策監]

議 事

1. 道内調査実施の件 [決定]
1. 令和2年度予算政府案の概要に関する報告聴取の件 [保健福祉部次長報告]

○2月5日(水) 開議 午前10時5分
散会 午前10時20分
第7委員会室
委員長 笹田 浩(民主)

議 事

1. 介護サービス事業所における令和元年度(2019年度)介護職員実態調査結果に関する報告聴取の件 [保健福祉部次長報告]

質 疑

1. 藤沢 澄雄委員(自民)
～介護サービス事業所における令和元年度(2019年度)介護職員実態調査結果について

質 問

1. 真下 紀子委員(共産)
～子どもの支援事業に係る市町村連携について

○2月26日(水) 開議 午後1時39分
散会 午後2時2分
第7委員会室
委員長 笹田 浩(民主)

議 事

1. 令和2年第1回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [少子高齢化対策監説明]
1. 第4期「北の大地☆子ども未来づくり北海道計画」(案)に関する報告聴取の件 [子ども未来推進局長報告]
1. 第2期「北海道子どもの貧困対策推進計画」(案)に関する報告聴取の件 [子ども未来推進局長報告]

○3月24日(火) 開議 午後1時8分
散会 午後1時13分
第7委員会室

付託案件の審査

議案第52号

北海道認定こども園の認定の要件並びに設備及び運営の基準を定める条例の一部を改正する条例案
(原案可決)

議案第53号

北海道安心こども基金条例の一部を改正する条例案
(原案可決)

議 事

1. 付託議案審査の件

○4月8日（水） 開議 午前10時6分
散会 午前10時54分
第7委員会室
委員長 笹田 浩（民主）

開 議 前

1. 人事異動に伴う幹部職員紹介
1. 委員会運営方法の件 [了承]

議 事

1. 名寄市に対する介護保険法に基づく市町村指導に関する報告聴取の件
[保健福祉部福祉局長報告]

質 疑

1. 真下 紀子委員（共産）
～名寄市に対する介護保険法に基づく市町村指導について

質 問

1. 志賀谷 隆委員（公明）
～介護施設等における新型コロナウイルス感染症対策について
1. 真下 紀子委員（共産）
～介護施設等の新型コロナウイルスの影響と対策について

食と観光対策特別委員会

○1月8日（水） 開議 午前10時18分
散会 午前10時35分
第10委員会室

開 議 前

1. 新年の挨拶 [委員長、観光振興監]

議 事

1. 道内調査実施報告の件 [委員長報告]
1. 令和2年度予算政府案の概要に関する報告聴取の件
[観光振興監、食の安全推進監報告]
1. 第1回（仮称）観光振興税に係る懇談会の開催に関する報告聴取の件
[誘客担当局長報告]
1. ベトナム社会主義共和国との覚書締結に関する報告聴取の件 [誘客担当局長報告]

○2月5日（水） 開議 午前10時10分
散会 午前11時40分
第10委員会室
委員長 市橋 修治（民主）

議 事

1. 第2回（仮称）観光振興税に係る懇談会の開催に関する報告聴取の件
[誘客担当局長報告]

質 問

1. 宮下 准一委員（自民）
～新型コロナウイルスによる肺炎の影響等について
1. 松本 将門委員（民主）
～新型コロナウイルスによる肺炎の感染拡大に係る本道観光への影響について
1. 遠藤 連委員（自民）
～I R誘致に向けた今後の取り組みについて
1. 宮川 潤委員（共産）
～新型コロナウイルスの影響について

○2月26日（水） 開議 午後1時40分
散会 午後2時25分
第10委員会室
委員長 市橋 修治（民主）

議 事

1. 令和2年第1回定例会提出予定案件の事前説

明聴取の件

[観光振興監、食の安全推進監説明]

1. 北海道クリーン農業推進計画（第7期）（案）に関する報告聴取の件

[食の安全推進局長報告]

1. 北海道遺伝子組換え作物の栽培等による交雑等の防止に関する条例の点検・検証（案）に関する報告聴取の件

[食の安全推進局長報告]

1. 「北海道観光のくにつくり条例」及び「北海道アウトドア活動振興条例」に係る施行状況等の検討（案）に関する報告聴取の件

[観光局長報告]

1. 新型コロナウイルス感染症への対応に関する報告聴取の件 [観光局長報告]

1. (仮称) 観光振興税に関する報告聴取の件 [誘客担当局長報告]

質 疑

1. 宮川 潤委員（共産）
～新型コロナウイルス感染症への対応について
1. 吉田 正人委員（自民）
～新型コロナウイルス感染症への対応について
(意見)

○3月24日（火） 開議 午後1時7分
散会 午後1時22分
第10委員会室
委員長 市橋 修治（民主）

議 事

1. 豚熱（CSF）・アフリカ豚熱（ASF）への対応に関する報告聴取の件
[食の安全推進局長報告]
1. 新型コロナウイルス感染症による観光への影響（試算）に関する報告聴取の件
[観光局長報告]

○4月8日（水） 開議 午前10時10分
散会 午前10時15分
第10委員会室
委員長 市橋 修治（民主）

開 議 前

1. 人事異動に伴う幹部職員を紹介

1. 委員会運営方法の件 [了承]

議 事

1. 新型コロナウイルス感染防止に向けた宿泊施設の取組事例に関する報告聴取の件
[観光局長報告]

北海道地方路線問題調査特別委員会

○1月8日（水） 開議 午後1時23分
散会 午後3時42分
第10委員会室
委員長 喜多 龍一（自民）

開 議 前

1. 新年の挨拶 [委員長、交通企画監]

議 事

1. 持続的な鉄道網の確立に向けた基本的な考え方（案）に関する報告聴取の件
[交通政策局長報告]

質 疑

1. 三好 雅委員（自民）
～持続的な鉄道網の確立に向けた基本的な考え方（案）について
1. 菅原 和忠委員（民主）
～持続的な鉄道網の確立に向けた基本的な考え方（案）について
1. 赤根 広介委員（結志）
～持続的な鉄道網の確立に向けた基本的な考え方（案）について
1. 田中 英樹委員（公明）
～持続的な鉄道網の確立に向けた基本的な考え方（案）について
1. 真下 紀子委員（共産）
～持続的な鉄道網の確立に向けた基本的な考え方（案）について

○2月5日（水） 開議 午後1時20分
散会 午後2時18分
第10委員会室
委員長 喜多 龍一（自民）

議 事

1. 持続的な鉄道網の確立に向けた基本的な考え方（修正案）に関する報告聴取の件
[交通政策局長報告]

質 疑

1. 笠木 薫委員（民主）
～持続的な鉄道網の確立に向けた基本的な考え方（修正案）について
1. 赤根 広介委員（結志）
～持続的な鉄道網の確立に向けた基本的な考え方（修正案）について
1. 真下 紀子委員（共産）
～持続的な鉄道網の確立に向けた基本的な考え方（修正案）について

○2月26日（水） 開議 午後3時10分
散会 午後4時6分
第10委員会室
委員長 喜多 龍一（自民）

議 事

1. 令和2年第1回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [交通企画監説明]
1. 北海道における持続的な鉄道網の確立に向けた国への提言（案）に関する報告聴取の件
[交通政策局長報告]

質 疑

1. 三好 雅委員（自民）
～北海道における持続的な鉄道網の確立に向けた国への提言（案）について
1. 菅原 和忠委員（民主）
～北海道における持続的な鉄道網の確立に向けた国への提言（案）について
1. 田中 英樹委員（公明）
～北海道における持続的な鉄道網の確立に向けた国への提言（案）について
1. 真下 紀子委員（共産）
～北海道における持続的な鉄道網の確立に向けた国への提言（案）について

○4月8日（水） 開議 午後1時10分
散会 午後2時20分
第10委員会室
委員長 喜多 龍一（自民）

開 議 前

1. 人事異動に伴う幹部職員の紹介

議 事

1. 北海道における持続的な鉄道網の確立に向けた国への提言（修正案）に関する報告聴取の件 [交通政策局長報告]

質 疑

1. 三好 雅委員（自民）
～北海道における持続的な鉄道網の確立に向けた国への提言（修正案）について
1. 菅原 和忠委員（民主）
～北海道における持続的な鉄道網の確立に向けた国への提言（修正案）について
1. 赤根 広介委員（結志）
～北海道における持続的な鉄道網の確立に向けた国への提言（修正案）について
1. 真下 紀子委員（共産）
～北海道における持続的な鉄道網の確立に向けた国への提言（修正案）について
1. 吉田 正人委員（自民）
～北海道における持続的な鉄道網の確立に向けた国への提言（修正案）について（意見）

予算特別委員会

○3月12日(木) 開会 午後5時20分
散会 午後5時29分
第1委員会室
委員長 中野 秀敏(自民)

- ① 委員長に中野秀敏委員(自民)、副委員長に菅原和忠委員(民主)を選出。
- ② 付託議案に対する審査方法について、2分科会を設置し質疑を行うこととし、第1分科会は委員13人、所管は総務部、総合政策部、環境生活部、保健福祉部、出納局、企業局、道立病院局、人事委員会、公安委員会及び監査委員、第2分科会は委員13人、所管は経済部、農政部、水産林務部、建設部及び教育委員会とすること、ただし、選挙管理委員会は総合政策部に、労働委員会は経済部に、海区漁業調整委員会、連合海区漁業調整委員会及び内水面漁場管理委員会は水産林務部に、収用委員会は建設部に含めるものとする。
各分科会に付託する議案は、別紙付託議案一覧のとおりとすること、先議に係る議案及び各分科会の審査における質疑保留事項に対する総括質疑は、本委員会において行うことを決定。
- ③ 各分科会の委員は、別紙分科委員名簿のとおりとする。

○第1分科会(委員13人)

瀨上 綾子(民主)	滝口 直人(自民)
星 克明(自民)	阿知良 寛美(公明)
赤根 広介(結志)	中川 浩利(民主)
沖田 清志(民主)	桐木 茂雄(自民)
清水 拓也(自民)	笠井 龍司(自民)
佐藤 伸弥(結志)	藤沢 澄雄(自民)
喜多 龍一(自民)	

○第2分科会(委員13人)

寺島 信寿(公明)	木葉 淳(民主)
佐々木 大介(自民)	大越 農子(自民)
壬生 勝則(民主)	小岩 均(民主)
菅原 和忠(民主)	佐藤 禎洋(自民)
佐々木 俊雄(自民)	真下 紀子(共産)
滝口 信喜(結志)	千葉 英守(自民)
和田 敬友(自民)	

- ④ 各分科会に分科委員長及び分科副委員長各1人を置くことを決定。
- ⑤ 付託議案の審査日程について、配付の日程表のとおりとすることを決定。
- ⑥ 質疑・質問の方法等について、通告の形式により行うこと、発言の順位は本会議の一般質問に準じることを決定。
- ⑦ 議席について、配付の議席表のとおりとすることを決定。
- ⑧ 本委員会の運営に当たり、正・副委員長、各分科会の正・副委員長及び分科会正・副委員長の配分のない会派から1人の理事をもって構成する理事会を設置し、その協議により運営することを決定。なお、諸派についても理事会に出席願うこととし、委員長の許可を得て発言することができるものとする。
- ⑨ 委員の異動等について、申し出は原則、当日の理事会開催前までに提出することとし、委員の交代は議長の辞任許可及び補充指名を受けること、分科委員の所属変更は、委員長の承認を受け行うことを決定。

○3月13日(金) 開会 午前10時8分
散会 午後零時30分
第1委員会室
委員長 中野 秀敏(自民)

- ① **議案第98号ないし第112号(先議案件)**を一括議題とし、質疑に入り、
滝口 直人委員(自民)から、
 - 1 災害復旧関連事業費などについて
 - ・災害復旧費の減額の要因と復旧工事の進捗状況
 - ・胆振東部地震に関連し、住宅や社会福祉施設の整備の進捗状況と今後の対応
 - 2 補助金の交付決定取り消し処分に伴う国庫返納について
 - ・補助金交付決定取り消し処分の対象となった補助事業の概要と返納に至った理由及び事案発生に対する受け止め
 - ・関係職員の処分及び同様の事案の再発防止に向けた対応に係る見解
 - 3 中小企業総合振興資金貸付金について
 - ・利用実績の状況と融資残高減少の要因に対する認識

- ・現在の経済情勢に対する認識
 - ・道内中小企業に対する経営支援に関する今後の取り組み
- 4 地域医療介護総合確保基金について
 - ・多額の不用額が生じている理由に関する分析結果
 - ・計画的な事業の推進に向けた今後の対応
 - 5 保健福祉関係の義務的経費について
 - ・減額補正の要因及び今後の対応に係る所見
 - 6 財政運営について
 - ・今年度の税収の減少要因と現状認識に係る見解
 - ・財政調整基金残高の確保に向けた取り組み
 - ・特定目的基金の運用見直しに伴う事業費や内容の変更及び長期的かつ安定的な事業実施に向けた予算確保に係る今後の取り組み
 - ・これまでの繰上償還による実質公債費比率の改善効果と今後の対応

等について

中川 浩利委員（民主） から、

- 1 財政運営について
 - ・特定目的基金の繰替運用解消が必要と判断した理由
 - ・特定目的基金の繰替運用解消時期決定の考え方及び見直しに伴う財政指標等への影響
 - ・今年度の地方消費税関係収支が大幅に悪化した要因の分析結果
 - ・減債基金の取崩しが実質公債費比率に及ぼす影響及び今後の実質公債費比率の改善に向けた取り組み
 - ・道の財政構造の分析方法と財務体質改善の進め方
- 2 自然公園等施設整備事業費について
 - ・具体的な事業内容や整備時期
 - ・最終補正予算で計上となった理由
 - ・事業実施に伴う対応が必要な自然公園の防災
 - ・減災機能の向上
- 3 特別支援学校施設整備費について
 - ・最終補正予算で減額になった理由
 - ・特別支援学校の空調整備の方針
- 4 国庫返納金について
 - ・返納金の財源の考え方
 - ・不適切な事務処理による国庫への返納に係る対応策の検討結果を明らかにする時期
 - ・不適切事案が発生した要因と再発防止策のとりまとめ時期

等について

赤根 広介委員（結志） から、

- 1 自然公園等施設整備事業費について
 - ・事業の概要
 - ・国立・国定公園における観光地づくりへの取り組み内容
 - ・道内の国立公園の訪日外国人利用者数の状況
 - ・トイレ改修の詳細及び大雪山系における、し尿処理に係る問題への認識
 - ・自然条件が厳しい大雪山の高山帯におけるし尿処理に係るこれまでの取り組み
 - ・環境保全や維持管理に向けた財源確保に係る課題の認識と今後の取り組み
 - ・国立・国定公園の登山道や附帯設備への課題等に対する財源確保を含めた対処と今後の活用に向けた取り組み
- 2 中小企業総合振興資金貸付金について
 - ・過去3年間の予算額、補正額、最終予算額
 - ・当初及び補正予算計上に当たっての積算ルール
 - ・予算額、決算額の減少と制度上の問題点
 - ・減額補正予算計上に当たっての特殊要因の考慮
 - ・原資不足による影響
 - ・企業の経営相談に係る道の相談体制と金融機関との協調体制
 - ・資金面を含めた中小企業の経営支援に向けた取り組み
- 3 行財政問題について
 - ・令和元年度の道債の新規発行額及び借換額
 - ・公債費の予算計上額に係る見込み発行利率
 - ・過去5年間の公債費発行利率の実績
 - ・公債費の執行見込みに係る見解
 - ・公債費の執行見込み精度の向上と収支不足見込みの縮小に係る見解
 - ・発行利率の考え方
 - ・過去5年間の繰上償還の推移
 - ・毎年度の繰上償還額を決めるルール
 - ・行財政運営方針に係る評価
 - ・今後の財政運営のあり方に係る検討・評価の視点と検討スケジュール

等について

真下 紀子委員（共産） から、

- 1 国民健康保険について
 - ・一人当たりの一般会計からの法定外繰入の額及び全国における順位と割合並びに東京との比較
 - ・2020年度の標準保険料率と保険料収納必要額

の見込み及び前年比並びに将来の推計について

- ・赤字解消計画の期間変更に係る見解
 - ・法定外繰り入れの考え方
 - ・国保関係費の扱いの変更に係る見解
- 2 感染症対策費について
- ・新型コロナウイルス感染症対策に係る予算の年度末までの見込み
- 3 中小企業総合振興資金貸付金について
- ・過去5年間の補正額及び決算額の推移
 - ・貸付金減少の理由及び対策
 - ・新型コロナウイルス発症による資金需要の見込み及び今後の対応
- 4 国の補助金等交付決定取り消し処分に伴う国庫返納について
- ・期限内に移転が完了しなかった原因
 - ・公社と道の関係性
 - ・公社へ派遣されている道職員数の推移
 - ・道の監督責任
 - ・再発防止を含めた今後の対応

等について質疑、意見及び要望があり、総務部長兼北方領土対策本部長、環境生活部長、経済部長、保健福祉部次長、建設部次長、財政局長、生物多様性担当局長、国保担当局長、地域医療推進局長、地域経済局長、土木局長、まちづくり局長、総務政策局長兼幼児教育推進局長、財政課長、資金担当課長、税務課長、自然公園担当課長、金融担当課長、用地担当課長及び施設課長から答弁があって、質疑を終結。

- ② 先議に係る議案に対する意見調整の結果、議案第98号、第102号及び第103号は意見の一致をみるに至らなかったことを報告。
- ③ 次に、議案第98号、第102号及び第103号を問題とし、採決に入り、起立採決の結果、起立多数をもって原案のとおり可決することを決定。
- ④ 次に、議案第99号ないし第101号及び第104号ないし第112号を問題とし、採決に入り、原案のとおり可決することを諮り、いずれも異議なく決定。
- ⑤ 先議に係る議案に対する審議経過及び結果に関する委員長報告については委員長に一任することを決定。
- ⑥ 委員長から、先議に係る付託案件に対する審査の終了に当たり、挨拶があって閉会。

第 1 分 科 会

○3月12日(木) 開会 午後5時31分
散会 午後5時39分
第1委員会室
第1分科委員長
清水 拓也(自民)

- ① 分科委員長に清水拓也委員(自民)、分科副委員長に中川浩利委員(民主)を選出。
- ② 付託議案の審査日程、質疑・質問の方法等、理事会の設置、分科委員の異動等、分科委員外委員の発言の取り扱い、議席、次回委員会の開催予定について決定。
- ③ 理事に、桐木茂雄委員(自民)、淵上綾子委員(民主)、赤根広介委員(結志)、阿知良寛美委員(公明)を選出。

○3月17日(火) 開議 午前10時2分
散会 午後6時1分
第1委員会室
第1分科委員長
清水 拓也(自民)

- ① **公安委員会所管に対する質疑**に入り、**淵上 綾子委員(民主)**から、

1 子どもの防犯対策について

- ・SNSに起因する事件の発生状況と被害件数の推移
- ・道警における対策状況
- ・サイバーパトロールの実施状況
- ・巧妙化する手口への対応状況
- ・多様な連絡手段への対策状況
- ・今後の取り組み

等について質疑、意見及び要望があり、生活安全部長及び警察本部少年課長から答弁があって、公安委員会所管に関する質疑を終結。

- ② **企業局に対する質疑**に入り、**赤根 広介委員(結志)**から、

1 工業用水道事業会計について

- ・室蘭工水とJXTGエネルギー株式会社との協議経過
- ・契約水量や使用水量の現状と見込み及び給水契約の見直しとの関連性、さらなる見直しに関する所見

- ・石狩工水に対する補助の根拠と地下水利用の企業数及び水量の推移
- ・工水の地下水に対する比較優位性の有無、石狩工水が責任水量制を採用しない理由と今後の需要見通し及び収支見通し
- ・これまで減資を留保した理由と今年度に行う理由
- ・新年度からスタートする次期経営戦略における今後の取り組み

等について質疑、意見及び要望があり、公営企業管理者、企業局長、企業局次長及び工業用水道課長から答弁があつて、企業局所管に関する質疑を終結。

③ 道立病院局所管に対する質疑に入り、

淵上 綾子委員（民主）から、

1 G I Dクリニックについて

- ・現状に対する認識、当事者に寄り添うことに対する認識
- ・必要な医療提供をすることに対する考え
- ・G I D診療に取り組む考え
- ・G I D学会の認定取得を希望しない医師への働きかけに対する見解
- ・専掌チームを設置することに対する見解
- ・道立病院でG I D診療を開始することに対する見解

等について質疑、意見及び要望があり、道立病院事業管理者、道立病院部長、病院経営課長及び病院経営課人材確保対策室長から答弁があつて、道立病院局所管に関する質疑を終結。

④ 保健福祉部所管に対する質疑に入り、

星 克明委員（自民）から、

1 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・現状の認識
- ・道内の相談機関や専門外来の対応状況と課題
- ・感染者の受診行動の状況と一般の診療所における対応方法及び今後の対応
- ・P C R検査実施機関と処理能力及び検査対応に向けたこれまでの取り組み状況
- ・北見保健所以外の保健所における検査状況と今後の対応
- ・医療提供体制の整備に対する考えと対応方法
- ・患者の病状を踏まえた対応方法
- ・疫学調査の状況と迅速な実施に向けた取り組み
- ・社会福祉施設における感染防止対策の状況

- ・緊急事態宣言の効果に対する考えと専門家会議の見解との整合性の確保に対する考え
- ・緊急事態宣言を発出したことによる経済的損害に対する法的な責任
- ・根拠条例等の整備に対する見解
- ・L I N Eを活用した情報提供に対する見解
- ・緊急事態の期限に対する考えと今後の取り組み

2 受動喫煙防止対策について

- ・受動喫煙防止条例案における施行日の設定の考え方
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けた施行日の検討

3 地域医療構想について

- ・国の公立・公的医療機関等の具体的対応方針における再検証の要請内容と対応方法
- ・民間医療機関等の診療実績のデータ内容と活用方法
- ・重点支援区域の内容と指定に向けた考え方
- ・地域医療連携推進法人とのかかわり方と役割及び地域の取り組みに対する支援
- ・今後の取り組み

4 道立高等看護学院について

- ・入学者の確保や施設の老朽化などの課題解決に向けた取り組み
- ・網走高等看護学院が新規学生の募集中止に至った経緯
- ・今後の取り組み

5 地域包括ケアシステムの推進について

- ・高齢者の社会参加に対する認識
- ・介護予防・生活支援サービス等充実支援事業の実施状況と成果及び事業の拡充に向けた取り組み
- ・認知症疾患医療センターの整備促進に向けた取り組み
- ・今後の取り組み

等について

淵上 綾子委員（民主）から、

1 新型コロナウイルス感染症に係る諸課題と対応について

- ・北海道新型インフルエンザ等対策行動計画の「等」の見解
- ・行動計画の活用状況
- ・行動計画改正や道独自計画の策定への所見
- ・一斉休校時における看護職員の確保対策

- ・学童の混雑解消に対する考え
 - ・卒業式自粛の要請
 - ・対策本部メンバー選考の考え
 - ・1日の検査可能人数と現時点での検査依頼件数、検査件数に対する認識
 - ・検査が進まなかった原因
 - ・検査制限に対する認識
 - ・今後の検査体制整備へ向けた取り組み
 - ・人権尊重への対策
- 2 農福連携について
 - ・これまでの取り組み
 - ・行政や農業団体への周知
 - ・今後の取り組み
 - 3 アクティブシニアの活躍支援について
 - ・アクティブシニアの定義と道内における人数
 - ・活動による効果
 - ・多様な社会活動の具体的な内容
 - ・関係団体との連携
 - ・今後の取り組み

等について

滝口 直人委員（自民） から、

- 1 子どもの貧困対策について
 - ・次期計画案における子どもの居場所づくりに関する取り組み
 - ・民間との連携方法
 - ・運営者間のネットワークの状況と構築方針
 - ・今後の取り組み。
- 2 児童相談体制の強化について
 - ・児相を部の出先機関にすることによる機能強化の内容と中央児相の機能
 - ・令和4年度に向けた人員の体制整備
 - ・室蘭児相苫小牧分室と苫小牧市子ども家庭支援拠点が併設されることによる児童相談機能強化の内容
 - ・専門職員の確保や人材の育成に向けた今後の対応
 - ・今後の体制構築と取り組み
- 3 HACCPについて
 - ・食品衛生法改正後における制度の概要
 - ・これまでの取り組み
 - ・北海道HACCPとこれまでの取り組み概要及び再構築に向けた検討状況
 - ・事業者への支援と新たな北海道HACCPのスタート方法について
- 4 旭川肢体不自由児総合療育センターについて

- ・新センターへの移転スケジュールと新たに整備される機能の概要
- ・発達障がい対応の現状と課題及び新センターでの対応方針
- ・新センターにおける発達障がいを担う職員体制と専門人材の確保に向けた対応
- ・新センターが担うべき役割と新たな名称とすることに対する見解

等について

中川 浩利委員（民主） から、

- 1 医療機関相互の役割分担と連携の促進について
 - ・南空知保健医療福祉圏域連携推進会議において再編統合の方向性を提起した理由
 - ・自治体病院建てかえの検討状況と地域で議論を進める上での留意点
 - ・岩見沢市周辺の病院再編統合議論へのかかわり方
 - ・南檜山圏域における地域医療連携推進法人による再編の状況
 - ・道のスタンス
 - ・診療所化に対する地域住民の理解
 - ・南檜山圏域における地域センター病院の課題認識と解決策に対する見解
 - ・国の財政措置を利用した建てかえに伴う再編統合の提起の有無
 - ・地域医療構想の実現に向けた決意

等について

佐藤 伸弥委員（結志） から、

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
 - ・大阪府などと同様の取り組みをすることに對する見解
 - ・専門家会議の判断を踏まえた緊急事態宣言の取り扱いに対する見解
- 2 看護職員の確保について
 - ・道内の各医療圏単位における看護職員数の状況
 - ・確保対策の実績
 - ・今後の供給体制
 - ・網走高等看護学院における看護師の養成状況と入学者の出身地の状況
 - ・地域からの要望の聴取方法とオホーツク地域における今後の取り組み
- 3 骨髄移植について
 - ・骨髄バンク登録者の減少への取り組み状況に

対する認識と改善策

- ・登録の手続方法
- ・骨髄ドナーへの支援に対する考え
- ・骨髄手術を受けた方の予防接種の再接種に係る公費補助の実施に対する見解

等について

阿知良 寛美委員（公明） から、

- 1 新型コロナウイルス感染症について
 - ・拡大防止対策の成果に対する見解
 - ・電話等により処方箋を発行する体制の取り扱い
 - ・社会福祉施設における感染予防対策の状況
 - ・ウイルス検査の保険適用に係る取り組み状況
 - ・感染者増加時における診療体制の確保方法
 - ・新たな専門家会議の設置に対する所見
 - ・長期的な対応を見据えた担当部局の設置に対する所見
 - ・後期高齢者に係る傷病手当金の対応状況と対象者等の状況
 - ・今後の対応について。
- 2 メディカルウイングについて
 - ・これまでの搬送実績と新生児の割合及び具体的な搬送対象
 - ・バックトランスファーに対する所見
- 3 保育料の無償化について
 - ・保育料軽減支援事業を活用した市町村の状況
 - ・幼児教育・保育の無償化制度の概要と周知方法
 - ・対象の拡大に対する所見
- 4 骨髄ドナーについて
 - ・直近3年の登録者数の推移と年代別登録者数及び待機者数
 - ・登録者をふやすためのこれまでの取り組み
 - ・クラウドファンディングを活用しドナー支援事業を実施することとした考え方

等について質疑、意見及び要望があり、保健福祉部長、少子高齢化対策監、地域医療推進局長、健康安全局長、障がい者支援担当局長、高齢者支援局長、子ども未来推進局長、総務課長、地域医療課長、地域医療課医療参事、医務薬務課長、医務薬務課看護政策担当課長、地域保健課参事、地域保健課がん対策等担当課長、食品衛生課長、施設運営指導課長、障がい者保健福祉課長、高齢者保健福祉課地域包括ケア担当課長、子ども子育て支援課長及び自立支援担当課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、保健福祉部所管に関する質疑を終結。

⑤ **環境生活部所管に対する質疑**に入り、

星 克明委員（自民） から、

- 1 東京2020オリンピックについて
 - ・マラソン・競歩競技の準備状況
 - ・ボランティアの役割と必要な人員の登録状況及び確保に向けた取り組み
 - ・事前合宿やホストタウン登録の拡大に向けた取り組み
 - ・聖火リレーにおける新型コロナウイルス感染防止対策
 - ・聖火リレーの準備方法と情報発信のタイミング
 - ・道が計画しているおもてなしや魅力発信の取り組み概要
 - ・将来を担う人づくりへの具体的な取り組み概要
 - ・大会の成功に向けた取り組みと開催効果を全道に波及するための方針
- 2 アイヌ文化の発信について
 - ・東京オリンピック開会式におけるアイヌ古式舞踊の採用に向けたこれまでの取り組み支援と採用されないことに対する受けとめ
 - ・札幌開催のマラソンと競歩競技においてアイヌ文化の発信を行うことに対する見解
 - ・ウポポイを活用した国内外への発信
 - ・民間による取り組みの拡大に向けた方策
 - ・今後の取り組み
- 3 新たなアライグマ対策について
 - ・これまでの取り組みとアライグマの問題に対する認識
 - ・新たな事業の取り組み方法
 - ・今後の対応
- 4 ほっかいどう歴史・文化・自然「体感」交流空間構想について
 - ・平成29年度北海道百年記念塔維持管理計画策定報告書に係る点検箇所と点検方法
 - ・解体根拠と報告書との矛盾
 - ・通常点検による部材落下の未然防止の可能性と同様事故発生の有無
 - ・道民意見把握の対象者数と記念塔解体に対する反応
 - ・解体に疑問を持つ専門家による現地調査実施の可否

等について

淵上 綾子委員（民主） から、

1 新型コロナウイルス感染症に係る諸課題と対応について

- ・マスクの転売防止のための対策、
- ・ホームページ等による注意喚起の実施に対する見解と今後の対策、
- ・台湾で実施されている販売の管理の検討、
- ・無関係な買い占めへの対応、
- ・デマ情報の注意喚起の実施に対する見解と今後の防止対策、
- ・北海道新型インフルエンザ等対策行動計画における対応と今後の計画見直しの必要性

2 人権施策について

- ・主体的な取り組み状況、
- ・性的少数者の差別をなくすことの重要性に対する認識、
- ・セクシャル・マイノリティのパレードイベントの重要性に対する認識

3 消費生活に関する施策について

- ・北海道消費者協会が主催する消費生活リーダー養成講座の目的
- ・養成講座カリキュラム中の相続と遺言の内容と本講座を北海道消費者協会が実施することに対する受けとめ
- ・道立消費生活センターへの相続に関する相談の有無
- ・他の自治体を含めた相続トラブルの事案、
- ・相続対策に係る今後の取り組み

等について質疑、意見及び要望があり、環境生活部長、東京オリンピック連携推進監、アイヌ政策監、生物多様性担当局長、くらし安全局長、文化局長、スポーツ局長兼競技開催支援担当局長、東京オリンピック連携局長、アイヌ政策推進局長、生物多様性保全課長、道民生活課長、消費者安全課長、文化振興課長、オリンピック・パラリンピック連携室長兼競技開催支援担当課長、東京オリンピック連携課長、アイヌ政策課長及び象徴空間担当課長から答弁があつて、議事進行の都合により散会。

○3月18日(水) 開議 午前10時1分
散会 午後5時45分
第1委員会室
第1分科委員長
清水 拓也(自民)

① 環境生活部所管に対する質疑を継続し、

桐木 茂雄委員(自民)から、

1 海洋プラスチックごみ問題について

- ・海岸漂着物の状況

- ・プラスチックごみの排出抑制に係るこれまでの取り組み
- ・海洋プラスチックごみ発生抑制対策調査事業の概要と進め方
- ・国の取り組みに対する受けとめと対応方法
- ・次期循環型社会推進基本計画と廃棄物処理計画における海洋プラスチックごみに対する考え方と対策
- ・今後の取り組み

2 温室効果ガス排出実質ゼロ宣言について

- ・宣言に至った経緯
- ・実質ゼロの考え方
- ・実質ゼロに向けた関係機関との連携方法
- ・地球温暖化推進計画の見直しに当たっての宣言の反映内容と指標設定の考え方
- ・今後の地球温暖化対策に対する姿勢

3 タンチョウの保護政策について

- ・最近の生息状況と給餌箇所
- ・国の方針と道の方向性に対する考え
- ・現状における問題点と対策状況
- ・釧路市音別町と標茶町の給餌場の越冬个体数を減らす取り組みの進捗状況
- ・国が示した方針の受けとめと今後の取り組み

等について

鈴木 一磨委員(民主)から、

1 廃棄物処理対策について

- ・水銀の世界規模の循環と国内における水銀の回収等の現状
- ・水俣条約の発行に至った経緯
- ・水俣条約の内容
- ・水俣条約実施のための関係法令
- ・余剰水銀に対する法整備等の状況
- ・水銀廃棄物ガイドラインの内容
- ・国による技術的な実証事業の概要
- ・今後における水銀の適切な処理体制の構築に向けた見解

2 アイヌ文化の振興について

- ・ウポポイの意義
- ・差別や偏見のない共生社会の実現に対する所見
- ・北海道アイヌ協会等に寄せられる相談内容と要望への対応状況
- ・道内各地における文化振興・啓発事業に対する認識
- ・ウポポイ認知度調査の結果と所見

- ・ウポポイへの訪客リピーターの確保に対する所見
- ・民族共生象徴空間交流促進・官民応援ネットワークアクションプランに基づく直近の取り組み状況とほっかいどう応援団会議の役割
- ・ウポポイにおける今後の取り組み

等について

安住 太伸委員（自民） から、

1 動物愛護について

- ・動物愛護管理法において遺棄・虐待の罰則が強化された背景と概要
- ・動物虐待や疑いがあった場合の対応
- ・警察との連携や法改正の趣旨を踏まえた協力体制の構築に対する考え
- ・先進的な取り組みを踏まえた対策に向けた所見
- ・動物愛護団体との連携に係る対応状況
- ・道による動物愛護管理センターの設置に対する見解
- ・今後の対応

等について

赤根 広介委員（結志） から、

1 オリンピック・パラリンピックと共生社会の実現について

- ・完全な五輪開催に向けた所見
- ・復興五輪の実現に向けた取り組み
- ・東京2020オリンピック連携推進事業費の内容
- ・次世代を担う子どもたちへのマラソン観戦機会提供の具体的な内容
- ・被災地の方々に観戦する機会を提供する姿勢を見せることに対する所見
- ・魅力発信拠点の具体的な取り組み内容と道内市町村の役割
- ・聖火リレー開催の状況
- ・機運醸成の具体的な取り組み
- ・マラソン・競歩競技のテスト大会の検討状況
- ・合宿誘致説明会の開催状況と市町村からの意見及び意向調査の状況
- ・ホストタウンアスリート補助金の予定事業と道内のホストタウンの取り組み状況
- ・共生社会ホストタウンの取り組み状況
- ・北海道パラスポーツ連携促進事業の内容
- ・新型コロナウイルス感染拡大によるウポポイの開催時期変更と影響
- ・教育旅行などにおける来場者数見込みと感染

症拡大の影響

- ・ウポポイの認知度調査を継続することに対する見解
- ・ウポポイ魅力発信事業の内容
- ・バスによる交通アクセスの状況
- ・夜間特別プログラムの内容と夜間のおもてなしの充実に対する見解
- ・ほっかいどう歴史・文化・自然「体感」交流空間構想の実現に向けた取り組み
- ・北海道百年記念塔エリア再生に向けたこれまでの取り組み状況と新年度の取り組み
- ・エリア全体の具体的な活用イメージと取りまとめのスケジュール
- ・今後の取り組み

等について

阿知良 寛美委員（公明） から、

1 水道事業について

- ・水道の基盤を強化するための基本的な方針の内容
- ・これまでの水道広域化推進に向けた取り組み
- ・水道事業者との意見交換の内容
- ・市町村間の広域連携に向けた今後の取り組み
- ・道内水道事業者における水道施設台帳等の整備状況
- ・相談窓口への相談状況
- ・道内水道事業の基盤強化に向けた今後の取り組み

2 縄文世界遺産登録に向けた取り組みについて

- ・ユネスコの審査内容とスケジュール
- ・イコモスによる現地調査の内容と対応
- ・今後の取り組み

3 民族共生象徴空間について

- ・体験交流プログラムの内容
- ・教育旅行の予約状況と新型コロナウイルスの影響
- ・キャンセルの内訳
- ・今後の教育旅行誘致の進め方

4 高齢運転者の交通事故防止対策について

- ・昨年における道内の高齢運転者による交通事故の状況
- ・国の交通安全緊急対策の受けとめとこれまでの取り組み
- ・安全運転サポート車に対する認識と取り組み
- ・安全装置の普及促進に向けた東京都の補助制度を参考にすることに対する見解

- ・今後の取り組み
- ・国の補助制度を活用した取り組み

等について質疑、意見及び要望があり、環境生活部長、アイヌ政策監、環境局長、気候変動対策担当局長、生物多様性担当局長、くらし安全局長、文化局長、東京オリンピック連携局長、アイヌ政策推進局長、水道担当課長、循環型社会推進課長、気候変動対策課長、生物多様性保全課長、動物管理担当課長、交通安全担当課長、文化振興課長、縄文世界遺産推進室長、オリンピック・パラリンピック連携室長兼競技開催支援担当課長、東京オリンピック連携課長、アイヌ政策課長及び象徴空間担当課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、環境生活部所管に関する質疑を終結。

② 総合政策部所管に対する質疑に入り、

笠井 龍司委員（自民） から、

1 キタデミー賞問題について

- ・調停申し立て者の主張
- ・道が調停の当事者となる判断をした理由
- ・調停の経過
- ・イベント経費と予算額の乖離理由
- ・調停案を受け入れることとした根拠
- ・事後的な経費の追加負担に対する見解
- ・折衝経過資料非開示の理由
- ・説明責任を果たす方法
- ・法的な対応に向けた検討状況
- ・実行委員会と道の協議内容と結論
- ・実行委員会規約原案の作成経過
- ・実行委員会役員の責任と組織運営の課題に対する認識
- ・実行委員会委員長の対応
- ・実行委員会における支出先の選定手続の経過と道の財務規定との整合性
- ・実行委員会事務局から道への予算超過の対応に係る報告内容
- ・議会議論を踏まえた問題点の精査等に向けた作業スケジュール
- ・報告書の内容整理に向けた見解
- ・今後の対応

等について

中川 浩利委員（民主） から、

1 キタデミー賞問題について

- ・事実関係の経過を報告していない理由
- ・報告から抜け落ちた理由
- ・改善策案における経過の整理に対する認識と根拠

- ・改善策案に対する見解
- ・第三者による問題の検証を行わない理由と検証の実施に対する考え方
- ・庁外有識者を交えた検証を行わない理由
- ・内部検討チームに対する認識
- ・映画会社から示された北海道命名150年を記念する取り組みに対する協力内容
- ・イベント企画案と映画会社から示された企画提案内容の関係
- ・道と映画会社の出演者等に係る経費負担に対する考え方
- ・各出演者に対する支払い等の詳細情報と契約内容の把握の有無
- ・契約内容等のチェックの有無
- ・道のイベント開催に係る随意契約による委託業務契約の締結状況
- ・制作運営会社と随意契約となった理由及び代替性がないとした判断の根拠
- ・日程変更を行わなかった理由
- ・前知事への配慮
- ・随意契約のあり方に関する問題点と反省点の有無及び改善策の実効性の担保
- ・起案文書による決裁が必要な事業と不要な事業の整理方法及び決裁が不要と考えた理由等
- ・適切な文書管理に対する考え方と事務適正化に向けた改善策案における整理方法
- ・平成30年12月4日付業務委託契約書に係る契約成立の有無
- ・432万円を経費の一部支払いとする根拠
- ・事後的に契約書類の形式を整えた行為に対する認識と契約締結に係る決定書類の作成経過
- ・内部通報制度に対する見解と取り組み
- ・実行委員会規約における欠損金に係る今後の取り扱い
- ・情報共有の遅延に対する検証結果
- ・関係者の行動と判断に対する検証と責任の有無の整理
- ・職員の意識改革に対する見解
- ・契約書を交わさずに事業を進めていったことに対する担当者の認識
- ・契約書を交わさなかったことに対する制作運営会社の説明内容
- ・顧問弁護士の助言に対する所見と民事調停の当事者となったことに対する認識及び検証の有無

- ・顧問弁護士の助言の妥当性と検証の有無
- ・粗利益が571万円とされた根拠と調停案における負担割合の根拠
- ・問題解決に向けた進め方に対する見解

等について

桐木 茂雄委員（自民） から、

- 1 第2期北海道創生総合戦略について
 - ・新型コロナウイルス感染症の拡大による影響
 - ・当面のダメージコントロールを将来の交流人口や関係人口の拡大に結びつける見解
 - ・北海道のブランドイメージの回復や道外の方々の信頼回復に対する取り組みと次期創生総合戦略の目標達成につなげていく考え
- 2 新型コロナウイルス感染症による公共交通への影響について
 - ・航空路線の状況
 - ・バス・タクシー事業者の状況
 - ・道内の鉄道輸送等への影響とJR北海道の対応
 - ・クルーズ船の就航予定と受け入れ体制整備に向けた取り組み
 - ・公共交通機関のネットワーク維持に向けた今後の対応
- 3 JR北海道の経営再生について
 - ・新型コロナウイルス感染症の拡大を考慮するよう国に求めることに対する認識、
 - ・国への提言の取りまとめプロセスと成案までの手順、
 - ・国の法改正に向けた取り組みについて。

等について

沖田 清志委員（民主） から、

- 1 知事公約と道政執行方針について
 - ・ロードマップにおける「活力に満ちた北海道」の具体的なイメージ
 - ・10年後の人口推計を改善させるための取り組み
 - ・ロードマップに掲載できる大プロジェクトの有無
 - ・IRを掲載していない理由
 - ・今後の政策展開に対する所見
 - ・ほっかいどう応援団会議登録企業からの応援実績と情報提供方法及び今後の取り組み
- 2 総合交通ネットワークについて
 - ・赤線区が存続となった場合における国への提言内容

- ・新たな取り組みに対する所見と新年度予算に対する考え
- ・空港の機能強化とJRの経営改善を一体の課題として捉える認識と今後の取り組み
- ・国交省の空港整備事業の活用に対する所見
- ・新千歳空港鉄道アクセス検討ワーキンググループの再結成に対する所見と今後の取り組み

等について質疑、意見及び要望があり、総合政策部長兼交通企画監、地域振興監、総合政策部次長、政策局長、地域創生局長、交通政策局長、交通・物流連携担当局長、交通政策局次長、総務課長、政策局参事、地域協働担当課長、移住交流担当課長、交通企画課長、鉄道交通担当課長、鉄道支援担当課長、航空課長及び新千歳空港周辺対策担当課長から答弁があって、議事進行の都合により散会。

○3月19日（木） 開議 午前10時1分
閉会 午後4時38分
第1委員会室
第1分科委員長
清水 拓也（自民）

① **総合政策部所管に対する質疑**を継続し、
星 克明委員（自民） から、

- 1 北海道の強靱化について
 - ・北海道強靱化計画改定案の主な変更点と国の方針への対応及び市町村などからの意見と改定案への反映
 - ・道内市町村における強靱化計画の策定状況と今後の取り組み
 - ・道外企業に対する周知方法
 - ・今後の取り組み
- 2 Society 5.0構想について
 - ・懇談会での検討や協議の概要
 - ・素案におけるテレワークの位置づけと認識
 - ・遠隔医療の有効性に対する考えと素案における位置づけ
 - ・構想の実現に向けた環境整備の位置づけと推進方法
 - ・オール北海道での取り組みに対する考え
- 3 北海道総合計画について
 - ・推進状況報告書案の取りまとめに向けた作業経過
 - ・課題などの把握状況
 - ・四つの共通視点を設定した考えと取り組み方法

- ・今後の推進方法
- 4 日口の地域間交流について
 - ・ロシア極東地域や欧露部との交流における成果
 - ・課題の認識
 - ・今後の交流
 - 5 道総研の依頼試験について
 - ・成績書の記載ミスの概要と公表に至った経緯
 - ・試験成績書発行の根拠
 - ・ミスが発生した要因
 - ・今後の再発防止に向けた対応
 - ・公表までに時間を要した理由と顧客対応における一定のめどの具体的内容
 - ・報道発表等のルール
 - ・公表ルールの明確化に対する見解

等について

赤根 広介委員（結志） から、

- 1 広報広聴について
 - ・視聴覚媒体利用費の取り組み
 - ・非常時における情報発信の対応状況
 - ・知事の記者会見をリアルタイムで発信する取り組みと新年度からの実施
- 2 キタデミー賞問題について
 - ・道みずからの対応に対する認識
 - ・担当職員への対応
 - ・イベント経費が増大した背景の調査手法と整理状況
 - ・事業開始の意思決定経過の調査手法と整理状況
 - ・道及び実行委員会における進捗管理の調査手法と整理状況
 - ・事務局における不適切事務の課題
 - ・前知事の道義的・政治的責任に対する認識
 - ・今後の対応
- 3 交通政策について
 - ・新型コロナウイルス感染症の拡大による交通事業者への影響に対する受けとめ
 - ・バス事業者等への対応
 - ・不測の事態による経営悪化などを想定した支援策を国への提言に盛り込む考えに対する見解
 - ・臨時的・緊急的な支援事業の進捗状況と次年度の取り組み内容
 - ・次年度における北海道鉄道活性化協議会予算の確保状況

- ・全国的な機運醸成に向けた取り組み
- ・協議会を公共交通全体の維持確保を実現するための組織へとバージョンアップすることに対する見解
- ・他県との連携
- ・国への提言を成案とするための所見
- ・並行在来線に係る利用実態の調査を行うに至った経過と地域における議論の状況
- ・並行在来線の実質的な検討が長期化することに対する認識
- ・交通業者などを交えた並行在来線の方向性の検討に対する認識
- ・新たな支援策の検討や国の関与に対する認識
- ・広域的な公共交通ネットワークの形成に対する認識
- ・十勝地域におけるM a a S実証実験事業の課題と成果の分析
- ・M a a Sの全道展開に向けた取り組み
- ・地域公共交通網形成計画の策定状況
- ・交通政策担当者の育成支援の取り組みと成果
- ・地域住民の生活に根差した計画策定への考え及び地域公共交通計画の策定への対応
- ・振興局を核とした交通政策の議論や検討を行う場の設置に対する見解
- ・実効性の確保に向けた地域における検討の場の設置に対する考え方
- ・新たな交通手段の導入や活用に対する今後の対応
- ・新年度の取り組みに係る実施エリア
- ・新たな交通政策の方向性に対する所見

等について

阿知良 寛美委員（公明） から、

- 1 外国人材の受け入れと多文化共生について
 - ・本道に暮らす外国人の状況
 - ・技能実習の業種別内訳
 - ・道の基幹産業に従事する外国人に対する認識
 - ・J I C Aの活動内容
 - ・道とJ I C Aのかかわり
 - ・開発途上国への国際貢献や国際協力の推進に対する見解
 - ・J I C Aが行う北海道における外国人材の現状・課題等に関する調査の内容と道のかかわり及び道の対応と同様調査実施に対する考え
 - ・外国人と共生していくための今後の取り組み
 - ・J I C Aとの連携協定締結に対する考え

- 2 航空政策について
 - ・委託7空港における航空路線の状況
 - ・北海道エアポートに空港の運営委託をしている各管理者の対応状況
 - ・欧州路線の利用促進のための取り組み
 - ・丘珠空港の利活用策の検討における今年度と来年度の取り組み
 - ・今後の取り組み
- 3 日本遺産を生かした地域づくりについて
 - ・日本遺産のこれまでの認定状況と今後の動き
 - ・地域活性化に向けた道内各地域のこれまでの取り組み
 - ・地域のメリット
 - ・地域とのかかわり
 - ・今後の取り組み

等について質疑、意見及び要望があり、総合政策部長兼交通企画監、地域振興監、総合政策部次長、政策局長、計画推進担当局長、研究法人室長、国際局長、情報統計局長、地域振興局長、総合政策部知事室次長、交通政策局長、交通・物流連携担当局長、新幹線推進室長、航空局長、交通政策局次長、総務課長、政策局参事、計画推進課長、国土強靱化担当課長、研究法人室参事、国際課長、ロシア担当課長、情報政策課長兼地域情報化担当課長、地域政策課長、広報担当課長、交通・物流担当課長、鉄道交通担当課長、鉄道支援担当課長、新幹線推進室参事、航空課長、航空企画担当課長及び空港運営戦略推進室参事から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、総合政策部所管に関する質疑を終結。

② **総務部所管に対する質疑**に入り、

檜垣 尚子委員（自民）から、

- 1 防災対策について
 - ・3月10日からの大雨等への対応状況
 - ・避難所における感染症対策への認識と対応方法
 - ・厳寒期における救出救助活動への対応と今後の取り組み
- 2 知事公邸のあり方について
 - ・居住区域のあり方に対する所見
 - ・居住区域隣接エリアにおける施設整備のあり方に対する所見
 - ・今後の検討の進め方
- 3 道の組織体制等について
 - ・技術系職員の配置状況と採用状況
 - ・大規模災害時における対応状況
 - ・技術系職員の確保に向けた取り組み
 - ・過去3年間における職員の早期退職の状況

- ・職員の採用人数拡大に対する所見
- 4 職員が働きやすい職場環境づくりについて
 - ・国が求めている障害者活躍推進計画の内容と道が策定しようとする計画の内容
 - ・新たな計画案における女性職員の割合に係る目標設定の考え方と男性職員の育児休業取得率の目標値の設定に対する考え方及び目標達成に向けた取り組み
 - ・今後の取り組み

等について

淵上 綾子委員（民主）から、

- 1 原子力防災訓練について
 - ・さまざまな要配慮者を想定した訓練の必要性
 - ・雪上車による避難に要する時間と待機中に浴びる被曝線量が人体に及ぼす影響
 - ・ヘリコプターの準備状況と利用ができない場合の避難方法
 - ・訓練のマンネリ化に対する考えとシナリオ非表示での訓練の実施に対する考え
 - ・今後の取り組み
- 2 避難所運営について
 - ・避難所における感染症対策と課題
 - ・マスクやアルコール消毒液がない状況と多数の避難者が一定の距離を保てないことへの対応
 - ・性的少数者に対する認識
 - ・避難所内における通称名の使用と連絡の可否及び避難者名簿の性別記載欄への配慮
 - ・トランスジェンダーの方への配慮
 - ・LGBTのカップルを同居の親族とみなすことに対する所見
 - ・本人の申し出により同居の親族とみなすことに対する見解
 - ・避難所マニュアルに性的少数者への配慮を明記することに対する見解

等について

笠井 龍司委員（自民）から、

- 1 内部統制基本方針について
 - ・これまでの検討経緯
 - ・基本方針検討における実行委員会方式による業務等リスク評価の実施の有無
 - ・実行委員会方式などで行う業務が対象となることをわかりやすい形で基本方針に反映させることに対する見解
 - ・今後の対応

等について

武田 浩光委員（民主） から、

- 1 行財政運営について
 - ・中長期的な実質公債費比率の改善に向けた取り組み
 - ・財政健全化に向けた取り組み
- 2 新型コロナウイルス感染症に係る諸課題と対応について
 - ・防疫救治作業手当が措置される作業と支給額
 - ・防疫救治作業手当の措置に対する検討状況と取り扱い
 - ・職員の感染患者や検体等への対応状況と支給時期
 - ・防疫救治作業手当の額に対する認識と妥当性
 - ・補正予算の提案時期と内容

等について

赤根 広介委員（結志） から、

- 1 スマート道庁について
 - ・新年度予算における業務の効率化・省力化の進め方
 - ・柔軟で多様な働き方に向けた取り組み
 - ・新型コロナウイルス感染症における対応
 - ・職員が働き方改革に取り組む職場環境づくりへの取り組み
 - ・実現に向けた意気込み
- 2 庁舎管理について
 - ・新議会庁舎の受動喫煙防止の取り組みを議会が検討して定める根拠と議会の定義
 - ・知事の基本的な考え方と記者会見時における発言
 - ・新議会庁舎における喫煙所の取り扱いを知事が決断することに対する所見
- 3 防災対策について
 - ・近年の水害に伴う人的被害の状況
 - ・現行の防災情報システムの整備時期とその概要
 - ・他都府県における防災情報システムの更新状況
 - ・現行防災情報システムの問題と新システムへの反映
 - ・逃げないという心の問題に対する認識
 - ・適切な避難行動意識の醸成に対する取り組み
 - ・新年度の取り組み
- 4 原子力行政について
 - ・北電からの報告誤りを見逃していたことに対

する受けとめ

- ・原子力環境センターの役割
- ・泊発電所から放出される全ての放射性廃棄物データの再調査と再点検を求めることに対する見解
- ・北電に対する今後の対応

等について質疑、意見及び要望があり、総務部長兼北方領土対策本部長、職員監、危機管理監、総務部次長兼行政改革局長、人事局長、危機対策局長、原子力安全対策担当局長、財産活用担当課長、行政改革課長、人事課長、給与服務担当課長、職員制度室長、財政課長、危機対策課長、防災教育担当課長、原子力安全対策課長及び環境安全担当課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、総務部所管に関する質疑を終結。

第 2 分科会

○3月12日（木） 開会 午後5時33分
散会 午後5時41分
第2委員会室
第2分科委員長
小岩 均（民主）

- ① 分科委員長に小岩均委員（民主）、分科副委員長に佐藤禎洋委員（自民）を選出。
- ② 付託議案の審査日程、質疑・質問の方法等、理事会の設置、分科委員の異動等、分科委員外委員の発言の取り扱い、議席、次回委員会の開催予定について決定。
- ③ 理事に、大越農子委員（自民）、木葉淳委員（民主）、滝口信喜委員（結志）、寺島信寿委員（公明）を選出。

○3月17日（火） 開議 午前10時3分
散会 午後6時50分
第2委員会室
第2分科委員長
小岩 均（民主）

- ① **建設部所管に対する質疑**に入り、

佐藤 禎洋委員（自民） から、

- 1 民間住宅施策の新たな展開について
 - ・北方型住宅の内容
 - ・北方型住宅2020の具体的な基準の内容
 - ・北方型住宅2020の見直しに係る検討経過

- ・北方型住宅2020の経済的なメリットに対する認識
 - ・地元工務店の技術力向上に向けた取り組み
 - ・南幌町みどり野きた住まいのヴィレッジの取り組みの特徴や今後の展開方針
 - ・今後の取り組み
- 2 道営住宅における保証人制度の改正について
 - ・保証人の現行制度上のルールと保証人の役割
 - ・改正の考え方や方向性などの検討方法
 - ・保証人を不要とした考え方
 - ・令和2年4月1日以降の入居者と現入居者との公平性に対する認識
 - ・保証人を不要とすることによる歳入への影響
 - ・今後の対応
 - 3 除雪体制の確保について
 - ・降雪量と除雪事業者への委託額の推移
 - ・今年の冬の降雪量と除雪業務の執行状況
 - ・除雪業務の積算方法と小雪の影響による委託額の減少に対する対応
 - ・除雪業務受託者からの要望内容
 - ・除雪事業者への支援に向けた検討内容
 - ・今後の道の対応

等について

壬生 勝則委員（民主） から、

- 1 河川の整備や維持管理について
 - ・河川整備の進め方と優先整備する河川の考え方
 - ・河道内の樹木や土砂堆積への対応方法
 - ・新たな緊急浚渫推進事業の活用に向けた認識
 - ・今後の対応

等について

佐々木 大介委員（自民） から、

- 1 札幌圏都市計画道路（花川通）の整備について
 - ・花川通の位置づけと事業計画内容
 - ・現在の取り組み状況と今後の取り組み
- 2 生産性向上と新技術の導入について
 - ・新技術の活用における取り組み内容
 - ・情報収集や分析の方法及び新たな技術提案の評価方法
- 3 新型コロナウイルス感染症による建設工事等への影響について
 - ・感染拡大防止に向けた道の要請内容と道発注工事における対応
 - ・作業従事者等に感染が確認された場合の対応

- ・工事の一時中止の申し出状況
- ・イベント中止要請による新年度の工事受注への道の対応
- ・建設業界への影響に対する道の把握状況
- ・民間の住宅建設に係る資材調達難の影響への道の把握状況と対応方向
- ・今後の対応

等について

菅原 和忠委員（民主） から、

- 1 民間大規模建築物の耐震化の進捗について
 - ・耐震診断義務化後の用途別の耐震化進捗状況と大規模建築物への耐震化の進捗状況
 - ・全体と道所管分の改修工事未着手の用途別内訳状況
 - ・民間の大規模建築物の耐震化に対する改修等の支援制度の全道及び道所管分の補助実績
 - ・会計検査院が国土交通大臣に求めた改善処置の内容と国土交通省から都道府県に求めた対応の内容
 - ・民間の大規模建築物の耐震改修に係る道の建物所有者等に対する働きかけの内容
 - ・耐震化を促した場合の建物所有者の態度
 - ・耐震化率の目標達成に向けた今後の取り組み
- 2 不適切な事務処理について
 - ・今回の事案の発生要因と再発防止に向けたこれまでの取り組み
 - ・再発防止に向けた内部統制制度の活用に対する認識
 - ・道民の信頼回復に向けた部長の決意

等について

滝口 信喜委員（結志） から、

- 1 横断歩道橋について
 - ・道が管理する横断歩道橋の年代別の設置状況
 - ・現状認識
 - ・北海道横断歩道橋長寿命化修繕計画の基本方針や修繕計画の流れ
 - ・北海道横断歩道橋長寿命化計画策定後の修繕費及び維持管理費
 - ・撤去や集約の状況
 - ・札幌市における横断歩道橋の撤去の現状
 - ・道が管理する横断歩道橋のバリアフリー新法に基づく技術基準への適合性
 - ・撤去も含めた今後のあり方の検討
- 2 道営住宅の給水設備について
 - ・受水槽方式と直結方式の特徴と道営住宅全体

での割合

- ・直結方式への転換条件
 - ・直結方式転換への今後の対応
 - ・大規模災害の停電時における当面の対応
- 3 建設技術職員の確保などについて
- ・道の土木職員数の推移と近年の採用状況
 - ・胆振東部地震での室蘭建設管理部の体制確保の方法と被災3町への人的支援の内容
 - ・人材確保に向けた道の取り組み
 - ・若手技術職員への指導や育成及び技術の伝承に向けた取り組み
 - ・一級建築士の資格取得状況と受講に係る費用の額
 - ・建築技術職員の資格取得に向けた他都府県の対応
 - ・道の今後の取り組み

等について

真下 紀子委員（共産） から、

- 1 ボールパークアクセス道路建設等について
- ・事業の公共性への道の認識
 - ・公共事業評価専門委員会に提示した道路設計から計画変更となった理由
 - ・計画変更による環境への影響調査の方法と判断の根拠
 - ・環境調査により確認された動植物の希少性への認識と対策の内容
 - ・自然環境監視協議会の設立時期と運営方法及び専門家の選任の考え方
 - ・自然環境監視協議会の合意形成を踏まえた対応方法
 - ・政策評価の対象となる協議会の委員の考え方と具体的な基準
 - ・専門家や環境保護団体の意見を踏まえた工事の実施に対する部長の見解
- 2 新型コロナウイルス感染症による影響と対策について
- ・工事への影響に対する道の認識
 - ・これまでの対策と今後の対策

等について質疑、意見及び要望があり、建設部長、建築企画監、建設政策局長、施設保全防災担当局長、土木局長、まちづくり局長、住宅局長、用地担当課長、建設政策課長、維持担当課長、建設管理課長、建設業担当課長、技術管理担当課長、道路課長、河川砂防課長、都市環境課長、建築指導課長、建築安全担当課長、住宅課長及び住宅管理担当課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、建設部所管に関する質疑を終結。

② **水産林務部所管に対する質疑**に入り、
佐藤 禎洋委員（自民） から、

- 1 噴火湾における養殖ホタテガイの生産安定対策について
- ・噴火湾産の今シーズンの生産見込みと来シーズンの出荷員となる稚員の生育状況
 - ・噴火湾海洋観測システム整備事業の概要
 - ・噴火湾の養殖ホタテガイ生産の早期回復と安定生産に向けた今後の取り組みの考え
- 2 水産加工業への対応について
- ・新型コロナウイルス感染症の漁業協同組合が経営する加工場への影響の現状
 - ・今後懸念される影響
 - ・今後の対応の考え
 - ・本庁と各振興局に設置する相談窓口の経済部との対応
- 3 昆布漁業について
- ・乾燥工程自動化の実証事業で目指す自動化技術などの内容と得られた成果の現場での広め方の考え
 - ・実証事業の工程が昆布漁業全体の作業工程に占める割合と実証事業がもたらす昆布漁業者へのメリット
 - ・優良な製品の製造技術が失われることへの危機に対する品質確保の考え
 - ・漁場の状況を的確に把握した上で漁場の維持管理を図るための取り組み
 - ・生産回復に向けた取り組みを早急に講じる必要性に係る部長の考え
- 4 北の森づくり専門学院について
- ・3回目の募集の応募者の年齢層や居住圏域の状況と受け入れ準備の取り組み内容
 - ・フィンランドの林業専門学校のプログラムの内容と魅力ある教育プログラムの導入への対応の考え
 - ・運営体制の構築に向けた取り組み内容
 - ・担い手の育成確保対策を一層充実させるための所見
 - ・人材の育成確保に向けた取り組み

等について

壬生 勝則委員（民主） から、

- 1 道産水産物の輸出について
- ・ホタテガイの過去3カ年の道内港からの輸出状況及び中国向けの金額と割合の推移

- ・今年の道内港からの主な国別・品目別の輸出状況
 - ・香港や中国の品目別輸出状況の昨年同時期との比較
 - ・主な輸出国で問題が起きた場合の道としての対応
 - ・マイワシの輸出や国内向け消費拡大などのこれまでの取り組み
 - ・輸出拡大に向けた今後の取り組み
- 2 北の森づくり専門学院について
 - ・応募者の居住地や経歴別などの募集状況
 - ・学生確保に向けたこれまでの取り組みと課題の認識
 - ・学生確保に向けた今後の取り組み

等について

大越 農子委員（自民）から、

- 1 全国漁港漁場大会について
 - ・大会の概要、函館市での開催に決まった経緯
 - ・実りある大会とするための道としての対応
 - ・本道の水産業・漁村の魅力を全国に発信するための函館大会での取り組み
- 2 漁業共済制度について
 - ・共済金の支払いや積立ふらすの払い戻しの過去5年の状況
 - ・加入率向上に向けた課題の認識と加入促進に向けた取り組みの考え
 - ・安定的な予算措置と一層の加入促進の取り組みに係る道の見解
- 3 森林環境譲与税について
 - ・新年度からの見直しの内容と道内への譲与額の変更内容及び市町村の望ましい活用に係る道の考え
 - ・本道全体で調和のとれた森林整備を図るための今後の取り組みの考え
- 4 木育の推進について
 - ・北海道植樹の日・育樹の日条例のこれまでの普及啓発の取り組みと今後の取り組みの考え
 - ・親子を対象とした木育活動や学校教育段階における木育活動のこれまでの取り組み内容と今後の取り組みの考え
 - ・企業などと連携したこれまでの実績と今後の展開の考え
 - ・木育マイスターの活動の推進に向けた取り組みの考え
 - ・全国育樹祭における木育の普及の位置づけと

- ・取り組みの進め方の考え
- 5 林業イノベーションの展開について
 - ・ICTなどを活用した精度の高い資源把握や情報管理の取り組みの考え
 - ・ICT機器等を活用した就労環境改善の道の取り組みの考え
 - ・スマート林業の推進に向けた取り組みの考え
 - ・道産木材製品の販路拡大の取り組みの考え
 - 6 再造林の推進について
 - ・クリーンラーチの苗木の増産体制構築の課題の認識と今後の取り組み
 - ・コンテナ苗の利用拡大に向けた方針策定の具体的な取り組みの考え
 - ・スマート林業の取り組みの考え
 - ・伐採後の再造林を着実に進めるための取り組みの考え

等について

寺島 信寿委員（公明）から、

- 1 地域における森林づくりの推進について
 - ・民有林における人工林や天然林の面積と蓄積及び間伐などの伐採量と植林面積の全道と上川管内の状況
 - ・森林環境譲与税などを活用した森林整備の今後の取り組みの考え
 - ・林業への就業状況の分野別と年齢層別の林業就業者数の全道と上川管内の状況
 - ・北の森づくり専門学院における人材育成もあわせた今後の担い手対策の取り組みの考え
 - ・製材やチップなどの用途別の生産量についての全道と上川管内の状況
 - ・木材産業の振興に向けた今後の取り組みの考え、道産広葉樹資源の育成と安定供給に向けた取り組みの考え
 - ・道産木材の利用拡大に向けた取り組みの考え
 - ・森林認証の取得状況の全道と上川管内の状況
 - ・及び取得促進に向けた取り組みの考え
 - ・木育マイスターや企業などと連携した木育活動の展開内容や今後の木育活動の進め方の考え
 - ・地域における森林づくりの推進に向けた今後の取り組みの考え
- 2 北の森づくり専門学院について
 - ・学生確保に向けた取り組み内容と募集状況
 - ・講師やスタッフの配置と講義や実習の進め方
 - ・カリキュラムの魅力や特色の考え

- ・フィンランドのリベリア林業専門学校と締結した覚書の内容と今後の取り組みの考え
- ・フィンランドの専門学校への学生派遣に対する所見
- ・緑の青年就業準備給付金の全国的な利用実績と北森カレッジでの活用の見込み及び協議会における学生支援の内容
- ・教育機関との連携に向けた取り組みの考え
- ・地域との連携体制の構築の具体的な取り組みの考え
- ・カリキュラムなどの充実に向けた取り組みの考え
- ・今後の取り組みに係る部長の決意

等について

真下 紀子委員（共産） から、

- 1 漁業資源の管理と支援策等について
 - ・昨年の生産の5年前との比較と主要魚種の構成などの生産状況の特徴及びピーク時との比較
 - ・噴火湾の養殖ホタテガイの生産の推移と漁業経営の支援の考え
 - ・新型コロナウイルス感染拡大によるホタテガイの流通や輸出への影響の把握方法と対策の考え
 - ・資源の回復に向けた今後の道の取り組み
 - ・不漁対策の考え
- 2 就業者確保対策について
 - ・本道における近年の漁業就業者の動向と新規就業者の動向
 - ・これまで行ってきた漁業後継者の確保育成に向けた支援の内容
 - ・漁業後継者以外の新規就業者の地域への定着に向けた取り組み状況
 - ・新規就業者の漁業への定着のための給付金による支援などの取り組み事例の有無
 - ・今後の取り組み

等について質疑、意見及び要望があり、水産林務部長、水産林務部技監、水産林務部次長、水産局長、水産基盤整備担当局長、林務局長、森林環境局長兼全国育樹祭推進室長、森林計画担当局長、企画調整担当課長、水産経営課長、水産支援担当課長、水産食品担当課長、水産振興課長、漁港漁村課長、漁業管理課長、木材産業担当課長、林業振興担当課長、人材育成担当課長、森林計画課長、森林整備課長及び森林活用課長から答弁があつて、水産林務部所管に関する質疑を終結。

③ **農政部所管に対する質疑**に入り、

大越 農子委員（自民） から、

- 1 農業分野における新型コロナウイルス感染症の影響について
 - ・「新型コロナウイルス対策に関する農林水産省北海道現地対策本部」の設置趣旨や体制等の概要
 - ・道内における農畜産物の需要や価格などへの影響状況
 - ・学校給食用の生乳需要の減少による道内酪農への影響と道の対応状況
 - ・学校給食の停止や各種イベントの中止に伴う食品ロスの状況に対する受けとめ
 - ・食品ロスの削減に向けた今後の道の取り組み
 - ・農業分野における道内の外国人技能実習生の受け入れ状況及び今回の出入国規制による影響
 - ・外国人技能実習生の実習中止や延期による急な人材確保に向けた道の対応
 - ・最も多くの感染者が出ている本道における風評の払拭や道産農畜産物の消費拡大に向けた今後の取り組みに対する部長の見解
- 2 農業の担い手の育成・確保について
 - ・経営継承に対するこれまでの道の取り組みと実績
 - ・第三者農業経営継承における課題
 - ・事業承継に対する道の認識と道内の動向
 - ・道の農業経営継承問題に向けた取り組み
- 3 農畜産物の輸出拡大について
 - ・国におけるここ数年の農畜産物と日本酒の輸出実績及びその増減理由
 - ・道が重点品目に設定している農畜産物等のここ数年の輸出実績とその増減理由
 - ・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う農畜産物の輸出への影響
 - ・中国への牛肉の輸出に係る将来性への認識及び感染症問題が沈静化した後の取り組みの考え
 - ・第Ⅱ期食の輸出拡大戦略を踏まえた今後の取り組み

等について

菅原 和忠委員（民主） から、

- 1 アライグマ被害対策について
 - ・道内におけるアライグマ生息数や生息地域の把握方法、

- ・アライグマによる農業被害額の推移、
 - ・これまでの農業被害の防止に向けた対策の内容とその効果、
 - ・農業被害の防止や根絶に向けた今後の取り組み方向
- 2 担い手・労働力確保について
- ・過去3年間の新規就農者及び雇用就農者の推移
 - ・農家子弟対策におけるこれまでの取り組みと課題
 - ・新規参入が進まないことへの認識とその解決に向けた取り組み
 - ・雇用就農者対策における道の認識とその課題解決に向けた取り組み
 - ・外国人材の活用における現状と課題及び今後の制度の活用に対する道の考え
- 3 国際協定について
- ・近年の国際協定発効における影響内容及び国の関連対策の効果に対する認識
 - ・国内外の課題の克服に向けた重点的な取り組みに対する所見
 - ・日米貿易協定の追加交渉や国の情報不足に対してこれ以上の譲歩や妥協は一切受け入れられない旨の申し入れをすべきとする考えに対する所見
 - ・今後ますます進むグローバル経済における本道農業の展望に対する道の所見

等について質疑、意見及び要望があり、農政部長、食の安全推進監、食の安全推進局長、生産振興局長、技術支援担当局長、農業経営局長、農政課長、政策調整担当課長、食品政策課長、6次産業化担当課長、農業環境担当課長及び農業経営課長から答弁があつて、議事進行の都合により散会。

○3月18日(水) 開議 午前10時2分
散会 午後6時49分
第2委員会室
第2分科委員長
小岩 均(民主)

① 農政部所管に対する質疑を継続し、
佐々木 大介委員(自民)から、

- 1 酒米及び道産日本酒の生産振興について
- ・道内で生産されている酒米の品種別の特徴
 - ・酒米の品種別生産実績と道内酒造における道産酒米の利用率

- ・道産酒米の技術指導に係るこれまでの取り組み
 - ・現在の道産酒米品種における課題と新たな品種開発の必要性についての考え
 - ・道産日本酒の鑑評会への出品状況と評価
 - ・酒蔵の技術向上に向けた取り組み状況
 - ・道産日本酒の輸出量の推移と海外での評価
 - ・今後の道産日本酒の輸出拡大に向けた具体的な取り組み内容
 - ・道産酒米の生産拡大や道産日本酒のブランド力強化に向けた取り組みへの部長の見解
- 2 スマート農業推進方針について
- ・策定に当たっての基本的な考え
 - ・策定に向けた取り組みの進め方及び各地域や関係団体等からの意見の把握方法とその内容
 - ・スマート農業の現状や普及に向けた課題に対する道の現状認識、スマート農業技術の導入推進に当たって特に重要となるポイントに係る道の認識
 - ・情報通信環境の整備に対する地域の意見と道の対応方針
 - ・スマート農業の普及や拡大に向けた今後の取り組みに対する所見
- 3 農業農村整備事業について
- ・国の概算決定と道への予算配分状況及び地域要望に対する措置状況
 - ・農家における具体的な効果
 - ・基盤整備に対する地域からの要望の把握方法と要望内容
 - ・地域の多様なニーズを踏まえた今後の取り組み方針

等について

滝口 信喜委員(結志)から、

- 1 食品ロス削減の取り組みについて
- ・基本的な認識
 - ・これまでの取り組み状況と効果
 - ・規格外や未利用農産物の状況とその活用方法
 - ・フードバンク活動に対する国と道の予算状況
 - ・調査予算の内容
 - ・フードバンク活動の道の認識と具体的支援内容
 - ・これまでのフードバンク活動に対する具体的な支援や情報交換及び調査等の有無
 - ・道の今後の支援への考え
 - ・フードバンク活動の担当部署

- ・新型コロナウイルス感染症の食品ロスに対する道の取り組み内容
- ・部会の取り組み状況
- ・食品ロス削減に向けた道の対応に係る推進監の決意

等について

寺島 信寿委員（公明） から、

- 1 担い手の確保と労働力不足への対応について
 - ・近年における新規就農者数と地域別内訳と就農者の経営形態の推移
 - ・第5期北海道農業農村振興推進計画における新規就農者数目標770人に対する現状の受け止めと課題の認識
 - ・担い手の確保に向けたこれまでの取り組みと次年度以降の取り組み内容
 - ・今年度新たに実施している雇用就農の促進に向けた取り組みの成果及び次年度以降の取り組み内容
 - ・道の担い手対策への取り組み内容
 - ・労働力不足に対する地域からの意見
 - ・今年度実施している労働力確保に向けたモデル事業の取り組み内容と成果及び次年度以降の取り組み内容
 - ・新年度に実施する農業分野における外国人受け入れモデル事業の取り組みを行う背景と事業内容
 - ・農業団体との連携体制と具体的な取り組み内容
 - ・農業現場における労働力確保対策に向けた今後の取り組み方針

等について

真下 紀子委員（共産） から、

- 1 インボイス導入による影響について
 - ・道の認識、
 - ・農業者の意見を踏まえた対応への認識

等について質疑、意見及び要望があり、農政部長、食の安全推進監、食の安全推進局長、生産振興局長、技術支援担当局長、農業経営局長、農村振興局長、食品政策課長、6次産業化担当課長、水田担当課長、技術普及課長、農業経営課長、農村設計課長及び農村計画課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、農政部所管に関する質疑を終結。

② **経済部所管に対する質疑**に入り、

佐々木 大介委員（自民） から、

- 1 新型コロナウイルス感染症の影響と対策につ

いて

- ・道内経済に及ぼす影響の把握状況と認識
- ・多くの企業が当面の資金繰りに窮している状況に対する認識及び対応状況
- ・中小企業向け相談室における相談件数と内容
- ・札幌市と連携した企業支援に係る取り組み状況と今後の対応
- ・国や道内金融機関に対する道の対応状況
- ・さらなる支援策強化や公共料金引き下げを求める考えに対する見解
- ・制度拡充を国に求めていくことへの見解
- ・学校への休校要請が道内企業や労働者に与える影響への認識
- ・休業期間中における非正規雇用の所得減少に対する道内経済界や国の支援に向けた対応
- ・テレワークに対する道の認識及び普及に向けた取り組み内容
- ・テレワーク普及に向けた今後の取り組み
- ・食料品製造業における外国人技能実習生の受け入れ状況及び対応状況
- ・ものづくり産業における影響及び今後の対応
- ・道産品の販路拡大に係る現状認識及び対処方法
- ・国の支援策なども活用した地域独自の取り組みの促進に対する見解
- ・観光分野における今後の対応
- ・今後の取り組み

2 活力ある産業・雇用づくりについて

- ・道内企業の生産性向上に向けた取り組み
- ・若者の理解促進に向けた取り組み
- ・若者の働き場の創出に向けた企業誘致に係る取り組み
- ・生産拠点の国内回帰の動きを捉えた企業誘致に係る取り組み
- ・創業や事業承継促進に係る取り組み
- ・新たな産業の育成に向けた取り組み
- ・1人当たりの道民所得向上の実現に向けた今後の施策展開

等について

木葉 淳委員（民主） から、

1 I Rについて

- ・知事が掲げる北海道らしいI Rのコンセプトと作成者及び作成時期
- ・候補地決定までのスケジュールと苫小牧市植苗地区以外の可能性の有無

- ・ 1月以前の I R 事業者と道との面談に係る議事録の保存状況と公開状況
 - ・ I R 事業者との面談に知事や副知事が対応した場合の対応指針の適用の有無
 - ・ 知事や副知事が適正に対応したと判断した公務員倫理条例の部分
 - ・ 対応指針作成後の I R 事業者との面談記録件数
 - ・ 3件の面談のうち知事や副知事が含まれている件数
 - ・ 新たに配置された専任参事の業務内容
 - ・ 予算計上がない中での取り組み内容と今後の I R 誘致に向けたロードマップやスケジュールの作成の有無
 - ・ 7年後の区域認定に向けて計画を策定することに対する見解
 - ・ I R 誘致に向けた道民に対する説明会の実施予定と道民理解に向けた取り組み内容
 - ・ I R 誘致を断念することへの見解
- 2 新型コロナウイルス感染症に係る諸課題と対応について
- ・ 道独自の労働者へのさらなる支援に向けた見解
 - ・ 臨時休校に伴う国の給与補償の不足分に対する道独自の保障への見解
 - ・ 観光業等大きな影響を受けている企業で働いている非正規やアルバイトの方々への保障内容
 - ・ 企業に属さないフリーランス・個人事業主への生活保障に対する支援内容
 - ・ 補正予算の提案時期とその内容
 - ・ ほっかいどう応援団会議を活用した支援予定と新たな取り組みの必要性に対する所見
 - ・ 今後の見通し
- 3 幌延深地層研究計画について
- ・ 知事が発言した9年間で得る必要な成果の内容と成果を得るためのスケジュール及び研究目的・内容と達成に向けたスケジュールを機構に求めることへの見解
 - ・ 研究の進捗状況を道議会へ報告する時期と道民への報告手法と時期
 - ・ 9年間の研究年限を書面で確約する必要性に対する所見
- 4 就職氷河期世代対策について
- ・ 就職氷河期世代活躍支援プラットフォームの

- 対象者についての現段階での見通し
- ・ 人材確保対策推進本部分科会の意見交換で浮き彫りになった課題
- ・ これまでの取り組みとの違い
- ・ 就職氷河期世代活躍支援プラットフォームの仕組み
- ・ 無業にある方やひきこもりになっているの方々に対する新たな取り組み内容

等について

佐藤 禎洋委員（自民） から、

- 1 観光振興税について
 - ・ 道の取り組みと市町村の取り組みとのすみ分け方法及び納税者の負担水準の考え方
 - ・ 協議の場の設置に向けた要望に対する受けとめと今後の対応
 - ・ 検討の進め方に対する見解
- 2 I R について
 - ・ 誘致挑戦に向けた準備に係る新年度の取り組み方針
 - ・ 道が候補地として想定している植苗地区の環境対策に係る課題解決に対する取り組み
 - ・ 今後の取り組み
- 3 アドベンチャートラベルワールドサミットについて
 - ・ 開催内定までの経緯を含めた概要
 - ・ アドベンチャートラベルの市場規模や可能性に対する評価及びサミット内定を通じた期待する効果
 - ・ 事業の実施体制
 - ・ アドベンチャートラベル推進に係る課題の把握状況とその対処方法
 - ・ サミットを契機とした今後の本道観光の発展に向けた考え

等について

菅原 和忠委員（民主） から、

- 1 法定外目的税について
 - ・ 市町村との調整方法
 - ・ 市町村との役割分担に対する考え
 - ・ 新たな財源で実施する施策の具体的な内容
 - ・ 既存事業とのすみ分けに係る考え方
 - ・ 導入の必要性に係る道民理解に向けた考え
 - ・ 利用者及び道民に対する理解促進に向けた考え
 - ・ 今後の検討の進め方
- 2 洋上風力発電について

- ・再エネ海域利用法の促進区域の指定に向けた
手続や全国の状況
 - ・導入促進に当たっての道の考え方
 - ・導入に向けたこれまでの道の取り組み内容及
び課題
 - ・道民に広く周知することに対する見解
 - ・促進区域の指定に向けた今後の取り組み
- 3 道産食品の輸出拡大について
- ・新たなキャッチフレーズを「食絶景北海道」
とした意図
 - ・ロシアなどの北方圏に対する取り組みの必要
性と本道食品のさらなるブランド化に向けた
取り組み
 - ・中小零細企業における販路拡大に向けた取
り組みの必要性に対する所見
 - ・新型コロナウイルス感染拡大による輸出への
影響
 - ・輸出強化に向けた取り組み

等について

三好 雅委員（自民） から、

- 1 水産加工対策について
- ・水産庁と中小企業庁の連名による「水産加工
業者向けワンストップ窓口」の創設に係る検
討依頼に対する道の対応
 - ・水産林務部との連携に対する見解
 - ・今後の対応

等について

滝口 信喜委員（結志） から、

- 1 新型コロナウイルス感染症に伴う経済への影
響について
- ・東日本大震災及び胆振東部地震による影響額
と平常時に戻った期間
 - ・流行が長期間続いた場合の影響に対する認識
と今後の見通し
 - ・ウポポイ開設やオリンピックなどの開催を含
めた影響
 - ・経営支障を来している企業への保証料の負担
軽減に対する見解
 - ・事業承継に結びつく対策の必要性に対する考
え
 - ・後継者育成バンクの取り組み内容
 - ・国の緊急対策における雇用調整助成金の措置
内容
 - ・中国に進出している道内企業の影響
 - ・新規学卒者への対応と収集情報内容

- ・緊急雇用対策本部の立ち上げメンバーと構成
メンバー
 - ・道における経済対策の検討内容と補正予算の
内容
- 2 観光振興税について
- ・使途の明確化に対する見解
 - ・事業費の見込額
 - ・事業費が先行していることに対する道の認識
 - ・導入前の協議時に想定した税の内容
 - ・導入時期及び新型コロナウイルス発生前の導
入予定時期
 - ・新型コロナウイルスの回復後に導入検討を進
めることへの見解
 - ・宮城県が宿泊税条例を撤回したことに対する
受けとめ
 - ・道が税により財源確保をすることの必要性に
対する見解
 - ・アンケート調査の調査内容
 - ・道民に税負担が生じることへの認識
 - ・道民の負担感の認識及び道内外や誘客に対す
る認識
 - ・単年度・中期・長期をあわせた事業費
 - ・観光のくにつくり行動計画との関係
 - ・示されている3案の問題点
 - ・事業者の徴収事務に係る負担への考え
 - ・観光振興機構の事業とのすみ分けへの考え方
 - ・税財源が観光振興機構の事業となることへの
認識
 - ・税財源が機構事業費となるとの理解に対する
見解
 - ・時期を含めて再検討を行うことへの見解
 - ・税導入は立ちどまるべきとの意見に対する見
解
- 3 洋上風力発電について
- ・導入の課題に対する道の取り組み
 - ・石狩と檜山の状況と送電網状況に対する認識
 - ・石狩と檜山の現状送電網での事業執行の可否
 - ・拠点港指定に向けた道の取り組み
 - ・道の高い目標値を行動計画に持ち込むべきと
の考えに対する認識
 - ・促進区域の指定や導入目標と導入時期及び取
り組みの内容

等について

寺島 信寿委員（公明） から、

- 1 新型コロナウイルス感染症に関する影響等に

について

- ・道内経済に及ぼす影響の把握方法
- ・中小企業への支援に対する認識と対応方法
- ・休業を余儀なくされる企業や雇用の維持が困難となった企業への対応方法
- ・外国人技能実習生の受け入れ状況の把握方法
- ・道産食品の販路拡大対策の必要性
- ・食の輸出への影響に対する認識
- ・道内経済への影響緩和に向けた今後の取り組み内容
- ・観光産業への影響
- ・国と道が講じている対応策
- ・終息後の誘客に向けた取り組みの方向性

2 観光振興税について

- ・懇談会での有識者からの意見内容
- ・懇談会で示されたまとめの取り扱い方法
- ・市町村との調整の進め方
- ・道と市町村の役割分担
- ・観光振興を図るための税の使い道及び基金創設の考え方
- ・今後の検討の進め方

3 高等技術専門学院について

- ・修了生の地元企業への就職状況と就職先での定着状況及び企業からの評価
- ・既卒者の入校状況
- ・既卒者の入校促進に向けた具体的な取り組み内容
- ・地域の人材育成ニーズへの対応方法
- ・入校生確保のためのPR手法

等について

真下 紀子委員（共産）から、

1 新型コロナウイルス感染症による影響と対策について

- ・緊急事態宣言による経済的影響の可能性を知事に対して説明した内容と道内経済への影響や対策の考え
- ・北海道商工団体連合会からの要望内容
- ・道から求めている既存債務返済に対する柔軟な対応に係る金融機関の反応と税及び各種保険料の納付猶予や差し押さえ等を行わないことを検討するべきとの考えに対する見解
- ・賃金の保障や病気休暇の取得に対する情報発信手法と労働者の不安を払拭するための要請内容
- ・学校休校に伴い休業する保護者に対する賃金

保障の方法と地域事情への配慮に対する考え
・非正規労働やフリーランスへの影響把握と対応方法

- ・内定取り消し等の横行防止に向けた経済界に対する情報提供の内容
- ・経済界への自粛要請内容と注意喚起などを行った時期と手法
- ・新たな支援策の検討の必要性
- ・緊急に雇用の場をつくる必要性和と景気悪化による影響への対応方法
- ・国へ消費税減税策を要請することに対する見解

2 観光政策について

- ・北海道観光振興機構への事業負担金予算等の推移
- ・道から北海道観光振興機構へ派遣している職員の推移
- ・派遣職員に係る給与負担の状況
- ・北海道観光振興機構の委託事業の昨年度の契約数及び契約方法
- ・プロポーザル方式において1社のみ参加となった事業の件数
- ・参加事業者が1社のみとなった事業の件数が多いことへの見解
- ・競争性を導入することに対する見解
- ・過去5年間での北海道観光振興機構で行った海外出張の件数と行き先及びメンバーと目的
- ・北海道観光振興機構の顧問の存在と役割に対する道の考え
- ・会員企業からの金品受領の有無
- ・観光予算獲得のための北海道観光振興機構顧問から道庁に対する働きかけの有無
- ・顧問が打ち合わせに同席する理由及び予算についての発言の有無
- ・北海道観光振興機構の監事に現職の経済部観光振興監がついていることへの認識
- ・予算編成についての発言を受けたことや発言したことの有無
- ・北海道観光振興機構の顧問に道庁OBが就任していることへの考え
- ・北海道観光振興機構の副会長が在宅起訴されたことに対する受けとめと対応
- ・新型コロナウイルス感染症の観光振興税への影響に対する捉え方及びこの時期に増税議論することに対する経済界や観光業界からの要望

の有無

- ・新型コロナウイルス感染症の影響がある時期に議論を行うことへの見解
 - ・観光振興機構の事業に観光振興税が使われる可能性
 - ・観光振興税の議論を凍結して仕切り直すことに対する見解
- 3 泊原発の再稼働等について
- ・放射性廃棄物処理施設における排ガスに含まれる放射性廃棄物の量を試験運転開始から過少報告していたことに対する道の認識
 - ・排ガスがもたらす構造変化とその環境及び昨年末に公開されたトリチウム放出量の訂正と公表状況並びに泊原子力発電所環境保全監視協議会の役割
 - ・敷地内の活断層における北電の主張に対して専門家が否定的な見解をしていることに対する見解及び規制委員会の判断のみをもって再稼働に向けた対応を進めることへの見解
 - ・多様なエネルギー源の一つとしての原発の位置づけの状況とその根拠、再稼働の必要性に対する見解
- 4 幌延深地層研究計画等について
- ・研究期間延長反対及び懸念の意見書を道内4自治体の市・町議会が可決したことへの受けとめ
 - ・地方自治に対する経済部長の考え
 - ・市・町議会に道の立場を説明したことに係る市・町議会との関係に対する見解と権限の根拠及び出張の決裁権者
 - ・9年の延長で終了が確実となる基準と道民説明に対する見解

等について質疑、意見及び要望があり、経済部長、観光振興監、食産業振興監、経済企画局長、地域経済局長、産業振興局長、環境・エネルギー室長、労働政策局長、職業能力担当局長、観光局長、誘客担当局長、食関連産業室長、働き方改革推進室長、経済企画課長、国際経済室参事、中小企業課長、金融担当課長、産業振興課長、立地担当課長、環境・エネルギー室参事、雇用労政課長、就業支援担当課長、人材育成課長、職業訓練担当課長、観光局参事及び食関連産業室参事から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、経済部所管に関する質疑を終結。

○3月19日(木) 開議 午前10時
閉会 午後5時8分
第2委員会室

第2分科委員長

小岩 均(民主)

① 教育委員会所管に対する質疑に入り、
大越 農子委員(自民)から、

- 1 遠隔教育の推進について
 - ・メリットやデメリットの内容、
 - ・教員の指導技術の向上に対する取り組み方針、
 - ・生徒の学習意欲を高めるために有効と考えている学習の進め方、
 - ・取り組み方針
- 2 地域創生に向けた高校の魅力づくりについて
 - ・地域と連携・協働した高校づくりに対するこれまでの取り組み内容とその結果に対する認識
 - ・地域で活躍する人材のイメージとその育成に向けた具体的な取り組み内容
 - ・地域と連携・協働するための体制づくりの状況と認識及び今後の進め方に対する考え
 - ・今後の取り組み方針
- 3 新型コロナウイルス感染症への対応について
 - ・臨時休業に入っている小中学校等の子どもたちの状況及び特別支援学校の臨時休業に対する認識
 - ・臨時休業した場合の授業時数の取り扱い及び臨時休業で学習できなかったカリキュラムに対する取り組み方針
 - ・各学校で行っている日々の家庭学習に向けた対応の内容
 - ・分散登校の実施状況と結果に対する認識
 - ・分散登校に対する保護者の反応と寄せられた声に対する対応
 - ・分散登校を考えていない一部の市町村の事情と道教委の対応
 - ・学校給食関係者の損害などへの対応状況
 - ・道内の放課後児童クラブ等の状況に対する認識
 - ・学校に子どもたちを安全に迎えるための新学期に向けた対応
 - ・PTAの協力を得るなどして手づくりマスクの持参を推奨することに対する見解
 - ・新学期の対応に対する教育長の所見

等について

木葉 淳委員(民主)から、

- 1 給特法改正について

- ・時間外勤務の上限を設けることが勤務時間条例・給特条例の原則を形骸化する二重基準になるとの考えに対する見解
 - ・在校等時間の設定により実際の退勤時間と異なる時刻の打刻を行うなどの不適切な事例が懸念されることに対する道教委の対応方針
 - ・在校等時間の公務災害における取り扱いへの見解
 - ・勤務時間内に業務が終了していないことに対する認識
 - ・業務の見直しに対する具体的な取り組み内容
 - ・市町村教育委員会に業務の見直しを求める方法に対する見解
 - ・道内の公立校の客観的な勤務時間把握の現状と今後の見通し
 - ・ICTやタイムカードなどにより在校等時間を把握する場合で休憩することができなかった場合の時間の取り扱い
 - ・学校と給食センターを往復する栄養教諭等の客観的な勤務時間把握の方法
 - ・在校等時間から除くこととされている自己研鑽の時間は自己申告でよいとの考えに対する所見
 - ・持ち帰り業務の時間の把握方法
 - ・1年単位の変形労働時間制に係る教職員・市町村教育委員会への周知方法
 - ・保護者及び地域住民への周知方法
 - ・長期休業中の研修の見直しの具体的な取り組み内容
 - ・勤務実態調査の見通し
 - ・1年単位の変形労働時間制の導入に対する教育長の所見
- 2 GIGAスクール構想について
- ・タブレットの導入に対する教職員の研修時間確保の見通し
 - ・ワーキンググループのスケジュールなどの見通しと新たに設置予定のプロジェクトチームの役割

等について

佐々木 大介委員（自民） から、

- 1 学校における働き方改革について
- ・北海道アクション・プランを見直すこととした背景や狙い
 - ・主な見直しのポイント、北海道アクション・プランに掲げている取り組みに係る学校の現

状の認識

- ・在校等時間の把握に係る取り組みの状況や留意すべき事項に対する認識
 - ・今後の取り組み
- 2 文化財の保存活用について
- ・本道における文化財保存活用大綱を策定することとした背景及び策定の基本的な考え方
 - ・本道の特色であるアイヌ文化財に係る道独自の取り組みに対する取り扱われ方
 - ・道が管理する文化財の活用などの状況に対する認識と保存活用計画の内容及び今後の策定の進め方
 - ・文化財の保存・活用を体系的にあらわす大綱を目指すには市町村の役割も記述すべきとする考えに対する見解
 - ・関係者などから寄せられた意見の内容と大綱への反映の状況
 - ・今後の取り組みに対する教育長の所見
- 3 特別支援教育の充実について
- ・入学者選考の見直しの目的と内容
 - ・関係者に対する周知の方法
 - ・学校選択に対する変化の内容及び道教委の受けとめ
 - ・検査内容の変更により受検生や保護者及び担当教員にも負担が生じることが危惧されていたことに対する道教委の受けとめと対応状況
 - ・特別支援教育の充実に向けた取り組み方針

等について

平出 陽子委員（民主） から、

- 1 新型コロナウイルス感染症に係る教育の諸課題と対応について
- ・道教委が予想していた知事の要請を受けて休校する各市町村教委の数及び一斉休校した学校の種別ごとの数
 - ・道教委が一斉休校に高校を含めることに方向転換した理由と北海道の高校生の休校中の実態に対する道教委の認識
 - ・今回の一斉休校の周知の仕方に対する道教委の見解
 - ・1企業の学習資料が無償で学校に配付される理由
 - ・分散登校の実施の検討を地教委や学校に任せることに対する道教委の考え方
 - ・在宅勤務に対する道教委の考え方と新型コロナウイルス感染の影響で年休を取得した場合

の処理方法

- ・卒業式実施の判断を学校に行かせたほうがよいとの考えに対する道教委の考え方
 - ・一斉休校を解除または一部解除に向けた道教委の判断
 - ・新学期の授業内容に対する道教委の考え方
- 2 新学習指導要領が示す「主体的・対話的で深い学び」について
- ・カードを用いての「主体的・対話的で深い学び」の実践と過度な授業スタンダード化に対する道教委の見解、
 - ・道教委が考える「主体的・対話的で深い学び」を育むための方策
- 3 学校における防災・減災教育について
- ・学校における実行ある防災・減災教育に係る道教委の見解

等について

滝口 信喜委員（結志） から、

- 1 新型コロナウイルス感染症対策の影響について
- ・特別支援学校に在籍する障がいのある幼児や児童生徒の居場所の確保に対する取り組み状況
 - ・経済的な理由により小中学校への就学が困難な児童生徒の一斉休校期間中の家庭での様子の把握方法
 - ・札幌市以外で給食を実施している自治体及び市町村教委と連携した子どもの実態把握に対する見解
 - ・非常勤講師及びALTへの報酬の対応状況
 - ・分散登校に係る今後の登校時間の見込み
 - ・分散登校の回数や時間のあり方などに係る市町村教委への通知発出の有無と時期
 - ・学校の再開に係る知事との協議状況
 - ・今回の一斉休校を教訓とした今後の対応
- 2 学校における諸課題と教員の長時間勤務の縮減について
- ・今年度実施した北海道教員採用選考検査の志願状況と志願者増加に向けた取り組み状況
 - ・教育大学から教員を志望する学生の状況
 - ・地域を限定した採用を実施すべきとの考えに対する見解
 - ・3地域を設定した理由
 - ・免許外教科担任許可件数の最近の状況
 - ・直近の教員の欠員状況と新年度当初の欠員の

見直し

- ・小学校における英語とプログラミング教育を担当する教員の確保方法
 - ・給与条例及び教育委員会規則の具体的な改正内容
 - ・学校名などを含めた公表のあり方
 - ・出退勤管理に係る対策の内容
 - ・教員の長時間勤務の縮減には教職員の定数改善など抜本的な対策を講じていくことが必要であるとの考えに対する見解
 - ・教員の長時間勤務縮減に向けた考え方
- 3 教職員の懲戒処分について
- ・平成30年度における北海道の教職員の懲戒処分の内容
 - ・平成30年度における児童生徒に対するわいせつ行為を理由とした懲戒処分の件数及びわいせつ行為に対する道教委の分析内容
 - ・児童生徒に対する教職員のわいせつ事故防止に向けた今後の取り組み方針
 - ・文部科学省の方針を踏まえた道教委の懲戒処分の指針の改正内容及び見直しを行う箇所
 - ・わいせつ事故防止のためアンケート調査を実施すべきとの考えに対する道教委の考え
- 4 民法改正に伴う教育について
- ・道内の高校における契約に係る知識や労働基準の教育方法
 - ・中学校における消費者教育や労働教育の取り組み状況

等について

寺島 信寿委員（公明） から、

- 1 いじめの問題への対応について
- ・いじめの把握や認知の方法及び対応方法
 - ・いじめが解消されたと学校が判断する基準と解消されたいじめの件数
 - ・いじめに対する保護者の捉え方や意識に対する道教委の考え方
 - ・今後の対応
- 2 夜間中学について
- ・夜間中学の役割
 - ・道教委が実施した夜間中学のニーズ調査の状況
 - ・夜間中学の役割の検討に向けた札幌市教委と連携した道教委の取り組み
 - ・今後の学び直しの機会をつくっていくための取り組み

等について

真下 紀子委員（共産） から、

1 教職員の働き方改革等について

- ・変形労働時間制を導入するかは個々の判断に委ねられるべきとの考えや各学校で導入するかは毎年度ごとに決められるべきとの考えに対する見解
- ・市町村教育委員会での導入に対する見解
- ・アクションプランの効果に対する認識及び実施による具体的削減数
- ・公立学校の教師の勤務時間の上限を示すガイドラインが守られている教員の割合及び基準達成に対する認識
- ・未達成であることへの認識と今後の達成の見通し
- ・持ち帰り残業の実態把握に向けた調査を行う意思
- ・実態把握の方法
- ・持ち帰り残業の実態把握の方法
- ・調査に対する考え
- ・時間外勤務の虚偽報告防止に向けた対策方法
- ・時短ハラスメント横行の危険性に対する道教委の認識及び防止に向けた具体的な取り組み
- ・時短ハラスメントで勤務ができない原因に対する道教委の取り組みと今後の検討方針
- ・業務量軽減策として導入した事務補助職員の新年度予算案における増員数
- ・20人の増員による業務改善効果への認識
- ・教職員の拡充に向けた道教委独自の対策

2 新型コロナウイルス感染症対策等について

- ・児童や関係者に感染が確認された学校におけるこれまでの対応方法
- ・この対応によるクラスター発生の有無
- ・当初段階において一斉休校を市町村教委が設置者の小中学校に限定した理由
- ・道立学校の休校判断に至る経過と自主的判断の根拠及び一斉休校の必要性並びにその効果のエビデンス
- ・陽性者のいない学校における発症リスクと一斉休校による影響の検討及び判断
- ・放課後の子どもたちへの対応に対する考え及び休校と学童保育の開所等の感染リスクの各学校・保護者への合理的説明や連絡の内容
- ・学校の対応と放課後児童クラブとの整合性
- ・障がい児・保護者の団体からの要望に対する

道教委の受けとめと改善内容

- ・非常勤職員や寄宿舎に勤務する職員及び給食にかかわる職員などの処遇と職員が学校の休校による子どもの世話のために仕事を休む場合の対応
- ・週末の外出自粛を求める一方で児童・生徒に対して休校と外出制限を求めることの違いについて子どもや保護者への説明方法
- ・成人に対する土日週末だけの外出自粛要請に係る児童生徒の対応に対する見解と高校生の外出に対する過剰な反応への相談内容と対応状況
- ・生徒と保護者に大混乱と負担を強いたことに対する道教委の判断の内容と全ての生徒に平等かつ個別に在宅学習や指導を行うことに対する見解
- ・道教委が一斉休校の要請をしながら登校の判断は学校規模や通学の状況を踏まえ各学校判断とした対応が無責任であるという考えに対する見解と高校の未履修に対する対応や小学校・中学校の授業数の確保等に際して夏休みや冬休みが短くなることへの不安が広がっていることに対する対応及び不安を解消し円滑な進級・入学を迎えるために必要な方法と対応及び就学援助などの所得制限を緩和ないし撤廃して対応すべきとの考えに対する対応

等について質疑、意見及び要望があり、教育長、教育部長兼教育職員監、学校教育監、総務政策局長兼幼児教育推進局長、生涯学習推進局長、学校教育局長、学校教育局高校配置担当局長、学校教育局指導担当局長、特別支援教育担当局長、教職員局長、総務課長、文化財・博物館課長、高校教育課長、高校教育課企画・支援担当課長、義務教育課長、義務教育課地域連携担当課長、特別支援教育課長、教育環境支援課長、健康・体育課長、生徒指導・学校安全課長、教職員課長、教職員課服務担当課長及び福利課長から答弁があつて、教育委員会所管に関する質疑を終結。

予算特別委員会

○3月23日（月） 開議 午後1時
閉会 午後7時29分
第1委員会室
委員長 中野 秀敏（自民）

- ① 各分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。
- ② 各分科会において保留された事項について、**知事に対する総括質疑**に入り、**笠井 龍司委員（自民）**から、
- 新型コロナウイルス感染症について
 - 道民の安全・安心に向けて、感染者への対応、急激な拡大への備えなどの対応に係る所見
 - 札幌市長との認識の共有及び会談で一致した今後策定する指針などの具体的な内容
 - 道独自の中小企業支援の打ち出しに係る見解
 - 申請事務に対する道の企業に対する支援
 - 企業の公共料金負担軽減に向けた要請に係る見解
 - 税制面からの中小企業支援に向けた取り組み
 - 道産品の販路拡大に向けた取り組み
 - 本道観光を取り巻く状況の認識及び対応策に係る見解
 - 地域独自の取り組みに対する道の支援に係る見解
 - 感染拡大防止や道内経済の維持に向けた今後の対応
 - 4月の人事異動の感染症対策への配慮
 - 東京オリンピック延期の動きに係る受け止めと今後の対応
 - 知事が発信した「緊急事態宣言」の影響に対する責任に係る所見
 - 機動的に事態に対処するための条例等法的根拠の整備に係る所見
 - 第2期北海道創生総合戦略について
 - 北海道のブランドイメージ再構築の観点からの次期創生総合戦略への取り組みに係る見解
 - Society 5.0構想について
 - 構想の実現に向けた取り組みに係る所見
 - 除雪体制の確保について
 - 除雪体制維持に係る認識
 - 除雪業務最低保障の見直し要望に係る今後の対応
 - キタデミー賞問題について
 - 今回の事案に対する認識
 - 道民目線で見た今回の事案処理に係る見解
 - 内部統制基本方針に基づく早急な対応に係る見解
 - 一連の事案を踏まえた今後の取り組みに係る見解

等について

沖田 清志委員（民主）から、

- 新型コロナウイルス感染症に係る諸課題と対応について
 - 新型インフルエンザ等対策行動計画によらず独自の「緊急事態宣言」を発信した判断に対する認識
 - 道内経済の立て直し及び雇用対策に係る今後の取り組み
 - 医療提供体制整備や経済対策を含む総合的な対策に係るとりまとめや実行に向けた取り組み
- 知事公約と道政執行方針について
 - 北海道のめざす姿の道民への説明に係る所見
 - 現在の厳しい状況の立て直し及び今後の道政執行に係る所見
- 行財政運営について
 - 令和3年度以降の財政健全化に向けた取り組み
- 不適切な事務処理について
 - 道民の疑問に応え、責任の所在を明らかにし、不祥事を二度と起こさせないという点に係る改善策及び政治姿勢
 - 報告書の案に係る所見
- 総合交通ネットワークについて
 - JR北海道への支援に関し、法改正と維持困難線区を別ものと国に提言することに係る所見
 - オール北海道による国への提言に関し、機運醸成に向けた取り組み及び必要な予算確保に係る所見
- 幌延深地層研究計画について
 - 研究期間は9年間で終了し埋め戻すと書面で確約を得ることへの所見
- IRについて
 - 公平性、公正性の確保から事業者との面談記録を非公開とすることへの所見
 - 次回の区域認定を見据えた今後の年次ごとの取り組み
 - いったん白紙に戻して検討することに対する所見
- 国際協定について
 - 魅力的な産業への確立や国際貿易協定にも対抗し得る高い生産基盤の構築に向けた農業振興の取り組み推進に係る所見

- ・道産食品輸出拡大に向けた取り組み

9 人権施策について

- ・人権施策に対する認識及び性的マイノリティ等との連携に係る所見

等について

赤根 広介委員（結志） から、

1 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・各部横断的な組織の早急な立ち上げに係る所見
- ・緊急事態宣言の終了と新しいステージへの移行に係る判断
- ・今回の判断における国の専門家会議の3つの科学的指標の分析結果及び専門家会議からのアドバイス
- ・法律に基づかない「緊急事態宣言」を独自判断で表明したことへの評価
- ・「宣言」が与える影響
- ・新たなスローガンに期待される変化
- ・補正予算提案に当たっての視点
- ・札幌市長と合意した飲食店やイベント会場向けの「指針」の策定狙いや内容及び「北海道モデル、札幌モデル」の具体像
- ・来年度のオリンピック関連予算の執行及び今後の対応に係る所見
- ・今後の対応に係る所見

2 キタデミー賞問題について

- ・知事自身のリーダーシップと責任において道としての姿勢を明確に示すことに係る所見

3 観光振興税について

- ・観光振興税導入に向けた今後の協議に係る見解
- ・導入時期に係る所見

4 交通政策について

- ・交通ネットワーク形成圏構築に向けた仕組みの構築に係る所見
- ・重点戦略見直し着手に係る見解
- ・振興局を核とした地域交通施策を着実に進めるための予算措置及び振興局の体制強化に係る見解

5 庁舎管理について

- ・道議会新庁舎における喫煙所設置に対する見解及び結論を出すべき時期に係る所見
- ・政策を進める立場と庁舎を管理する責任者としての立場から政治決断することに係る所見

等について

阿知良 寛美委員（公明） から、

1 新型コロナウイルス感染症について

- ・事態の受け止め、道としての追加対策及び経済危機の乗り越えに係る所見
- ・事態の長期化に対する所見及び道のなすべき対応に係る見解
- ・医療提供体制の整備における札幌医科大学等への協力要請に係る所見
- ・医師などからなる道の「専門家会議」の設置に係る所見
- ・道庁組織の中に担当組織を設置して専任の職員を配置することへの所見

2 観光振興税について

- ・導入に向けた今後の取り組みの見通し及び制度設計に対する所見

3 外国人材の受け入れと多文化共生について

- ・道内在住の外国人材から直接話を聞き施策に反映させていくことに係る所見

4 水道事業について

- ・道内の水道事業の現状に対する認識
- ・広域連携の推進に向けた取り組み

等について

真下 紀子委員（共産） から、

1 新型コロナウイルス感染症による影響と対策について

- ・新型コロナウイルスと知事が発した対策による影響に対する認識
- ・道民の経済と暮らしに甚大な影響を招いた責任に係る所見
- ・甚大な影響に対する道独自の対策を宣言と同時にパッケージで表明しなかったことへの見解
- ・損失を全額補償するような手立てをとること及び社会的影響に対する対策に係る見解

2 観光政策について

- ・観光振興機構に顧問として就任した元副知事による予算獲得に向けた道への働きかけに係る認識
- ・退職後の公務員による現職への働きかけ禁止に係る認識
- ・機構の監事である観光振興監の予算への関与に対する所見
- ・観光振興機構の実態に係る認識及び補助金の額の推移
- ・適正化方針による観光振興機構の自立化及び

機構の活性化、透明性確保に向けた情報の公開に係る見解

・観光振興税の使途に係る所見

等について質疑、意見及び要望があり、知事から答弁があつて、総括質疑を終結。

③ 付託議案に対する意見調整は、理事会で行うことを決定。

④ 理事会において付託議案に対する意見調整の結果、議案第1号、第3号、第6号、第7号、第11号、第12号、第14号、第17号及び第29号は意見の一致をみるに至らなかつた旨の報告の後、沖田清志委員（民主）外2名から議案第1号については撤回し、組み替えの上再提出を求める動議が提出され、壬生勝則委員（民主）から提出者の説明の後、討論に入り、真下紀子委員（共産）から討論の後、動議の採決に入り、起立採決の結果、起立少数をもって動議を否決することに決定。

次に、議案第1号を問題とし、採決に入り、起立採決の結果、起立多数をもって原案のとおり可決することを決定。

次に、議案第3号、第6号、第7号、第11号、第12号、第14号、第17号及び第29号を問題とし、採決に入り、起立採決の結果、起立多数をもって原案のとおり可決することを決定。

次に、議案第2号、第4号、第5号、第8号ないし第10号、第13号、第15号、第16号、第18号及び第27号を問題とし、原案のとおり可決することを諮り、いずれも異議なく決定。

⑤ 付託議案に対する委員長報告については、委員長に一任することを決定。

⑥ 委員長から、付託案件に対する審査の終了に当たり、挨拶があつて閉会。

資	料
---	---

第 1 回定例会において議決を経た条例の公布調

件 名	議決年月日	公布年月日	公 布 番 号
基金の整理のための関係条例の整備に関する条例	R2. 3. 13	R2. 3. 24	北海道条例第 1 号
北海道知事等の損害賠償責任の一部免責に関する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第 2 号
北海道地方独立行政法人の役員等の損害賠償責任の免除に関する基準を定める条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第 3 号
北海道受動喫煙防止条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第 4 号
北海道中小企業者等に対する融資に係る損失補償金の返納の免除に関する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第 5 号
北海道下水道事業条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第 6 号
北海道行政財産使用料条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第 7 号
北海道立道民活動センター条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第 8 号
北海道職員等の分限に関する条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第 9 号
北海道職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第10号
北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第11号
北海道職員等の定数に関する条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第12号
北海道恩給条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第13号
北海道核燃料税条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第14号
北海道立北方四島交流センター条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第15号
北海道環境生活部手数料条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第16号
北海道環境生活部の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第17号
北海道浄化槽保守点検業者の登録に関する条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第18号

件名	議決年月日	公布年月日	公布番号
北海道自然環境等保全条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第19号
北海道動物の愛護及び管理に関する条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第20号
特定非営利活動促進法施行条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第21号
北海道控除対象特定非営利活動法人等を定める条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第22号
北海道立総合博物館条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第23号
北海道立体育センター条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第24号
北海道アイヌ子弟大学等修学資金等貸付条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第25号
毒物及び劇物取締法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第26号
北海道保健福祉部手数料条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第27号
覚せい剤取締法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第28号
北海道立看護学院等看護職員課程修学資金貸付条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第29号
北海道立看護学院条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第30号
北海道後期高齢者医療財政安定化基金条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第31号
食品衛生法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第32号
食品の製造販売行商等衛生条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第33号
かきの処理等に関する衛生条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第34号
北海道認定こども園の認定の要件並びに設備及び運営の基準を定める条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第35号
北海道安心こども基金条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第36号
北海道計量検定所条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第37号

件名	議決年月日	公布年月日	公布番号
北海道立地域食品加工技術センター条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第38号
北海道経済部手数料条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第39号
北海道立工業技術センター条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第40号
北海道立高等技術専門学院条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第41号
北海道立職業能力開発支援センター条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第42号
北海道農政部手数料条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第43号
北海道遺伝子組換え作物の栽培等による交雑等の防止に関する条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第44号
北海道家畜保健衛生所条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第45号
北海道立農業大学校条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第46号
漁業法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第47号
北海道水産林務部手数料条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第48号
北海道立漁業研修所条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第49号
北海道漁港管理条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第50号
北海道漁港土砂採取料等徴収条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第51号
北海道立道民の森条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第52号
北海道建設部手数料条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第53号
北海道道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第54号
河川法施行条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第55号
砂防法施行条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第56号
北海道海岸占用料等徴収条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第57号
北海道立都市公園条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第58号
北海道営住宅条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第59号

件名	議決年月日	公布年月日	公布番号
北海道病院事業条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第60号
公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第61号
北海道立青少年体験活動支援施設条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第62号
北海道立博物館条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第63号
北海道立学校条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第64号
北海道公安委員会手数料条例の一部を改正する条例	R2. 3. 25	R2. 3. 31	北海道条例第65号

第1回臨時会において議決を経た条例の公布調

件名	議決年月日	公布年月日	公布番号
北海道知事等の給与等に関する条例等の一部を改正する条例	R2. 4. 28	R2. 5. 8	北海道条例第68号

1月の出来事

- 1日 ○日米貿易協定が発効した。日本は米国産牛肉などの関税を一気に環太平洋連携協定（TPP）水準に引き下げ、大規模な市場開放に踏み切った。
- 2日 ○十勝管内大樹町のベンチャー企業インターステラテクノロジズは、12月29日～1月3日に予定していた宇宙観測用小型ロケット「MOMO（モモ）」5号機の打ち上げを見送ると発表。機体の不具合が原因で、今後の打ち上げは未定。
- 2日 ○令和初となる新年一般参賀が皇居で行われた。天皇陛下が宮殿・長和殿に立ち「わが国と世界の人々の幸せを祈ります。」とあいさつした。上皇ご夫婦も出席。
- 7日 ○全国さんま棒受網漁業協同組合（全さんま、東京）は昨年の全国のサンマ水揚げ量が前年比66%減の4万517トンだったと発表した。道内の水揚げ量は前年比63%減の2万1364トン。全国、道内ともに過去最低が確定した
- 9日 ○英下院は、英国の欧州連合（EU）離脱のために不可欠な離脱関連法案を採決し、賛成多数で可決した。ジョンソン首相が最重要課題とするEU離脱が1月末に実現することが事実上確定した。
- 15日 ○道内7空港の一括民営化を担う北海道エアポート（千歳）は、子会社化した各空港のターミナルビルの一体経営を始め、空港民営化がスタート。6月の新千歳空港を皮切りに、滑走路などの空港施設業務も順次民営化される。
- 16日 ○米上院でトランプ大統領のウクライナ疑惑を巡る弾劾裁判が始まった。大統領の弾劾裁判は米史上3例目で1999年のクリントン氏以来。
- 20日 ○第201通常国会が召集され、安倍首相は衆参両院の本会議で施政方針演説を行った。首相主催の「桜を見る会」を巡る一連の疑惑や、カジノを中心とする統合型リゾート施設（IR）事業に絡む汚職事
- 件には言及しなかった。
- 20日 ○中国湖北省武漢市で発生した新型コロナウイルスによる肺炎で、政府専門家グループの鍾南氏は、人から人への感染を確認したと明らかにした。
- 24日 ○厚生労働省は、2020年度の公的年金支給額を0.2%引き上げると発表した。物価と賃金が上昇したため。物価や賃金の上昇幅より低く抑える仕組みが2年連続で実施され、年金の実質的な価値は目減りする。
- 28日 ○厚生労働省は、道内で初めて新型コロナウイルス感染者を確認した。中国湖北省武漢市在住の40代女性で、22日から旅行で北海道を訪れ、27日に受診し、札幌市内の病院に入院した。
- 29日 ○日本オリンピック委員会（JOC）は2030年冬季五輪招致の国内候補地を札幌市に正式決定した。開催地は早ければ来年にも決まるとの見方もあり、招致が実現すれば札幌では1972年以来58年ぶり2度目。
- 30日 ○世界保健機関（WHO）は、新型コロナウイルスによる肺炎について「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」に該当すると宣言した。渡航制限勧告は見送り。中国は既に海外団体旅行を禁止。
- 31日 ○安倍首相は、新型コロナウイルスによる肺炎の拡大を踏まえ、外国人の日本への渡航を制限する方針を表明した。入国申請時からさかのぼって14日以内に中国武漢市を含む湖北省に滞在歴のある外国人を「当分の間、入国を拒否する」と政府の対策本部会合で述べた。
- 31日 ○英国は欧州連合（EU）から離脱。EU加盟国の脱退は初めて。統合を深化させてきた欧州は新たな岐路に立つ。ジョンソン英政権はEUや日米など各国と自由貿易協定（FTA）締結に向けた交渉に入る。

2月の出来事

- 3日 ○カジノを中心とする統合型リゾート施設（IR）事業を巡る汚職事件で、東京地検特捜部は、中国企業側からの収賄罪で衆院議員秋元司容疑者を追起訴した。立件学は約760万円。道内選出2人を含む他の他の国会議員の立件は見送り、捜査は事実上終結。
- 3日 ○厚生労働省は、下船した男性（80）が新型コロナウイルス感染していたクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」で、乗客約3700人の検疫を始めた。
- 4日 ○北海道命名150年事業の祭典「キタデミー賞」の金銭問題を巡り、道議会で道が多額の負担金を承知した根拠などへの質問が相次いだ。
- 7日 ○道は新型コロナウイルスの感染拡大に伴う道内経済への影響について、道内宿泊施設の1月末までの予約取り消しが少なくとも14万7千泊分に上り、2、3月の2カ月間のマイナスの影響額が条件次第で200億円を超えるとの試算を公表した。
- 12日 ○北海道電力は、泊原発から大気中に放出している放射性廃棄物の量を31年間実際より半分少なく報告していた問題について記者会見し、原発に関わる各部門で適切な情報共有ができていなかったことが原因だったと明らかにした。
- 13日 ○JR北海道と佐川急便は、北海道新幹線で荷物を輸送する「貨客混載輸送」を3月から試験的に行うと発表した。結果を踏まえて年内の事業化を目指す。
- 13日 ○政府は新型コロナウイルス感染症対策本部会合を首相公邸で開き、緊急対策の第一弾を取りまとめた。安倍首相は、品薄が続くマスクの増産を支援し、1月の2倍にあたる月産6億枚超の供給力を確保すると表明した。
- 14日 ○道は、道内在住50代の男性が新型コロナウイルスに感染し、重篤な肺炎を発症したと発表した。道内では1月に中国河北省武漢市在住の40代女性旅行者の感染確認以来2例目で、道内在住者としては初。
- 14日 ○米ソルトレイクシティで行われたスピードスケート世界距離別選手権女子団体追い抜きで高木美保、高木菜那、佐藤綾乃の日本が世界新記録で優勝した。
- 14日 ○米国はテレビなど中国からの輸入品1200億ドル（約13兆2千億円）分への制裁関税の税率を15%から半分に引き下げた。中国も米国からの輸入品750億ドル分に課している関税率を半減した。
- 17日 ○十勝管内大樹町は新年度に「北海道スペースポート（宇宙港）」の整備に着手する。2年間で既存の滑走路を延伸するなどし、人工衛星用ロケットや飛行機型宇宙機の離着陸拠点とする。
- 17日 ○内閣府が発表した2019年10～12月期の国内総生産（GDP）速報値は、物価変動を除く実質で年率6.3%減。消費税増税や輸出の不振が響き、5四半期ぶりのマイナス成長となった。
- 18日 ○道が導入を検討する法定外目的税「観光振興税」（宿泊税）に関し、札幌や函館など6市は札幌市内で意見交換会を開いた。
- 20日 ○2019年に警察が認知した「おれおれ詐欺」被害は6697件で、このうち5643件（84.3%）が65歳以上の女性だったことが警察庁の全国集計でわかった。特に80歳前後は被害が多発している。
- 26日 ○新型コロナウイルスの感染を防ぐため、鈴木知事は道内の全小中学校を27日から3月4日までの1週間、臨時休校とするよう各市町村教育委員会に要請した。感染症対策のため、全道の小中学校が一斉に休校するのは初めて。
- 28日 ○道内での新型コロナウイルスの感染症拡大を受け、鈴木知事は集中的に対策を講じるとして「緊急事態宣言」を発表。道民に対して29日と3月1日の週末2日間の外出自粛を要請した。道内での感染確認は66人（28日現在）。

3月の出来事

- 1日 ○道内の女性の社会進出が行政分野を中心に低調。内閣府の最新の調査では、地方公務員管理職に占める女性の割合が6.0%と全国45位だった。
- 3日 ○道は新年度、就職氷河期世代を対象とした正規職員の採用試験を始めて実施する。政府の要請を受け、職務経験不問で、18人を予定。
- 3日 ○政府は、あおり運転や高齢運転者対策を柱にした道交法改正案を閣議決定した。あおり運転では最高で「5年以下の懲役または100万円以下の罰金」となる。
- 4日 ○アフガニスタン駐留米軍は、南部ヘルマンド州で反政府武装勢力タリバンに空爆した。米国とタリバンの平和合意後、初の空爆となる。
- 8日 ○スピードスケートの新浜立也と小平奈緒がW杯500メートルで種目別総合優勝を果たした。
- 11日 ○JR北海道は新型コロナウイルスの影響で、3月までの減収額が過去最大の47億円との見通しを明らかにした。23日から1カ月間、特急656本を減便する。
- 11日 ○世界保健機構(WHO)は、新型コロナウイルス感染症について「パンデミック(世界的大流行)」を表明。
- 12日 ○新型コロナウイルス感染症対策の特措法改正案が衆院通過し、13日に成立した。私権制限を伴う緊急事態宣言が可能になる。同法は14日から施行。
- 15日 ○新型コロナウイルス感染拡大で極度の品薄に陥っているマスクの転売禁止が始まった。政府は罰則付きで監視を強め、インターネットを通じた販売も業界各社が相次ぎ自主規制に乗り出す。
- 16日 ○相模原市の知的障害者施設の入所者19人が殺害された事件の裁判員裁判で、横浜地裁は殺人罪などに問われた元職員上松被告(30)に死刑判決を言い渡した。
- 17日 ○檜山管内せたな町で、キンポウゲ科の多年草の新種が見つかり「セタナキンポウゲ」と命名された。
- 18日 ○安倍首相は、新型コロナ対策として、欧州など38カ国からの日本人を含めた入国者について、入国制限の強化を表明。生活困窮世帯の公共料金支払い猶予の検討も指示した。
- 19日 ○新型コロナウイルス対策を集中的に講じる道の「緊急事態宣言」は、21日間にわたる実施期間が終了した。
- 19日 ○イタリアの新型コロナウイルスによる死者数が3405人(感染者数4万1035人)となり、中国を超えて世界最多となった。
- 20日 ○14人が亡くなり6千人以上が重軽傷を負った地下鉄サリン事件から25年を迎えた。
- 21日 ○帯広市のばんえい競馬で、国内公営競馬の史上最多連勝記録の更新を目指して出走したホクショウマサルが3着となり、連勝記録は31で止まった。
- 21日 ○トランプ米政権は、新型コロナウイルスの感染拡大による景気の落ち込みに対処するため検討中の大型景気対策の規模が、当初の倍にあたる総額2兆ドル(約220兆円)規模に膨らむとの見通しを明らかにした。
- 24日 ○安倍首相は国際オリンピック委員会(IOC)のバッハ会長と電話で会談し、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、7～9月の東京五輪・パラリンピックを1年程度延期する方針で一致した。遅くとも2021年夏までに開催する。マラソンと競歩は札幌で行う見通し。
- 25日 ○NTTドコモは、国内で初めて高速大容量の第5世代(5G)移動体通信システムを使ったスマートフォンサービスを本格的に始めた。

4月の出来事

- 近郊の道立高校などを14日から5月6日まで休校することを決めた。
- 1日 ○安倍首相は、新型コロナウイルス特措法に基づく政府対策本部で、再利用が可能な布マスクを全世帯に配布すると表明した。再来週以降、1住所当たり2枚ずつ、東京都など感染者の多い都道府県から順次届ける。
- 2日 ○国際オリンピック委員会（IOC）と東京五輪・パラリンピック組織委員会などは、札幌で開催する五輪の女子マラソンを来年8月7日、男子マラソンを8日とする日程で調整に入った。競歩は5、6日の方向。
- 3日 ○新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、今夏に開催予定だった「YOSAKOIソーラン祭り」、「さっぽろライラックまつり」、「パシフィック・ミュージック・フェスティバル」の中止が正式に決まった。いずれも中止は初めて。
- 4日 ○道教育長の佐藤嘉大（よしひろ）さんが死去した。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、全国に先駆けて学校の一斉休校などの対応に当たっていた。道特別職が在任中に亡くなるのは極めて異例。
- 6日 ○英首相官邸は、ジョンソン首相（55）が、新型コロナウイルスに感染して入院、病状悪化により集中治療室に入ったと明らかにした。
- 7日 ○安倍首相は、新型コロナウイルスの感染拡大に備える改正特別措置法に基づく緊急事態宣言を初めて発令した。対象地域は東京、神奈川、埼玉、千葉、大阪、兵庫、福岡の7都府県で北海道は外れた。期間は5月6日までと説明。
- 8日 ○新型コロナウイルスの世界的大流行の発生源とみられる中国湖北省武漢市は、1月23日から実施していた事実上の封鎖措置を解除した。
- 12日 ○鈴木知事と秋元札幌市長は道庁で会談し、札幌市内で新型コロナウイルスの感染が拡大を受け、市立小中高校と市内や
- 13日 ○米ジョンズ・ホプキンス大の集計によると、新型コロナウイルス感染症による死者が10日、世界全体で10万人を超えた。2日に5万人を上回っており、約1週間で倍増した。9日に9万人超となったばかりで増加の勢いは全く衰えておらず、被害拡大が続いている。
- 14日 ○国際通貨基金（IMF）は、最新の世界経済見通しを発表し、新型コロナウイルスの感染拡大の悪影響で、2020年の世界全体の実質成長率がマイナス3.0%に落ち込むと予測した。比較可能な1980年以來、最悪となる。成長率がマイナスになるのはリーマン・ショック後の2009年（マイナス0.1%）以来2度目。
- 16日 ○安倍首相は、既に緊急事態宣言の対象としていた7都府県に北海道、茨城、石川、岐阜、愛知、京都を加えた計13都道府県を、特に重点的な対策を進める「特定警戒都道府県」と位置付けた。また、所得制限を設けずに国民1人当たり現金10万円を一律に給付することを表明した。現行案に盛り込まれていた減収世帯に限った30万円給付は取り下げる。
- 17日 ○JR札幌線北海道医療大学―新十津川間で、一般乗客向け最終列車が運行、85年の歴史に幕を閉じた。新型コロナウイルスの感染防止のため当初の24日予定から前倒しされ、突然のラストランとなった。
- 26日 ○全国高等学校体育連盟は、新型コロナウイルス感染拡大を受け、今夏開催される予定だった全国高校総合体育大会の中止を発表した。日本中学校体育連盟も28日全国中学校体育大会の中止を決定。いずれも大会の中止は史上初めて。
- 30日 ○全国知事会は、全都道府県を対象に、新型コロナウイルス特措法に基づく緊急事態宣言を5月6日の期限から延長するよう国に求める提言をまとめた。延長する場合は「国民が希望を持てるよう出口戦略をしっかりと構築、公表してほしい」とも求めた。

その先の、道へ。北海道

**北海道議会時報
第72巻第1号**

編集 北海道議会事務局政策調査課

〒060-0002

札幌市中央区北2条西6丁目

TEL 011-204-5691

E-Mail gikai.seisaku1@pref.hokkaido.lg.jp

発行 令和2年（2020年）7月1日